

# ふじの教育

令和5年度

2023

富士市教育委員会



# 目 次

・富士市の位置……………	1	IV 主要事業	
・富士市のすがた……………	2	1 明日を拓く人材を育成する教育基盤の推進	
		(1) ふじの教育懇談会……………	37
		(2) 施設設備事業……………	37
I 令和5年度 教育行政の方針及び施策		2 学びを楽しみ、輝く子どもの姿を育成する学校教育	
1 教育行政の方針……………	3	(1) 小・中学校……………	38
2 施策……………	5	(2) 高等学校……………	58
(1) 方針1……………	5	【(関連事業) 幼稚園】……………	63
(2) 方針2……………	10	3 生涯にわたって学び続ける「ふじの人」の育成	
(3) 方針3……………	18	(1) 社会教育……………	65
		(2) 図書館……………	70
II 教育委員会と事務局概要		(3) 少年教育……………	73
1 教育長・教育委員……………	25	(4) 青年教育……………	75
2 歴代教育委員等……………	26	(5) 青少年教育センター……………	77
3 令和4年度教育委員会会議及び		(6) 青少年相談センター……………	79
教育委員研修実績……………	27	(7) 少年自然の家……………	84
4 教育委員会の自己点検・評価……………	30	(8) 文化財の保護……………	89
5 教育委員会行政組織機構……………	31	(9) 博物館……………	96
		(10) 教育文化スポーツ奨励賞……………	102
III 令和5年度教育予算		V 資料編	
1 当初予算額(歳出)……………	33	1 富士市教育行政のあゆみ(略記)……………	103
2 一般会計予算(歳出)と教育費予算……………	33	2 富士市教育委員会委嘱の各種名簿……………	109
3 教育費当初予算額内訳……………	34	3 富士市の社会教育関係団体一覧表……………	115
4 職員数……………	36		
5 教育費決算額の推移……………	36		
6 教育施設整備事業関係予算……………	36		



市 章



市民の木 くすの木



市民の花 バラ

## 富士市民憲章

富士に生きるわたくしたちは  
歴史と伝統をうけつぎ 明日にむかつて  
豊かな産業と文化のまちづくりをすすめるため

- 一、富士山のように 広く  
思いやりの心をもち たがいに助け合います
- 一、富士山のように 美しく  
自然を愛し きれいな環境をつくります
- 一、富士山のように 高く  
教養を深め 視野のひろい市民となります
- 一、富士山のように たくましく  
働くよろこびをもち 健康な家庭をつくります
- 一、富士山のように 強く 正しく  
きまりを守り 平和で安全な社会をつくります

(昭和五十八年十一月一日制定)

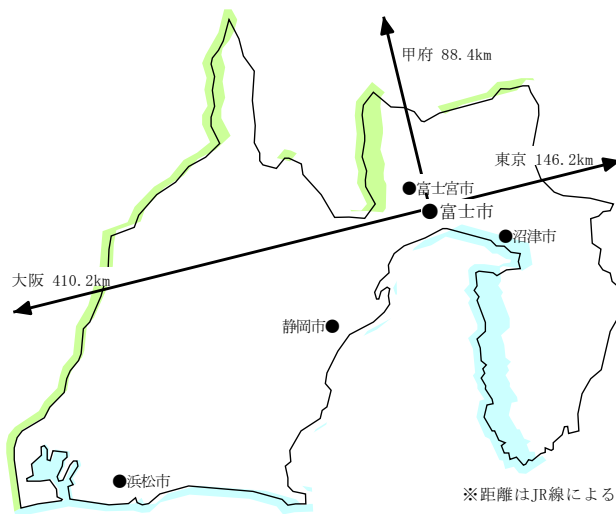
# 富士市の位置

富士市は、「世界遺産 富士山」の広大な南麓に位置し、標高 3,680mの富士山 9 合目付近から南へ進むにつれ低くなり、日本最深の駿河湾に続いています。市の西部には、日本 3 大急流の一つである富士川が流れています。

鉄道は、東海道本線と東海道新幹線が東西を結び、身延線が富士駅を起点に山梨県までを結んでいます。また、市街地と市の東部地区を結ぶ岳南電車が吉原駅を起点に運行しています。

道路は、日本の東西を結ぶ大動脈である東名高速道路、新東名高速道路、国道 1 号が通り、これらが南に位置する田子の浦港や北の山梨方面へ続く国道 139 号に接続し、日本の物流において重要な役割を担っています。

県庁所在地の静岡市街へは約 34km、また、東京まで約 146km、大阪まで約 410km の位置にあります。西は静岡市（政令指定都市）と富士宮市、東は沼津市、長泉町、裾野市、御殿場市と接しています。



広がり	東西	23.2 km
	南北	27.1 km
面積	244.95 km <sup>2</sup>	
人口	248,264 人	
世帯数	110,124 世帯	

令和 5 年 5 月 1 日現在



## 富士市のすがた

「田兒之浦從 打出而見者 真白衣  
不尽能高嶺爾 雪波零家留」と、万葉の  
歌人、山部宿禰赤人にうたわれた富士  
市・・・

富士市の起こりは古く、6千年ないし  
7千年前から人類が住んでいたことが、  
市内に点在する縄文時代の遺跡、古墳群  
等によって分かります。



歌川広重 『東海道五十三次』 吉原 左富士

鎌倉時代に、源頼朝は要路政策により、現在の田子の浦港の東に「見付」をつくり  
ました。

その後も「見付」は吉原湊（現田子の浦港）を控えた交通の要衝として、戦国大名  
（今川氏、北条氏、武田氏）の保護を受け、大変にぎわいました。「見付」が「吉原」  
と改称されたのは4百年くらい前と推定されております。江戸時代には東海道五十三  
次の宿場「吉原宿」として、景勝「左富士」とともに旅人の心を癒してきました。

明治維新とともに、地域の経済及び生活条件も大きく変わり、「吉原宿」は宿場と  
しての使命をなくし、衰退のきざしを見せました。そこで先覚者たちは植樹、茶業、  
養蚕、あるいは「駿河半紙」の伝統を生かし、製紙業を興しました。中でも製紙工業  
は富士山麓から湧き出る豊富な地下水と富士山麓の森林資源によって発達し、全国一  
の“紙の都”といわれるまでに成長しました。

都市形態も、昭和4年以降数回にわたる隣接町村との合併を重ね、昭和41年11月  
1日に吉原市、富士市、鷹岡町が合併し、新生「富士市」が誕生しました。また、平  
成20年11月1日に富士川町と合併し、現在静岡県で第3の人口を有する市となっ  
ています。現在、人口は248,264人（令和5年5月1日現在）、事業所数は11,778事  
業所（平成28年経済センサス活動調査）、年間製造品出荷額等は1兆3,550億8,292  
万円（令和3年経済センサス活動調査・従業員数4人以上）で、県内第5位の工業都  
市として発展を続けております。

# I 令和5年度 教育行政の方針及び施策

## 1 教育行政の方針

【第二次富士市教育振興基本計画 基本目標】

### あす ひら 明日を拓く 輝く「ふじの人」づくり

富士市教育委員会では、「第二次富士市教育振興基本計画（令和4年度～令和13年度）」に基づき、富士市民憲章の「共助・環境・学び・健康・平和」の精神を兼ね備えた「ふじの人」を育成するため、基本方針「一緒に学ぶ 一生学ぶ」に沿い、上記基本目標を掲げて教育施策を推進してまいります。

令和5年度は、コロナ禍を乗り越え、豊かな学習環境を再び構築するとともに、さらなる学びの充実と発展を目指して各種事業を実施してまいります。

#### 方針1 明日を拓く人材を育成する教育基盤の推進

##### 1 新たな時代に対応する取組の推進

- ・次期 ICT 環境整備に関する検討の開始
- ・小中一貫教育のこれまでの取組や今後の方向性をまとめた冊子及びリーフレットの発行
- ・富士川第二小中一貫校松野学園における小中一貫教育の取組や成果の広報と、施設分離型小中一貫教育実施に向けた取組への支援
- ・幼保こども園等と小学校の連携推進のための研究指定校や園小連携部会を通じた研究の推進
- ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置する学校）の拡充（29→35 校）による、社会に開かれた教育課程実施の推進
- ・学校と地域の連携・協働と地域学校協働活動の充実に向けた取組支援
- ・リニューアルする青少年体験交流事業の体制整備
- ・文化財の計画的な保存・活用の推進

##### 2 誰一人取り残さない社会を目指した教育の充実

- ・各教科等における ESD（持続可能な開発のための教育）の推進
- ・市立高校「究タイム」における、SDGs に関連付けたテーマ設定と課題解決の実践
- ・特別支援教育学習相談員による、通常学級に在籍する特別な支援を要する子どもへの支援の充実
- ・特別支援学級の 신설（自閉・情緒学級：元吉原小、吉原三中、田子浦中）再設（自閉・情緒学級：富士川一中）
- ・外国人児童生徒への、在籍学校や国際教室（吉原小・富士見台小・田子浦小（新規開設））における日本語指導や教科指導の支援の充実
- ・タブレット端末を利用した「ほっとデジタル相談・ふじ」の開設による、より児童生徒の不安や悩み寄り添った相談業務の充実
- ・個に応じた支援と多様な学びにより社会的自立を目指す「ステップスクール・ふじ」の充実
- ・若者相談窓口「ココ☆カラ」の事業推進とユニバーサル就労支援センター等との連携及び若者サポーターの育成
- ・全ての市民への図書貸出サービス機会の充実

##### 3 安全・安心で充実した教育環境の提供

- ・誰もが利用できるバリアフリー対応のトイレの設置（岩松北小、富士中央小ほか）、及びスロープ等による段差解消等の実施（富士中ほか）
- ・児童生徒用トイレの洋式化・乾式化を計画的に実施（鷹岡小、須津中ほか）
- ・校舎や屋内運動場等の長寿命化改修の実施（神戸小、丘小ほか）
- ・3か年計画による小中学校の特別教室への空調設備の設置
- ・学校給食費の公会計化による、会計処理の透明性の確保、及び保護者の利便性の向上
- ・子どものより豊かな学びの保障のための学校規模適正化の実施（大淵二小の大淵一小への編入統合）
- ・大淵二小の編入統合に係る子どもたちへの通学支援（スクールタクシー）の実施
- ・吉原東中の編入統合に向けた教育活動への支援、及び編入統合先となる吉原三中の施設整備の実施

## 方針2 学びを楽しみ、輝く子どもの姿を実現する学校教育

### 1 豊かな心の育成

- ・子ども一人一人の居場所がある環境づくりの推進
- ・情報モラル教育の充実と多様な価値観を認め合う「考え、議論する道徳」の推進
- ・「ほっとデジタル相談・ふじ」の活用等、児童生徒支援のための学校と関係機関の連携推進の強化

### 2 確かな学力の向上

- ・子どもが問いを持つための深い教材研究による授業実践
- ・ICTを活用した学習指導・学びの充実の在り方研究（研究指定校：広見小学校、岩松中学校）
- ・園小の切れ目ない接続の在り方研究（研究指定校：富士川一小）
- ・特別支援教育の充実を目指す研究（研究指定校：吉原北中）

### 3 健やかな体づくり

- ・基本的な生活習慣や心身の健康の保持増進を目指す取組の推進
- ・部活動指導員制度の効果的な活用方法の研究、及び指導員研修の充実
- ・「富士市立中学校部活動地域移行検討懇話会」の実施等、今後の部活動の在り方検討の推進
- ・自助・共助の意識を高め、実践力を高める防災教育・安全教育の推進

### 4 頼もしい教職員の育成

- ・富士市子どもの権利条例に基づく、人権を尊重した教育環境づくりの研修の推進
- ・教育者としての使命感、倫理観・人権意識、豊かな人間性等の教育的素養や総合的人間力の向上
- ・不祥事根絶研修の継続実施による、コンプライアンス（法令順守）意識と実践力の向上
- ・子どもの特性に合わせた生徒指導力やICT教育データ活用力等、新しい時代に対応する研修機会の充実
- ・学校給食費の公会計化等により教職員の子ども支援時間を確保するなど、子どもの心にきめ細かに寄り添う教育の推進
- ・教職員の時間外在校等時間の適切な把握・管理と働き方改革による、心身ともに健康で魅力ある教職員の育成
- ・共同学校事務室による取組の充実と、学校事務の効率化による教職員の業務改善の推進

### 5 未来を切り拓く生徒を育成する市立高校

- ・「究タイム」及び各教科を通じて、主体的・対話的で深い学びを実践
- ・生徒へのタブレット端末の貸与と、タブレット端末を活用した授業の実践
- ・最新のAI活用教材の導入やICT支援員による教職員支援
- ・ウェルビーイングの視点を意識したキャリア教育や探究学習を通じた、生徒の夢実現への支援
- ・「市役所プラン」など、地域住民や地元事業所、市役所等と連携した学習の推進

## 方針3 生涯にわたって学び続ける「ふじの人」の育成

### 1 人生100年時代を豊かに生きる学びの推進

- ・まちづくりセンター講座等の身近な場所における、幅広い世代への多様な学びの提供
- ・地域の資源や魅力を知り、地域の課題に自ら行動することにつながる学習機会の充実
- ・リニューアルする青少年体験交流事業「無限∞のキズナ」の実施（長野県伊那市周辺）
- ・ANAグループとの協働によるキャリア教育プログラム「ミライつく〜る」の実施

### 2 市民の学びの場である図書館の充実

- ・移動図書館サービスの拡充や電子図書館の利用促進による、読書機会の提供の拡大と利便性の向上
- ・スキルアップ講座の開催等による、ボランティアの技術向上や人材育成、ボランティア活動への支援

### 3 ところ豊かな市民文化の創造

- ・文化財保存活用地域計画推進協議会、史跡保存整備委員会の開催
- ・国指定史跡「浅間古墳」の保存活用計画、及び市指定史跡「千人塚古墳」修復工事の実施設計の策定
- ・市指定有形文化財「ディアナ号の錨」の管理・活用を考慮した移設・防錆工事の実施
- ・第60回企画展「東海道にかける富士の橋」の開催
- ・歴史や文化についての調査研究、及びその成果を公開する展示会や各種体験講座の開催



## 2 施策

第二次富士市教育振興基本計画で掲げる方針に基づき行う本年度の取組について記載しています。

【方針1】 明日を拓く人材を育成する教育基盤の推進

【方針2】 学びを楽しみ、輝く子どもの姿を実現する学校教育

【方針3】 生涯にわたって学び続ける「ふじの人」の育成

### (1)方針1 明日を拓く人材を育成する教育基盤の推進

#### 【施策の柱1】 新たな時代に対応する取組の推進

本年度は、第二次富士市教育振興基本計画（令和4年～令和13年度）に基づく教育行政の実施2年目となります。今日の教育を取り巻く環境においては、急速な情報化やAI技術の飛躍的な発展による Society5.0<sup>1</sup>時代の到来や、少子化による児童生徒数の減少、誰一人取り残さない教育の実現を目指した教育機会の確保等、適切に対応すべき喫緊の課題が山積しています。また、変化の激しい時代を生き抜く子どもたちには、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることが求められています。そのため、多様な他者との出会いや、価値観や考え方交流を通して、新たな価値を創造していく力を身に付ける教育が、必要不可欠であります。

これらの教育を取り巻く環境の変化や、求められる資質・能力の育成に対応し、子どもたちにとって豊かな学びに直結する、新たな時代に対応する教育の土台ともいべき基盤づくりを推進していきます。

GIGA スクール構想<sup>2</sup>を核とした個別最適な学びの環境整備については、昨年度の取組実績を基に、より効果的な ICT の活用を、小・中学校の教職員と一緒に進めます。また、次期 ICT 環境の整備に関して、検討を開始してまいります。

小中一貫教育<sup>3</sup>の推進においては、施設一体型の「富士川第二小中一貫校 松野学園」の取組内容やその成果をはじめ、その他の各中学校区における取組事例等を、連携推進員研修会等の場を活用して広報し、令和6年度の小中一貫教育の全校実施を支援していきます。また、小中一貫教育の全校実施に向けて、富士市の方向性やこれまでの取組をまとめた冊子及びリーフレットを発行します。さらに、園小連携<sup>4</sup>をよりよく図るため、研究指定校や園小連携部会における取組を通じて、接続期における支援策等について研究を進めます。

学校と地域の連携・協働に関する取組では、新たに中学校7校に学校運営協議会を設置し、市内全26小学校と9中学校をコミュニティ・スクールとします。保護者や地域住民の声を積極的に生かして、特色ある「地域とともにある学校づくり」を一層推進します。

<sup>1</sup> サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、国の第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱された。

<sup>2</sup> 児童生徒1人1台端末、及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させるための構想。

<sup>3</sup> 小・中学校同士で情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す小中連携教育のうち、小・中学校で目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を行う教育。

<sup>4</sup> 幼稚園・保育園・認定こども園等の就学前教育・保育機関と、小学校による、子どもの一貫した教育を進めるための連携。

各施策の重点事業（☆新規事業）
<p><b>【施策①】 Society5.0に対応する教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事による研修やアフター5研修<sup>5</sup>、ICT支援員による校内研修等において、教職員の資質能力向上の機会、及び教職員同士の情報交換の時間を確保する。</li> <li>・指導主事訪問等を通してICTを効果的に活用した授業の視点を示し、各校での実践や授業改善につなげる。</li> </ul> <p>☆次期ICT環境整備に関する検討を開始する。</p>
<p><b>【指標に関する取組】</b>  <u>多様なニーズに対応した情報教育研修会の充実</u>  <b>【指標】</b>教員のICT活用指導力の状況において、「できる」「ややできる」と回答した教員の割合  <b>【R4実績/ R5目標/R8目標】</b> 83.1%/85%/100%</p>
<p><b>【施策②】 学びの連続性を意識した教育の推進</b></p> <p>☆令和6年度から始まる市内全小中学校における小中一貫教育の方向性や、これまでの取組をまとめた冊子及びリーフレットを発行し、各中学校区の小中一貫教育推進を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育先行実施校である富士川第二小中一貫校松野学園における取組内容やその成果を広報し、各中学校区の小中一貫教育推進につなげる。</li> <li>・園小連携をよりよく図るため、研究指定校や園小連携部会における取組を通じて、接続期における支援策等について研究を進める。</li> </ul>
<p><b>【指標に関する取組】</b>  <u>教職員同士の協働による、連続性や系統性のある学習支援や生徒支援の充実</u>  <b>【指標】</b>小中を一貫した教育活動が、子どものよりよい学びと生活につながっていると感じる連携推進員の割合  <b>【R4実績/ R5目標/R8目標】</b> 100%/100%/100%</p>
<p><b>【施策③】 地域とともにある学校づくり</b></p> <p>☆中学校7校を新たにコミュニティ・スクールに指定し、全26小学校と9中学校のコミュニティ・スクールを中心に、地域とのつながりの強化を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CSディレクター定例会を開催し、協議会の円滑な運営や地域と学校の連携・協働の在り方について研究を進め、効果の可視化に努めていく。</li> <li>・市立高校学校運営協議会を開催し、地域住民や保護者等の声を学校運営に活かす。</li> <li>・市立高校では、「人工芝で遊ぼう」や「多世代交流サッカー」など学校施設を活用した地域交流事業を行う。</li> </ul>
<p><b>【指標に関する取組】</b>  <u>コミュニティ・スクールの充実</u>  <b>【指標】</b>保護者や地域の人との協働による活動を「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した学校の割合            小学校【R4実績/ R5目標/R8目標】 92.5%/96%/100%            中学校【R4実績/ R5目標/R8目標】 68.7%/70%/100%</p>
<p>その他の事業</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員研修（今日的な課題研究、学校・教育施設等の視察）の実施</li> <li>・教育委員会広聴事業「ふじの教育懇談会」の実施</li> </ul>
<p>☆リニューアルする青少年体験交流事業の体制整備（詳細はP18・P20）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の計画的な保存・活用の推進</li> </ul>

<sup>5</sup> 急速な社会変化と教職員のニーズに対応する自主参加型研修。

## 【施策の柱2】 誰一人取り残さない社会を目指した教育の充実

私たちを取り巻く社会情勢や教育環境は、コロナ禍の影響や急速な情報化、技術進歩の中、より良い社会や学びを他者との協働の中で創り出す時代へと移り変わってきました。そのような中、誰もが未来を拓く力を身に付けられる、誰一人取り残さない社会を目指した質の高い教育が求められています。

そこで、SDGs<sup>6</sup>未来都市である本市では、輝く未来を拓く人を育むためのESD<sup>7</sup>の推進を図るため、教職員研修等において、各教科主任者会等の研修会におけるESD実践の情報共有や、より良い授業実践のための教材等の研究を行っていきます。また、市立高校2年次後半で実施する課題解決型学習「究タイム<sup>8</sup>」において、生徒一人一人がSDGsに関連付けたテーマを設定して、課題解決に取り組む授業を行い、変化の激しい社会を生き抜く力を育成していきます。

特別支援学級や特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する通常学級にサポート員を計画的に配置するとともに、「特別支援教育センター」を拠点に、子どもや保護者の困り感に寄り添った早期支援、早期対応を行っていきます。さらに、専門研修の実施及び専門職<sup>9</sup>や関係機関との連携、巡回学習相談の充実等により、子ども一人一人の特性に応じた教育的支援を行います。

さらに、多様性を大切にする社会意識の高まりや、外国人児童生徒数の増加に伴い、外国人児童生徒の在籍校での支援を充実させるとともに、国際教室を増設し、個に応じたきめ細かい日本語指導や教科指導を行っていきます。

近年、困難を抱える子どもや青少年の数は増加の一途をたどっています。その要因も、コロナ禍の影響や社会的な人とのつながりの希薄化など、多岐にわたっています。そこで、様々な悩み事の解消に向けて「ほっとデジタル相談・ふじ」の開設など相談業務の充実を図ったり、児童生徒が過ごしやすい「ステップスクール・ふじ」の運営を心掛けたりするなど、これからも困難を抱える子どもや青少年、一人ひとりの思いを十分に尊重し、寄り添いながら、自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立することを目指していけるよう、個に応じた適切で細やかな支援をしていきます。

加えて、教育機会の確保や孤立の解消、社会的自立等を図り、子どもや青少年が誰一人取り残されずに成長・活躍していけるよう、「第二次富士市子ども・若者育成支援計画<sup>10</sup>」に基づく取組を推進します。

### 各施策の重点事業（☆新規事業）

#### 【施策①】SDGs達成に向けた取組の推進

- ・各教科等におけるESDの推進を図る。
- ・研修会等において各教科等におけるESD実践の情報共有、研修の機会を確保する。
- ・学校と地域の連携強化を推進する。
- ・学校図書館におけるSDGs関連の資料を整備する。
- ・市立高校2年次後半の課題解決型学習「究タイム」において、生徒一人一人がSDGsに関連付けたテーマを設定して、課題解決に取り組む。
- ・市立高校の地域交流事業として、聴覚に障害のある子どもたちにスポーツに親しむ機会を提供するために、ボランティア生徒と一緒にDefキッズサッカー教室を開催する。

#### 【指標に関する取組】

##### SDGsの達成に向けた教育活動の充実

【指標】「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合

小学校【R4実績/R5目標/R8目標】47.2%/60%/80%

中学校【R4実績/R5目標/R8目標】36.6%/50%/70%

<sup>6</sup> SDGsとは持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のこと。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際社会共通の目標。

<sup>7</sup> ESDはEducation for Sustainable Developmentの略で、「持続可能な開発のための教育」のこと。

<sup>8</sup> 富士市立高等学校が独自に設定している教育活動。3年間を通じて、探究的な力やチームで協議する姿を身に付ける学習。

<sup>9</sup> 心理判定員や作業療法士、ことばの相談員、社会福祉相談員、特別支援専門相談員、特別支援教育学習相談員など。

<sup>10</sup> 国や県の計画を参酌しつつ、子ども・若者が誰ひとり取り残されず、社会の何に安心できる居場所を持ちながら成長・活躍していけるよう、次代を担う子ども・若者の育成や支援を行うため、令和4年3月に策定された。

<p><b>【施策②】 特別支援教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援教育学習相談員<sup>11</sup>を配置し、通常学級に在籍する特別に支援が必要な児童生徒の特性に応じた教育的支援の充実を図る。</li> <li>・ 特別支援サポート員による個別支援体制の充実を図る。</li> <li>・ 特別支援教育センターでの、小1・小2教室による支援や、低学年における読み書き支援の充実を図る。</li> <li>・ 特別支援学級の新設（自閉・情緒学級：元吉原小学校、吉原第三中学校、田子浦中学校） 再設（自閉・情緒学級：富士川第一中学校）</li> </ul>
<p><b>【指標に関する取組】</b>  <u>特別支援サポート員の研修の充実</u>  <b>【指標】 特別支援サポート員等の研修満足度（5段階評価の平均値）</b>  <b>【R4実績/ R5目標/R8目標】 3.5/3.9/4.1</b></p>
<p><b>【施策③】 外国人等の児童生徒への支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人児童生徒が安心して学校生活を送り、中学校卒業後の進路選択に希望が持てるよう、特に日本語指導の必要な児童生徒への支援の充実を図る。</li> <li>・ 初期支援、訪問支援や国際教室での支援の質を向上させるため、支援員の研修を進める。</li> </ul> <p>☆新規国際教室を田子浦小に週2日開設し、支援を希望する児童生徒に個別指導を行う。</p>
<p><b>【指標に関する取組】</b>  <u>個に応じた日本語指導、学習指導の充実</u>  <b>【指標】 「特別の教育課程」実施の割合</b>  <b>【R4実績/ R5目標/R8目標】 55.1%/60%/70%</b></p>
<p><b>【施策④】 学びのセーフティネットの充実</b></p> <p>☆「ほっとデジタル相談・ふじ」の開設による相談業務の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ステップスクール・ふじ」において、様々な理由により学校に行けない子どもたちや登校しにくい子どもたちに、時間と場所を提供し、集団生活やカウンセリングを通して、社会的に自立していくための支援を行う。</li> </ul>
<p><b>【指標に関する取組】</b>  <u>「ステップスクール・ふじ」の相談業務や運営の充実</u>  <b>【指標】 ステップスクール・ふじを利用した中学3年生のうち、自分なりの進路が見いだせた割合</b>  <b>【R4実績/ R5目標/R8目標】 100%/100%/100%</b></p>
<p>その他の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カウンセリング講座、保護者教室、合同相談会の開催</li> <li>・ 富士市若者相談窓口「ココ☆カラ」の運営</li> <li>・ 困難を抱える若者やその家族を支援する人材「若者サポーター」の育成</li> <li>・ 全ての市民への図書貸出サービス機会の充実</li> </ul>

<sup>11</sup> 子ども一人一人のニーズを把握し、必要とする支援の内容と方法を明らかにするために、担任、特別支援教育コーディネーター、保護者など、子どもの支援を実施する者の相談を受けたり、助言したりする役割を担う。

### 【施策の柱3】 安全・安心で充実した教育環境の提供

現在、建築後30年が経過する学校施設は全体の7割を占めていることから、老朽化への対応が喫緊の課題となっています。

このような状況から、財政負担を平準化し、中長期的な維持管理費の削減を図るため、「富士市学校施設長寿命化計画」に基づき、長寿命化改修を確実に進めているところであり、本年度も引き続き、校舎の屋上防水、外壁改修、トイレ改修、校舎内部改修及び屋内運動場のリニューアル改修などを進めていきます。また、誰もが安全に安心して学校施設を利用できるように、段差解消のためのスロープ整備やバリアフリートイレの設置なども進めていくとともに、児童生徒の学習環境をより良くするために、令和元年度に整備した普通教室への空調整備に続き、特別教室（理科室・図書室・音楽室・美術室）への空調整備を3年間の計画で進めていきます。

学校規模の適正化を目指して実施した大淵第二小学校の大淵第一小学校への編入統合については、円滑な学校運営により、子どものより豊かな学びの保障につなげるとともに、編入統合に伴う児童や保護者への通学支援として、スクールタクシーを運行します。また、令和6年度の吉原東中学校の吉原第三中学校への編入統合に向けた教育活動に関する支援を実施するとともに、編入統合のための施設準備として、増加するクラス数に応じた普通学級・特別支援学級の教室や理科室の増設、給食棟の改修及び編入統合により遠方から自転車で通学することになる生徒のための駐輪場整備を行います。

さらに、学校給食費の公会計化を実施し、各学校の会計処理の透明性の確保や、保護者の利便性の向上を図ってまいります。

各施策の重点事業（☆新規事業）	
<b>【施策①】安全・安心な学校施設整備の充実</b>	
☆3か年計画により、小中学校の特別教室への空調設備を設置する。 ・避難場所である学校の屋内運動場にバリアフリートイレの設置をする。 ・児童生徒用トイレの洋式化、乾式化、非接触型水栓の設置等の改修を行う。	
<b>【指標に関する取組】</b> <b><u>トイレの洋式化やバリアフリートイレの設置推進</u></b>	
<b>【指標】バリアフリートイレの設置率</b> <b>【R4実績/ R5目標/R8目標】61.9%/65%/80%</b>	
<b>【施策②】より良い教育環境の維持・整備</b>	
☆編入統合の準備として、吉原第三中学校の校舎の教室・給食棟の改修や駐輪場整備を行う。 ・学校の適正規模・適正配置について検討を行う。 ☆子どものより豊かな学びを保障するために、大淵第二小学校を大淵第一小学校に編入統合し、学校規模の適正化を実施するとともに、子どもたちへの通学支援（スクールタクシー）を実施する。 ☆吉原東中学校の編入統合に向けた教育活動への支援を実施する。 ・校舎や屋内運動場の屋上・屋根防水や外壁改修を行う。 ・教室の床・壁・天井などの内部改修を行う。	
<b>【指標に関する取組】</b> <b><u>学校施設ごとの長寿命化計画に基づいた施設の維持改修</u></b>	
<b>【指標】長寿命化計画の進捗率</b> <b>【R4実績/ R5目標/R8目標】24.5%/47%/100%</b>	
その他の事業	
☆学校給食費の公会計化による、会計処理の透明性の確保、及び保護者の利便性の向上	

## (2)方針2 学びを楽しみ、輝く子どもの姿を実現する学校教育

### 〔施策の柱1〕 豊かな心の育成

各学校では、心を育む教育の充実により、子どもの自己肯定感を高めるとともに、一人一人が安心して自分の思いを語り、学び合うことができる魅力ある学校・学級づくりを進めています。人との関わりや体験的な活動等、様々な教育活動を通して、豊かな心を醸成するとともに、キャリア教育<sup>12</sup>等を推進し、持続可能な社会の担い手の育成を目指します。

特別支援教育においては、障害の有無に関わらず共に学ぶインクルーシブ教育の充実を図るため、特別支援学校や特別支援学級と様々な形で交流を行います。色々な立場の人と触れ合う環境をつくり、子どもたちの相手を思いやる気持ちを育てていきます。

GIGA スクール構想では、配備されたタブレット端末の効果的な活用を推進する中で、情報モラル教育の充実を図り、ネット上であっても他者の人権を尊重しようとする態度を育てていきます。また、全ての児童生徒に貸与されている端末を使って気軽に悩みを相談できる「ほっとデジタル相談・ふじ」を活用し、子どもたちの悩みや不安を幅広くキャッチし、関係機関が連携して対応していくことで、子どもたちが安心して学校生活を送れるようにしていきます。加えて、多様な価値観の存在を認め合う「考え、議論する道徳」の授業を推進していきます。

また、いじめ<sup>13</sup>の未然防止に向けた学校体制の強化やいじめの定義の周知徹底など、いじめ問題への対応を充実させていきます。

教職員が子どもの行動の意味や心情を把握することにとどまらず、発達段階や生活環境、必要としている支援をも理解し、その子のよさや可能性を引き出そうとする「子ども理解」を深め、学年・学級で「居場所づくり」「絆づくり」に努め、子ども一人一人に寄り添い、チームで対応することで、生徒指導上の諸問題を未然に防止します。また、問題が起こった際に、スクールソーシャルワーカー<sup>14</sup>（SSW）及び生徒指導アドバイザー<sup>15</sup>等を有効に活用し、不登校や問題行動等のケースに応じた組織的かつ迅速・丁寧な対応ができる体制を整えます。

各施策の重点事業（☆新規事業）	
<b>【施策①】 個性を尊重する人間関係づくり</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の「子ども理解」を進め、子どもの思いに寄り添い、それぞれの個性が尊重され、一人一人の居場所がある環境づくりを推進する。</li> <li>・生徒指導上の諸問題を解決するための体制の構築をより一層推進する。</li> </ul> ☆「ほっとデジタル相談・ふじ」の活用等、学校と関係機関との連携の強化を図る。	
<b>【指標に関する取組】</b>	
<u>学校訪問等を通じた、「子ども理解」の重要性に係る教職員への周知</u>	
<b>【指標】 「自分には良いところがあると思う」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した子どもの割合</b>	
小学校	【R4実績/ R5目標/R8目標】 79.2%/85%/90%
中学校	【R4実績/ R5目標/R8目標】 76.1%/80%/85%
<b>【施策②】 人権感覚の醸成と道徳的実践力の育成</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考え、議論する道徳」の授業の在り方について、研修を充実する。</li> <li>・情報モラル教育、自他の価値を尊重しようとする意欲や態度を育成する人権教育の充実を図る。</li> </ul>	
<b>【指標に関する取組】</b>	
<u>教育活動全体を通じた計画的・組織的な人権教育と道徳教育の推進</u>	
<b>【指標】 「人が困っているときは、進んで助けている」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した子どもの割合</b>	
小学校	【R4実績/ R5目標/R8目標】 88.7%/90%/100%
中学校	【R4実績/ R5目標/R8目標】 88.0%/90%/100%

<sup>12</sup> 子ども・若者が、社会の一員としての役割を果たすとともに、それぞれの個性、持ち味を最大限発揮しながら、自立して生きていくために必要な能力や態度を育てる教育。

<sup>13</sup> 当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。

<sup>14</sup> いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待等生徒指導上の課題に対応するため、社会福祉の視点から問題を抱えた児童生徒本人に対する指導や、関係機関とのネットワークの構築、連携、調整等、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけながら支援をする職員。

<sup>15</sup> いじめ、不登校等の生徒指導上の諸問題に対し、学校がチーム体制で対応するための組織づくりのアドバイスを行う職員。

## 〔施策の柱2〕 確かな学力の向上

小中学校では、社会に開かれた教育課程<sup>16</sup>や確かな学力の育成、体験活動や ICT を活用した学習活動の充実等、学習指導要領に基づいた実践を進めます。

授業では、「単元」というまとまりの中で、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性」の育成を目指します。このために、教師は令和5年度の指導の重点（詳細はP43・P44）として掲げられている「『子どもと教材をつむぐ』単元を構想する」「『見取り』を生かし、仕掛ける」「『学びの実感』を次へつなぐ」ことを意識した授業づくりを推進します。特に、主体的に学びに向かう力を育成するため、「主体的・対話的で深い学び<sup>17</sup>」の視点に立ち、子どもが問いを持ち、教材や題材、仲間や教員、地域の方々等と対話しながら、学ぶ楽しさを実感できるようにします。

幼児教育から小中学校教育において、学びの連続性を意識した教育を推進するため、全中学校区において、各学校区の特色にあった小中一貫教育を推進するとともに、地域の小学校の校長と保育園、幼稚園、こども園の園長が定期的に顔を合わせ懇談会を実施するなど、園小連携を推進していきます。新たに小学校1校を園小接続研究を行う研究校に指定し、研究を進めていきます。

また、近年、特別な支援を必要とする子どもの割合が増加しており、特別支援教育に関する専門的知識や対応等の研修を推進する必要性が高まっています。そこで新たに中学校1校を特別支援教育研究を行う研究校に指定し、特性により集団での学習が困難な子どもであっても、その子にあったペースや環境で学習を進めながら、全ての子どもが学力を伸ばしていけるような研究を進めていきます。

これらの取組を通して、子どもが学びの主人公として、自ら問いを持ち主体的に課題の解決に向かう経験を積み重ねることによって、資質・能力が確実に身に付くよう努めます。

各施策の重点事業（☆新規事業）	
<b>【施策①】 主体的に学びに向かう力の育成</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが問いを持つための深い教材理解による授業を行う。</li> <li>・ 主体的・対話的で深い学びのある、子どもの視点に立った授業づくりを行う。</li> <li>・ 知識・技能を活用し、一人一人が学びの実感を得られる授業づくりを行う。</li> </ul>	
<b>【指標に関する取組】</b>	
<b>校内研修や学校訪問等による授業改善の推進</b>	
<b>【指標】「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童生徒の割合</b>	
小学校	【R4実績/ R5目標/R8目標】 77.5%/80%/90%
中学校	【R4実績/ R5目標/R8目標】 78.1%/80%/80%
<b>【施策②】 習得、活用、探究による学びの深化</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆令和5年度指定の園小接続研究校（富士川第一小学校）、特別支援教育研究校（吉原北中）</li> <li>・ 令和4年度指定の ICT を活用した学習指導研究校（広見小学校、岩松中学校）において、学びの充実の在り方を研究する。</li> <li>・ ICT を効果的に活用するなど、学びの最適化を図り、習得・活用・探究という学びの過程の中で「深い学び」を実現する。</li> </ul>	
<b>【指標に関する取組】</b>	
<b>習得・活用及び探究を意識した単元構想・授業づくりの推進</b>	
<b>【指標】「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」に「よく行った」と回答した学校の割合</b>	
小学校	【R4実績/ R5目標/R8目標】 25.9%/30%/50%
中学校	【R4実績/ R5目標/R8目標】 37.5%/45%/60%

<sup>16</sup> 学校が社会と連携・協働した教育活動を充実させるためのカリキュラムのこと。

<sup>17</sup> 学習指導要領において示された、授業において、子どもが学習内容を深く理解し、資質・能力を育成するために「どのように学ぶか」という具体的な学びの姿のこと。

### 〔施策の柱3〕 健やかな体づくり

子どもたちが、健康や食の大切さを認識し、生涯にわたり心身ともに健康な生活を送るために、「バランスのとれた食事」、「十分な休養と睡眠」、「適度な運動習慣」といった基本的な生活習慣の確立を図ることは極めて重要です。

コロナ禍において、運動の機会が減り肥満傾向にある児童生徒の増加、ICT利用の増加による視力低下が課題となっています。課題を解決するためには、家庭・学校医などと連携し、小・中学校で継続的な指導ができるよう支援します。

食物アレルギーをはじめ、アレルギーを持つ子どもは年々増加しています。子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、養護教諭、栄養教諭等をはじめ学校全体で組織的に行っていくよう支援するとともに、子どもたちの発達段階に応じた自己管理能力の育成に努めます。

また、体育の授業の指導方法の改善、運動会等の体育的行事の充実、施設や用具の整備等により、運動が好きな子どもの育成を目指し、体力・運動能力の向上を図ります。

部活動では、「富士市中学校部活動ガイドライン<sup>18</sup>」に基づいた適正な部活動運営に努めるとともに、「部活動の地域移行」を視野に入れ、子どもたちにとって望ましい持続可能で望ましい部活動の在り方を検討してまいります。

さらに、不審者の出没や交通事故等、子どもが関係する事件・事故が後を絶ちません。南海トラフ巨大地震や富士山噴火等、自然災害の発生も懸念されています。このような状況から、自らの命を守るための知識や判断力を身に付けさせることや、子どもたちの発達段階や地域の実態を踏まえた「自助・共助・公助」の意識を高め、安全について自ら考え、主体的に行動する力を養う等、防災教育や安全教育の充実を図ります。

<sup>18</sup> 中学校の部活動において、教育的価値を大切にしながら、時代や社会の流れに合ったこれからの部活動の在り方についての見直すため、富士市部活動在り方委員会において策定した。



各施策の重点事業（☆新規事業）
<p><b>【施策①】生活習慣を整えられる子どもの育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な生活習慣や心身の健康の保持増進を目指す取組を推進する。</li> <li>・ 各種健康診断結果を活用して課題となる事項を見だし、より効果的な取組を行う。</li> <li>・ 学校保健委員会等を活用し、家庭や地域、学校医等の関係機関と連携した取組を推進する。</li> <li>・ 栄養バランスのとれた食事の大切さを子どもたちが認識できるよう、食に関する教育の充実を図る。</li> <li>・ 「学校生活アレルギーマニュアル」を活用し、アレルギー疾患の子どもへの対応を学校全体で行う。</li> </ul>
<p><b>【指標に関する取組】</b>  <b>健康指導の充実</b></p> <p><b>【指標】毎日、同じぐらいの時刻に寝ていると答えた子どもの割合</b></p> <p>小学校【R4実績/ R5目標/R8目標】82.3%/84%/85%</p> <p>中学校【R4実績/ R5目標/R8目標】76.0%/78%/80%</p>
<p><b>【施策②】スポーツを楽しむ子どもの育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画訪問等の指導において、ICTを活用する等、各校の体育（保健体育）の授業改善を促す。</li> <li>・ 新体力テストや全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を基に、本市の子どもたちの状況を分析し、各校の取組に生かす。</li> <li>・ 「富士市安全指導指針」等に基づき、体育的行事や授業、プールの使用において安全に運動できる環境を整える。</li> <li>・ 「富士市中学校部活動ガイドライン」を遵守した、各校における適切な部活動運営を推進する。</li> <li>・ 中学校に部活動指導員を配置し、効果的な活用方法を研究し、指導員研修を行う。</li> </ul> <p>☆「部活動地域移行」を視野に入れた懇話会を定期的に関き、子どもにとって望ましい持続可能な部活動の在り方について検討する。</p>
<p><b>【指標に関する取組】</b>  <b>体育の授業づくりの支援と運動環境の整備</b></p> <p><b>【指標】「運動やスポーツをすることが好きだ」に「好き」「やや好き」と回答した子どもの割合</b></p> <p>小学校【R4実績/ R5目標/R8目標】88.6%/95%/95%</p> <p>中学校【R4実績/ R5目標/R8目標】80.4%/90%/95%</p>
<p><b>【施策③】自ら命と体を守るための安全教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行者及び自転車の利用者として必要な知識と技能を習得し、道路や交通の状況に応じて、危険を予測、回避できる意識及び能力を高める。</li> <li>・ 犯罪被害の原因や防止方法について理解し、直面する防犯上の課題に対して、適切な行動を選択できるようにする。</li> <li>・ 自然災害の危険性を理解し、日頃から災害に対する備えや災害状況に応じた適切な判断について学習することにより、自らの安全を確保するための行動をできるようにする。</li> <li>・ 周囲の人々と助け合うとともに、小学校高学年以上においては、ボランティア活動等に積極的に参加し、地域に貢献できる子どもの育成を図る。</li> <li>・ 「危機管理マニュアル」の内容を教職員に周知徹底し、学校管理下における危機的状況に対し、早期に的確な対応ができる体制を整える。</li> </ul>
<p><b>【指標に関する取組】</b>  <b>子どもの発達段階を考慮した段階的な防災教育や安全教育の推進</b></p> <p><b>【指標】「緊急時に自分の命を守るために適切な判断と行動をとることができる」と回答した児童生徒の割合</b></p> <p>小学校【R4実績/ R5目標/R8目標】94%/100%/100%</p> <p>中学校【R4実績/ R5目標/R8目標】88.4%/95%/100%</p>

## 〔施策の柱4〕 頼もしい教職員の育成

教育上の諸課題への対応から多忙化の進む教職員の勤務状況を受け、教職員への心身の健康の維持・向上への配慮が必要となっています。その中で、教科指導力、学級経営力及びICT 活用力を有する教職員、困難な課題に同僚と協働し、地域と連携して対応する教職員、様々な変化に適切に対応した教育活動を行うことのできる教職員や、新しい学校の在り方を模索し学校組織を牽引する教職員など、学びを支え、人として魅力ある教職員の育成が求められています。

そのため、指導主事による計画訪問や要請訪問をより一層充実させるとともに、大学や関係教育機関と連携して校内研修への支援を進め、教職員の資質能力の発揮・向上を目指します。さらに、昨年度に施行された「富士市子どもの権利条例」に基づき、人権を尊重した教育環境づくりの研修を推進します。

また、GIGA スクール構想により子どもたちに配備されているタブレット端末を効果的に活用するため、教員の ICT を活用した授業力向上研修を充実させます。

さらに、「富士市小中学校における業務改革プラン<sup>19</sup>」「富士市立学校教育職員の勤務時間の上限に関する方針」を踏まえた働き方改革の一層の推進や、学校給食費の公会計化に伴う学校徴収金の一括徴収や共同学校事務室<sup>20</sup>による事務の効率化を進め、教職員が子どもと向き合い、真に寄り添った支援をするための時間を確保し、相互の信頼関係を深められるように努めます。加えて、勤怠管理システムにより教職員の勤務状況を把握し、ワークライフバランスを推進するとともに、教職員のストレスチェックを活用し、メンタルヘルスの推進に努めます。

### 富士市子どもの権利条例

【条例の目的】 全ての子どもが子どもの権利を侵害されることなく、命を守られ、自分らしく生き、成長及び発達していくことができるよう、子どもの権利を保障するとともに、子どもにやさしいまちづくりを推進するため。

【教育振興基本計画との関連】 教育活動全般にわたって、子どもの権利は保障されることから、教育振興基本計画を含め、子どもに係る全ての施策は、この条例を前提として実現される。

【子どもにとって大切な権利とは（富士市子どもの権利条例 第4条より抜粋）】

- ①生命・生存・発達に対する権利
- ②子どもの意見の尊重
- ③子どもの最善の利益
- ④差別の禁止



富士市子どもの権利条例

<sup>19</sup> 教職員個々の主体的な取組と学校における組織的改善を推進するための計画。教育の質の向上と教職員の心身の健康の保持増進を目的とし、学校における業務改善を目指す。

<sup>20</sup> 各校共通の事務を集中処理する共同体制。学校事務職員は通常1人の配置であるが、複数人で複数校の事務を行う共同体制を導入することにより、各校で教員、学校事務職員が担っている役割を見直し、教職員の負担を軽減する。また、教職員の役割の処理の効率化を図り、教職員の多忙化解消を推進する。

各施策の重点事業（☆新規事業）	
<b>【施策①】教職員の資質・能力の向上</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士市子どもの権利条例に基づく、人権を尊重した教育環境づくりを推進する。</li> <li>・全ての研修において、主催者や受講者が総合的人間力、教育的素養の向上を意識するとともに、人権やコンプライアンスに関する研修等を実施することで、教職員の資質・能力の向上を図る。</li> <li>・コンプライアンスの徹底のため、静岡県教育委員会の冊子「信頼にこたえる」やコンプライアンス通信、交通 KYT 等を活用した不祥事根絶研修を推進する。また、体罰・暴言等やセクハラに関するアンケート等を通して教職員一人ひとりが指導のあり方を振り返る場を設ける。</li> <li>・ストレスチェックを活用し、教職員のメンタルヘルスを推進する。</li> </ul>	
<b>【指標に関する取組】</b>	
<b>「教科等研修」「危機管理研修」「メンタルヘルス研修」等の研修の充実</b>	
<b>【指標】「安心して子どもを任せられる学校である」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した保護者の割合</b>	
<b>【R4実績/ R5目標/R8目標】90%/95%/100%</b>	
<b>【施策②】学び続ける機会の充実</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな時代に対応する教員像を示し、児童生徒個々の特性に合わせた生徒指導力や ICT 教育データ活用等への対応力に関する研修機会を充実させる。</li> <li>・静岡県教員育成指標<sup>21</sup>に即し、キャリアステージに応じた年代別研修を系統的に実施し、子ども理解力・授業力・特別支援教育への理解・ICT 活用能力等の向上を図る。</li> <li>・ICT の効果的な活用をめざした教育への対応や、特別支援教育への理解、授業における指導と評価の一体化等、教職員のニーズに応じた「アフター5講座」の充実を図り、教職員の主体的な学びを支援する。</li> </ul>	
<b>【指標に関する取組】</b>	
<b>「3年目研修」や「ミドルリーダー研修」「マイスター研修」等の年代別研修、「情報教育講座」や「アフター5講座」の充実</b>	
<b>【指標】「授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか」に「よくしている」と回答した学校の割合</b>	
小学校【R4実績/ R5目標/R8目標】37.0%/45%/60%	
中学校【R4実績/ R5目標/R8目標】68.8%/70%/80%	
<b>【施策③】効果的な教育活動のための働き方改革の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆学校給食費の公会計化や学校徴収金の一括徴収制度により、教職員の子どもの支援時間の確保を図るなど、子どもの心にきめ細かに寄り添う教育を推進する。</li> <li>・働き方改革に係る取組や時間外在校等時間の公表、提出文書の精選及び提出方法の変更、紙媒体で行ってきた調査の電子媒体への変更、各種様式の見直し等により、教職員が子どもに向き合い、支援をする時間を確保する。</li> <li>・吉原小学校と富士中学校に設置した共同学校事務室の充実を図る。5年目を迎え、より一層、教職員の業務改善に取り組む。</li> <li>・勤怠管理システムにより教職員の時間外在校等時間を客観的に計測し、学校における働き方改革を推進する。</li> </ul>	
<b>【指標に関する取組】</b>	
<b>業務改善プランの徹底</b>	
<b>【指標】「業務改善が進められているか」に「充分進んでいる」と回答した学校の割合</b>	
<b>【R4実績/ R5目標/R8目標】75%/80%/95%</b>	

<sup>21</sup> 教員の大量退職や年齢の不均衡等の学校を取り巻く諸課題の会解決を図る方策として、平成 28 年 11 月に「教育公務員特例法の一部改正」がなされ、法的に「教員育成協議会の創設」「教員育成指標の整備」「教員研修計画の策定」が義務付けられた。これを受け、静岡県では、平成 29 年に「静岡県教員育成指標」及び「静岡県校長育成指標」が策定された。

## 〔施策の柱5〕 未来を切り拓く生徒を育成する市立高校

市立高校は、教育理念 CDI（「コミュニティ・ハイスクール」、「ドリカム・ハイスクール」、「探究・ハイスクール」）を掲げ、学力の向上とともに、探究する力、コミュニケーション能力、社会に貢献する意欲等を育て、「知・情・意」の調和のとれた心身ともにたくましい「自律する若者」の育成に努め、自然と地域を愛し、本市や社会に貢献できる人材の輩出を目指していきます。

令和4年度からの新学習指導要領では、「探究」を冠した科目が設定され、どの高校でも探究学習が行われるようになりました。こうした時代においても、市立高校が探究の先進校であり続けるために、探究学習の質の向上を目指して、知識及び技能との相乗的な学びや最新のAI活用教材の導入、ICTを活用したより発展的で専門性を持った探究学習に取り組みます。さらには、生徒が「課題や問いの立て方」や「分析の仕方」といった自ら探究を進めるスキル身に付けられるような指導を行っていきます。また、探究学習によって生徒にどのような変容があったのか、卒業までに生徒にどのような力がどの程度身に付いたのかを可視化し、評価する取組を実施します。

生徒の夢実現への支援については、社会構造と子どもたちを取り巻く環境の変化を背景に、ウェルビーイング<sup>22</sup>の視点（生徒一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ）を意識し、生徒が富士市で人生をよりよく生きるためにどうするかという点からキャリア教育や探究学習に取り組んでいきます。

地域と連携した学校づくりにおいては、富士市設置の高校として、市立高校は市民に愛され市民に応援される学校でなければなりません。そのためには、地域と連携した教育活動や保護者や地域住民の声を反映した学校づくりに努め、本市や社会に貢献できる人材を多く輩出できるよう努めます。

また、Society5.0の社会が到来すると言われる中、ICTを活用するGIGAスクール構想に基づき、本年度から全生徒に対してタブレット端末を貸与し、授業や家庭学習においてタブレット端末を積極的に活用します。また、全ての教員がICTを活用した教育活動を実践できるようサポートするために、ICT支援員を配置します。また、AIの基本理解をはじめ、AIを活用して社会課題解決に取り組む最新のAI活用教材の導入や、オンラインを利用した海外の学生との交流、国内外を繋いだ授業等、ICTを学習ツールとして積極的に活用した教育活動の推進を図ります。

学校広報活動においては、探究学習の内容を伝える中学生向け広報紙の発行や、学校ウェブサイトへの更新、報道提供等に加えて、You Tubeでの動画配信やSNSの活用により、中学校や地域に向けて本校の魅力を積極的に発信し、本校への進学を志望する中学生が増えるよう努めます。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から控えられてきた学校行事については、感染症対策を施しながら可能な限り実施できるようにするものの、2年生で実施する海外探究研修については、研修地を国内に変更して実施します。

<sup>22</sup> 一般的には、身体・精神・社会といったあらゆる面において健康な状態にあることを表す概念と訳されることが多い。

各施策の重点事業（☆新規事業）
<p><b>【施策①】 探究する精神と姿勢を育む教育活動の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての生徒が3年間を通して、探究的な力やチームで協働する姿勢を身に付ける課題解決型学習「究タイム」を学ぶ。</li> <li>・各学科や教科の学習の中に、探究を意識した主体的・対話的で深い学びを実践する。</li> <li>・オンラインやICTを効果的に活用した授業を進める。</li> </ul> <p>☆最新のAI活用教材を導入・活用し、社会課題解決に取り組む。</p>
<p><b>【指標に関する取組】</b>  <u>「究タイム」及び探究を取り入れた授業の実践</u>  <b>【指標】「探究学習で学んだことは、普段の自分の生活や将来に役立つと思う」と答えた生徒の割合</b>  <b>【R4実績/ R5目標/R8目標】 84.9%/88%/95%</b></p>
<p><b>【施策②】 生徒の夢実現への支援と充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広く世界を舞台に活躍されている方を講師に招きキャリア講演会を実施する。</li> <li>・1年次の職業人講話、2年次の大学・学部研究、3年次の進路個別指導など学年に応じたキャリア教育を行う。</li> <li>・全学科における英語資格・検定試験やビジネス探究科における全商検定など資格取得を支援する。</li> <li>・部活動の推進体制と施設・設備を整備する。</li> </ul>
<p><b>【指標に関する取組】</b>  <u>多様な進路希望に対応した細やかな進路支援</u>  <b>【指標】自分の思い描いていた進路を実現できたと回答した生徒の割合</b>  <b>【R4実績/ R5目標/R8目標】 92.4%/90%/90%</b></p>
<p><b>【施策③】 地域ネットワークを活用した教育活動及び学校運営の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生が地域の魅力と課題を見付け出し、地域の方と高校生ができることを企画・提案する「市役所プラン」を行う。</li> <li>・ビジネス探究科において、地元の農産品などを利用した商品開発や高校生の視点ならではの新しいビジネスの提案など市内事業所と連携した学習活動を行う。</li> <li>・保護者や地域住民の声を反映した学校づくりをするために、学校運営協議会を開催する。</li> <li>・「人工芝で遊ぼう」や「多世代交流サッカー」など学校施設を活用した地域交流事業を行う。</li> <li>・聴覚に障害のある子どもたちがスポーツに親しむ機会を提供するために、Def キッズサッカー教室を開催する。</li> </ul>
<p><b>【指標に関する取組】</b>  <u>地域社会や大学、行政、企業等と連携した教育活動の推進</u>  <b>【指標】地域社会や大学、行政、企業等と連携して実施した授業や学校行事数</b>  <b>【R4実績/ R5目標/R8目標】 17件/20件/20件</b></p>
その他の事業
☆GIGA スクール構想を実現するために、全生徒へのタブレット端末の貸与及び運用
☆ICTを活用した授業を実践するための最新のAI活用教材やICT支援員の導入
・教職員の資質・能力の向上を目的とした授業力向上研修の受講や先進校の視察
☆ESCO 事業 <sup>23</sup> による空調機及び照明等の更新事業

<sup>23</sup> ESCO 事業（Energy Service Company 事業）とは、公共施設の改修に当たり設備改修と維持管理を伴う省エネルギーサービスを専門事業者委託し、その委託費を省エネルギーによる光熱水費の削減分で賄うことを基本とする事業のこと。

### (3)方針3 生涯にわたって学び続ける「ふじの人」の育成

#### 〔施策の柱1〕 人生100年時代を豊かに生きる学びの推進

本年度も、感染症対策に留意した上で、人生100年時代を豊かに生きるために、生涯を通じた学びの場、市民が主体的に行動する学びの場を整備していきます。

近年、少子高齢化等により社会の構造変化が起きる中、地域社会の課題も多様化していることから、市民が地域に関心を持ってもらう機会を創出することを目指して、地域に関する学習や地域の人材を活用した講座を行っていきます。

そのほか、青少年の体験活動の機会の減少も、新型コロナウイルス感染症の流行により拍車がかかっています。そのため、これまでの背景を念頭に置いて、体験事業等を企画・実施するとともに、青少年育成団体の活動を支援することで、体験や交流の場を確保していきます。

生涯を通じた学びの場の充実を実現する取組として、趣味を通じた新しい仲間との出会いや、教養を深める場所を提供することなどを目的に、様々な分野のまちづくりセンター講座を実施します。また、家庭教育力の向上を目指し、家庭教育支援員等地域人材のネットワーク化を進める取組を継続して行います。

青少年体験交流事業については、気仙沼市大島の宿泊先の高齢化や長距離移動となるリスクなどの課題があったため事業の見直しを行いました。リニューアルにあたり、名称を「無限∞のキズナ<sup>24</sup>」とし、新たな研修地を長野県伊那市周辺といたしました。

研修では、「キズナ学習」、「地域交流プログラム」、「体験プログラム」を関連付けて実施し、次世代リーダーの育成を図っていきます。「キズナ学習」は本事業の核となるプログラムであり、受講生たちは「最高のチームを作ろう」を目標に班の仲間同士で様々な題材やグループ学習を通じて意見をぶつけ合い、チームとしての結論を導き出します。「地域交流プログラム」では、地域の方との交流を通し、地元への愛着と地域を盛り上げようとする熱い想いに触れます。「体験プログラム」ではニュースポーツや自然体験活動などを通して自然の雄大さに触れつつ、チームの一員としての自分の考え方や行動について学びます。

本事業に参加することで、交友関係の輪を広げる、地域の大人と交流を広げ、コミュニケーション力・課題解決能力を身につけることを目指していきます。

また、ANAグループとの協働により、航空関連のキャリア教育プログラム「ミライつく〜る」を実施します。事業内容は、小学6年生の希望者120人が、パイロット、キャビンアテンダント、整備士等、5つの職種に携わる現役社員の仕事にかかる想いに直接接触れることで、夢を追いかけることの大切さなどを学びます。

そのほか、成年年齢の引下げに伴い、従来の成人式は「富士市はたちの記念式典」と名称を改め、人生の節目を祝う機会として引き続き実施し、18歳の新成人に対しては、祝意メッセージとともに富士のほうじ茶一煎パックを送り、成人の門出を祝います。

また、青少年の健全育成に向け、非行防止のための補導活動を行うなど、青少年を取り巻く環境をよりよいものにしていきます。

<sup>24</sup> 「キズナ無限∞の島」事業の後継事業として、「異年齢・異学校交流」、「仲間の大切さ」などの基本コンセプトは引き継ぐこと、市民にも“キズナ”の愛称で浸透していることから、「キズナ」の文言は残すことをベースとして考案した新事業名称。

各施策の重点事業（☆新規事業）
<p><b>【施策①】生涯を通じた学びの場の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各地区まちづくりセンターを会場に、新しい趣味の発見や仲間づくり、教養を深める身近な場を提供することを目的として、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の方々を対象に様々な分野の講座を開催する。</li> <li>自ら学んだことを還元する意欲のある市民を応援し、民間団体の活性化を図るとともに、市民のニーズに応える魅力的な講座を提供するため、市民や民間団体が主体となって開催する「市民プロデュース講座<sup>25</sup>」や「オープン自主グループ講座<sup>26</sup>」、「みんカル講座<sup>27</sup>」を実施する。</li> <li>豊かな人づくりを目指し、より高度で専門的な知識を学ぶため、各専門分野に精通している教授や著名な講師等を招き、富士市民大学<sup>28</sup>を開催する。</li> </ul>
<p><b>【指標に関する取組】</b>  <u>新しい趣味や仲間づくりを目的としたまちづくりセンター講座の実施</u>  <b>【指標】</b> 講座を受けたことによって、学ぶ意欲が高まったと回答した参加者の割合  <b>【R4実績/ R5目標/R8目標】</b> 94.1%/100%/100%</p>
<p><b>【施策②】地域ぐるみの社会教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりセンター講座等において、地域の資源や魅力を知る学習や地域の人材を活用した学習、地域活性化に資する学習等を目的とした「人づくり講座」を継続して実施する。</li> <li>地域の未来を担う人材育成のため、小学生等を対象に少年教育講座を実施する。</li> <li>家庭の教育力向上を目指し、家庭教育支援員<sup>29</sup>など、地域で活躍する人材のネットワーク化を進めるため、家庭教育支援員等への学習機会の提供や交流の場づくりを継続して行う。</li> <li>小中学校入学前の保護者を対象とした子育て講演会を継続して実施するとともに、未就園児とその保護者を対象とした家庭教育講座を実施する。</li> <li>地域全体で子どもを育む環境づくりを進めるため、学校と地域の連携・協働と地域学校協働活動<sup>30</sup>の充実に向けた取組を支援する。</li> </ul>
<p><b>【指標に関する取組】</b>  <u>人づくり講座の実施</u>  <b>【指標】</b> 講座を受けたことによって、富士市・地域の魅力や課題を知ることができたと回答した参加者の割合  <b>【R4実績/ R5目標/R8目標】</b> 91.8%/100%/100%</p>

<sup>25</sup> 市内で活動している団体や市民が企画・運営する講座。市民主体の地域づくりや地域の担い手づくりを推進することを目指している。

<sup>26</sup> 同じ趣味や興味・関心を持つ仲間が集まり、まちづくりセンターで活動している自主グループが開催する初心者向け体験講座。

<sup>27</sup> 趣味教養・仲間づくりを目的とする講座のうち、市内で活動している民間団体が企画・運営する講座。民間団体が得意とする分野の講座を、まちづくりセンターで展開し、地域に根付いた魅力的な講座を目指す。

<sup>28</sup> 前期ミニカレッジは各専門分野の教授や有識者等と連携して開催、後期講演会は各分野で活躍する著名な講師による講演会を開催している。

<sup>29</sup> 静岡県家庭教育支援員養成研修で、家庭教育支援の知識とスキルを学んだ人。行政や学校と協力して、保護者会、懇談会、家庭教育講座等の保護者が集まる場で、子育てについての悩みや不安を話し合う会等の進行や、情報提供を行うなど、保護者の学びの支援を行う。

<sup>30</sup> 地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体、機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。

**【施策③】 新たな時代を生き抜く次世代の育成**

- ☆青少年体験交流事業をリニューアルし、名称を「無限∞のキズナ」と改めるとともに、舞台を長野県伊那市周辺に移して、次世代リーダーの育成等を行う。
- ・岩手県雫石町との少年交流事業を富士市で実施し、地元の特色を学習しながら相互交流と集団生活を通じて、他人への思いやりの心を養う。
- ☆キャリア教育プログラム「ミライつく〜る」を実施する。
- ・青年の主体的な社会参加を促すため、青年教養講座を実施するとともに、受講生同士の交流の場を企画し、仲間づくりと社会貢献活動に参加するきっかけを提供する。
- ・青少年の非行防止のため、声掛けをはじめとする補導活動や環境浄化活動を推進する。

**【指標に関する取組】**

**青少年体験交流事業の実施**

**【指標】 青少年体験交流事業参加者の満足度**

**【R4実績/R5目標/R8目標】 --%/100%/100%**

その他の事業

- ・ 市政いきいき講座
- ・ 青少年育成団体への活動支援
- ・ 「富士市はたちの記念式典」の実施



白樺湖（「無限∞のキズナ」実施予定地）



## 〔施策の柱2〕 市民の学びの場である図書館の充実

図書館は、生涯学習の拠点として市民に読書機会の提供や学びの支援を行っています。

近年は、市民のライフスタイルが多様化し、時間的な余裕のない中高生や、交通手段がない高齢者等の来館することが難しい市民が増え、読書機会が少なくなっていることが課題となっています。

このような市民の学びを生涯にわたって支援していくため、誰もが気兼ねなく利用しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、生涯学習に必要な多種多様の資料を収集・提供し、課題解決のためのレファレンスサービス<sup>31</sup>に努めます。また、来館することが難しい市民のためには、移動図書館を2台体制として巡回場所や回数を増やすなど、遠隔地での利便性の向上を図ります。

令和4年度に提供を開始した、いつでもどこでも資料を利用できる電子図書館については、小中学生向けの電子図書を中心に収集するとともに、より一層の利用を促進するため、サービスの周知に努めます。

子どもの読書活動推進については、引き続き「第三次富士市子ども読書活動推進計画<sup>32</sup>」に基づき、読書環境の整備、読書機会の提供、読書活動の啓発・普及に取り組みます。

さらに、本と人、そして地域をつなぐ人材育成の取組として、活動する場や情報を提供し、スキルアップ講座等を開催することで、読書関係団体及びボランティアを支援します。

### 各施策の重点事業（☆新規事業）

#### 【施策①】生涯にわたる読書習慣の推進

- ・蔵書構成を考慮した多様な資料の収集・提供を行うとともに、所蔵資料のデジタル化による記録保存を推進する。
- ・来館せずにいつでも利用できる「ふじ電子図書館」等のICTを活用したサービスの利用を促進する。
- ・移動図書館の巡回先の幼稚園、保育園等での職員による読み聞かせや、外部のイベントへの参加により読書活動の推進を図る。
- ・にぎわい図書館デー<sup>33</sup>を周知し、利用しやすい雰囲気づくりを行う。

#### 【指標に関する取組】

##### 市民の読書活動の推進

【指標】一人当たりの図書貸出数（電子書籍含む）

【R4実績/ R5目標/R8目標】7.2点/7.4点/8.2点

#### 【施策②】本・人・地域をつなぐ人材育成

- ・資料や情報、活動場所の提供により、読書関係団体を支援する。
- ・ボランティアのためのスキルアップ講座を開催し、ボランティアの技術向上や人材の育成を図るとともに、活動が円滑に行われるよう支援する。

#### 【指標に関する取組】

##### ボランティア養成講座の開催

【指標】ボランティア養成講座の参加者数

【R4実績/ R5目標/R8目標】176人/180人/200人

<sup>31</sup> 図書館の資料を使い、調べ学習や調べ物のサポートをするサービスのこと。

<sup>32</sup> 子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものという考えから、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、そのための環境整備を推進するための計画。

<sup>33</sup> 毎週土曜日と日曜日をにぎわう日に設定し、赤ちゃんが泣いたり、幼児がおしゃべりしたりしてもよい雰囲気づくりをすることで、幼い子ども連れも市民が利用しやすいようにしていく事業。

その他の事業
・ウェブサイトや各種 SNS、市広報、報道機関を活用した図書館の情報（資料案内、イベント案内、活動紹介等）の発信
・文学講演会、ビジネス支援講演会、各種講座、おはなし会の開催
・「ブックスタートふじ」、「セカンドブックふじ」事業の実施
・「富士市図書館協議会」「富士市子ども読書活動推進協議会」の開催
・まちづくりセンター配本の充実



新移動図書館



点訳講座

### 〔施策の柱3〕 ころ豊かな市民文化の創造

文化財については、少子高齢化等に伴う文化財の滅失や散逸等が危惧されることから、地域社会全体で文化財を適切に保存し、活用していくため、国の認定を受けた「富士市文化財保存活用地域計画<sup>34</sup>」を基本として周知・啓発を図り、その理念を地域住民と共有し、文化財に対する意識の醸成を図っていきます。

また、国・県・学識者・市民の意見を伺いながら国指定史跡「浅間古墳」の保存活用計画の策定を進めていくとともに、市指定史跡「千人塚古墳」の保存整備を進めるための実施設計を行っていきます。

その他、旧女性活動センター及び敷地の利活用を検討するため、土地の測量を実施し、基礎データとなる実測面積の把握と隣接地との境界確定を行います。また、市指定有形文化財「ディアナ号の錨」は、地域における管理と利活用の利便性を考慮し、より活用が期待できる場所への移設と長期保存に耐え得るよう防錆工事を行います。さらに国重要文化財「古谿荘」については、引き続き国・県とともに建物修理に係る助成を行います。

博物館業務については、本市及び本市近隣市町の歴史・文化に係る調査研究を行い、企画展や展示会、体験講座等を開催するほか、小中学校等への見学対応や資料の貸出を行うとともに、まちづくりセンターや地域包括支援センター等への出前講座を開催します。

また、博物館本館をはじめ、附属棟や分館、屋外展示施設の経年劣化に対応するため、適正な維持管理及び修繕を引き続き行うとともに、文化財資源を後世にわたって伝え、保存し、本市の歴史と文化を楽しく学べるよう、文化財建造物等の活用に努めます。



市民歴史講座



火おこし体験（大淵一小）

<sup>34</sup> 市町村において取り組んでいく目標や取組の具体的な内容を記載した、当該市町村における文化財の保存・活用に関するマスタープランであり、アクション・プランである。文化財の保存・活用に関して当該市町村が目指す将来的なビジョンや具体的な事業等の実施計画を定め、これに従って計画的に取組を進めることで、継続性・一貫性のある文化財の保存・活用が一層促進されることから、計画を広く周知し、地域住民の理解・協力を得ることにより、地域社会総がかりによる、より充実した文化財の保存・活用を図ることが可能となる。

各施策の重点事業（☆新規事業）
<b>【施策①】芸術文化の振興</b> （市民部文化スポーツ課による執行事業。）
<b>【施策②】文化財の保存と活用</b> ☆文化財保存活用地域計画推進協議会、史跡保存整備委員会を開催する。 ☆国指定史跡「浅間古墳」の保存活用計画を策定する。 ☆市指定史跡「千人塚古墳」保存整備事業の実施設計を行う。 ☆市指定有形文化財「ディアナ号の錨」について、管理・活用の利便性を考慮し、移設と防錆工事を行う。 ・富士市文化財保存活用地域計画の周知・啓発を行う。 ・旧女性活動センター等の実測面積把握・境界確定のための土地測量業務を行う。 ・国重要文化財「古谿荘」修復に係る助成等を行う。 ・市民歴史講座等、歴史・文化に関する普及啓発を行う。
<b>【指標に関する取組】</b> <u>文化財に関する講座、イベント等による文化財の保存・活用の促進</u> <b>【指標】文化財普及活動に参加した人数</b> <b>【R4実績/ R5目標/R8目標】131人/200人/700人</b>
<b>【施策③】学びの場である博物館の充実</b> ☆第60回企画展「東海道にかける富士の橋」を開催する。 ☆県指定文化財「旧稲垣家住宅」の修繕及び小屋裏防腐処理を行う。 ☆東平遺跡復原建物周辺樹木伐採・強剪定を行う。 ☆ふるさと村歴史ゾーンの屋外消火栓消防ホースの更新を行う。 ・文化財建造物等の保守管理を行う。 ・各種体験講座及び出前講座を開催する。 ・ウェブサイトの充実・博物館収蔵品データベースの整備を行う。
<b>【指標に関する取組】</b> <u>小中学校や高齢者団体による博物館資料を活用した学習支援事業の利用促進</u> <b>【指標】博物館資料を活用した学習支援の件数</b> <b>【R4実績/ R5目標/R8目標】69件/70件/165件</b>
その他の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護審議会の開催</li> <li>・文化財説明板の整備、修繕</li> <li>・埋蔵文化財発掘調査事業（民間開発に伴う確認調査、本発掘調査）</li> <li>・発掘調査資料の整理及び発掘調査報告書の作成（天間沢遺跡発掘調査報告書等）</li> <li>・博物館収蔵資料の調査整理作業（六所家旧蔵資料、山崎家文書ほか）</li> <li>・富士山及び富士山南麓かぐや姫伝説に係る資料の調査収集</li> </ul>



## Ⅱ 教育委員会と事務局概要

### 1 教育長・教育委員



教 育 長  
森 田 嘉 幸



教育長職務代理者  
和 久 田 恵 子



委 員  
篠 原 均



委 員  
松 田 靖 子



委 員  
塩 谷 知 一

職	氏 名	就任年月日
教 育 長	森 田 嘉 幸	平成 30 年 12 月 24 日
教育長職務代理者	和久田 恵子	平成 26 年 12 月 25 日
委 員	篠 原 均	平成 28 年 12 月 25 日
委 員	松 田 靖 子	平成 30 年 12 月 25 日
委 員	塩 谷 知 一	令和元年 10 月 4 日

(任期 教育長 3 年 教育委員 4 年)

## 2 歴代教育委員等

### 歴代教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日
渡辺 巖	S41.11.1	S46.2.23
米山 益郎	S41.11.1	S45.12.20
吉田 甫	S41.11.1	S47.12.23
山崎 隆	S41.11.1	S41.12.20
山本 英彦	S41.11.1	S41.12.20
遠藤 栄	S41.12.21	S45.12.20
石川 軍治	S41.12.21	S44.12.20
杉浦 秀俊	S45.12.25	S49.12.24
篠原 博	S45.10.6	S57.10.6
伊藤 周三	S45.12.25	S49.12.24
時田 忠蔵	S46.6.23	S54.3.31
鈴木 孝	S47.12.25	S49.10.3
土屋 重義	S49.12.25	S53.12.24
望月きくゑ	S49.12.25	S53.12.24
青木 武雄	S49.12.25	S55.12.24
川村 雅俊	S53.12.25	H2.12.24
山崎 光男	S53.12.25	S61.12.24
小川 清	S54.4.1	S62.12.23
河野 勝義	S57.12.25	H2.12.24
瀧 榮三郎	S55.12.25	H4.12.24
里和 治	S61.12.25	H10.12.24
山本 厚	S62.12.24	H7.12.23
河野 光男	H2.12.25	H14.12.24
田邊 恵造	H2.12.25	H14.12.24
伊藤 匡穎	H4.12.25	H20.12.24
太田 均	H7.12.24	H14.3.31
在原 渥子	H10.12.25	H14.12.24
平岡 彦三	H14.4.1	H23.12.23
長岡 路子	H14.12.25	H26.12.24
土屋 厚子	H14.12.25	H19.12.19
佐野 武男	H14.12.25	H26.12.24
吉川 智子	H19.12.20	H30.12.24
加藤 馨一	H20.12.25	H28.12.24
山田 幸男	H23.12.24	H30.12.23
毛涯 晋	H26.12.25	R1.7.11

氏名	就任年月日	退任年月日
和久田 恵子	H26.12.25	(R7.12.24)
篠原 均	H28.12.25	(R6.12.24)
松田 靖子	H30.12.25	(R8.12.24)
塩谷 知一	R1.10.4	(R5.12.24)

### 歴代教育長

氏名	就任年月日	退任年月日
渡辺 巖	S41.11.1	S46.2.23
時田 忠蔵	S46.6.23	S54.3.31
小川 清	S54.4.2	S62.12.23
山本 厚	S62.12.24	H7.12.23
太田 均	H7.12.24	H14.3.31
平岡 彦三	H14.4.1	H23.12.23
山田 幸男	H23.12.24	H30.12.23
森田 嘉幸	H30.12.24	(R6.12.23)

### 歴代教育委員長

氏名	就任年月日	退任年月日
篠原 博	S48.1.12	S57.10.6
山崎 光男	S58.1.25	S61.1.24
川村 雅俊	S61.1.25	S61.12.24
川村 雅俊	S62.1.8	S62.12.24
瀧 榮三郎	S62.12.25	H1.12.24
川村 雅俊	H1.12.25	H2.12.24
瀧 榮三郎	H2.12.25	H4.12.24
里和 治	H4.12.25	H6.12.24
田邊 恵造	H6.12.25	H8.12.24
河野 光男	H8.12.25	H10.12.24
伊藤 匡穎	H10.12.25	H12.12.24
田邊 恵造	H12.12.25	H14.12.24
伊藤 匡穎	H14.12.25	H18.12.24
長岡 路子	H18.12.25	H20.12.24
佐野 武男	H20.12.25	H26.12.24
吉川 智子	H26.12.25	H27.12.23

( ) 内は現任期における退任年月日

### 3 令和4年度教育委員会会議及び教育委員研修実績

#### (1) 教育委員会会議議案

実施日等	会 議 内 容
4月20日 (水) 市庁舎5階 第二会議室 傍聴者なし	(議案) 議第20号 令和4年度教育行政の方針と施策について
5月23日 (月) 市庁舎6階 第一、二会議室 傍聴者なし	(議案) 議第21号 令和4年度教育費6月補正予算について 議第22号 富士市立小中学校学校運営協議会委員の補欠委員の委嘱について 議第23号 富士市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部改正について 議第24号 富士市社会教育委員の委嘱又は任命について 議第25号 富士市図書館協議会委員の補欠委員の委嘱について 議第26号 富士市立高等学校学校運営協議会委員の補欠委員の任命について 議第27号 富士市青少年相談センター運営協議会委員の補欠委員の委嘱又は任命について 議第28号 富士市立博物館協議会委員の補欠委員の任命について  (報告) 報第5号 令和3年度教育施策の自己点検・評価について 報第6号 富士市社会教育委員会議提言書の提出について
6月21日 (火) 富士見台小学校1階 多目的室 傍聴者なし	(議案) 議第29号 富士市子ども読書活動推進協議会委員の委嘱又は任命について 議第30号 富士市教育文化スポーツ奨励賞選考委員会委員の委嘱又は任命について 議第31号 富士市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について  (報告) 報第7号 令和3年度富士市教育長表彰受賞者の追加決定について 報第8号 富士市社会教育委員会議提言書の提出について 報第9号 富士市公立学校教職員の表彰について
7月22日 (金) 市立中央図書館2階 視聴覚室 傍聴者なし	(議案) 議第32号 富士市立博物館協議会委員の補欠委員の委嘱について 議第33号 富士市立高等学校教科用図書採択について
8月19日 (金) 市立中央図書館2階 視聴覚室 傍聴者なし	(議案) 議第34号 令和4年度教育費9月補正予算について 議第35号 令和3年度富士市教育委員会の自己点検・評価について 議第36号 富士市学校給食費徴収規則の制定について 議第37号 富士市育英奨学条例施行規則の一部改正について 議第38号 富士市青少年相談センター運営協議会委員の補欠委員の委嘱について 議第39号 富士市教育文化スポーツ奨励賞受賞者の決定について
9月20日 (火) 教育プラザ3階 教育研修室 傍聴者なし	(議案) 議第40号 令和5年度富士市立高等学校入学者選抜実施要領の制定について 議第41号 富士市育英奨学条例施行規則の一部改正について



実施日等	会 議 内 容
10月19日 (水) 消防防災庁舎7階 大会議室 傍聴者なし	(議案) 議第42号 令和4年度教育費11月補正予算について 議第43号 富士市立学校設置条例の一部改正について 議第44号 富士市教育プラザ条例の一部改正について 議第45号 富士市立博物館条例の一部改正について 議第46号 富士市立学校施設使用料徴収条例の一部改正について 議第47号 富士市立幼稚園の設置等に関する条例の一部改正について 議第48号 富士市立幼稚園園則の一部改正について
11月22日 (火) 富士市立高校2階 PIR room 傍聴者なし	(報告) 報第10号 令和4年度富士市教育長表彰受賞者の決定について 報第11号 令和5年度富士市立高等学校入学者選抜募集定員について
12月20日 (火) 市庁舎6階 第一、二会議室 傍聴者なし	(議案) 議第49号 令和5年度教育委員会所管当初予算について 議第50号 令和5年度県費負担教職員の人事異動方針について (報告) 報第12号 令和5年富士市はたちの記念式典の実施について 報第13号 富士市教育委員会委員の就任について
1月20日 (金) 富士川第二 小中一貫校 松野学園2階 多目的室 傍聴者6人	(議案) 議第1号 令和4年度教育委員会所管2月補正予算について 議第2号 富士市立学校設置条例の一部改正について 議第3号 富士市立大淵第一小学校学校運営協議会委員の補欠委員の委嘱について 議第4号 富士市附属機関設置条例の一部改正について 議第5号 富士市立博物館条例の一部改正について (報告) 報第1号 令和5年富士市はたちの記念式典について
2月22日 (水) 教育プラザ1階 会議室1～3 傍聴者なし	(議案) 議第6号 富士市教育委員会事務局処務規則の一部改正について 議第7号 令和5年度県費負担教職員の人事異動の内申について (報告) 報第2号 令和5年度教育委員会所管当初予算額の内示について
3月20日 (月) 教育プラザ1階 会議室1～3 傍聴者なし	(議案) 議第8号 富士市文化財保存活用地域計画推進協議会規則の制定について 議第9号 富士市史跡保存整備推進委員会規則の制定について 議第10号 富士市立学校施設使用規則の一部改正について 議第11号 富士市立小中学校の通学区域を定める事務取扱要領の一部改正について 議第12号 富士市教育委員会自己点検評価に関する外部評価検討会委員の委嘱について 議第13号 富士市いじめ問題対策推進委員会委員の委嘱について 議第14号 令和5年度富士市立中学校学校評議員の委嘱について (報告) 報第3号 令和4年度富士市教育長表彰受賞者の追加決定について

## (2) 教育委員研修会

日 時	会 場	研 修 内 容
5月23日 (月)	市庁舎6階 第一、第二会議室	第1回 市長・副市長と教育長・教育委員による意見交換会
6月21日 (火)	富士見台小学校1階 多目的室	授業参観 地域の方と語る会（地域の方9名） テーマ「地域とともにある富士見台小学校の未来について」
9月20日 (火)	教育プラザ1階 大会議室	講演：「GIGA スクール構想のこれから」 講師：静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾 氏
10月19日 (水)	消防防災庁舎7階 大会議室	第2回 市長・副市長と教育長・教育委員による意見交換会
11月22日 (火)	富士市立高等学校	施設視察・授業参観 市立高校の教育について説明・質疑応答
1月20日 (金)	富士川第二小中一貫校 松野学園 2階 多目的室	授業参観 教職員と語る会（教職員10名） テーマ「施設一体型による小中一貫教育の推進」

## (3) 総合教育会議

日 時	会 場	研 修 内 容
7月22日 (金) 傍聴者3名	中央図書館2階 視聴覚室	第1回 議第1号 「市民の読書環境の充実について」
12月20日 (火) 傍聴者3名	市庁舎6階 第一、第二会議室	第2回 議第2号 「部活動の地域移行と富士市の方向性」
2月22日 (水) 傍聴者2名	教育プラザ 1階 会議室1～3	第3回 議第3号 「特別支援教育における富士市の状況」

## 4 教育委員会の自己点検・評価

日時	会場	会議内容
令和4年 5月26日(木)	教育プラザ3階 情報研修室1・2	・自己点検・評価について(教育委員会による説明)
令和4年 6月8日(水)	教育プラザ3階 情報研修室1・2	・自己点検・評価について(質疑応答) ・検討委員意見集約 ・総合評価

平成20年に改正施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施し、報告書の議会提出、公表が義務付けられている。平成19年度の事業評価から、15回目の実施となった。

会長の進行により、「大項目1教育委員会の活動」「大項目2教育委員会が管理・執行する事務」「大項目3教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」について事務局が事業及び自己点検・評価の説明を行い、外部評価委員からの質疑に回答した。委員の意見を集約した後に、会長から口頭で総合評価を受けた。内容は以下の通りである。



外部評価検討会の様子

### 【評価できる点】

- 1 教育施策の着実な遂行と、効果の表れが見られる。これまで教育振興基本計画後期実施計画に基づいて行ってきた各施策が、いろいろとつながりながら、子どもたちの学習面や、若者の居場所といった面に、確実に数字として表れてきている。これは、これまで行ってきた施策の成果と考えられ、高く評価できる。
- 2 授業が分かるという指標や、家庭学習の充実に関する指標、様々な困難を抱える若者やその家族への相談等の支援事業に関する指標などが顕著である。
- 3 GIGAスクール構想に基づくICT機器活用に関する研修においても、教育プラザのアフター5講座等で着実に推進してきたことによって、教員の主体性というものが見られ、それが子どもたちの学びや、家庭学習での効果につながっていると考えられる。

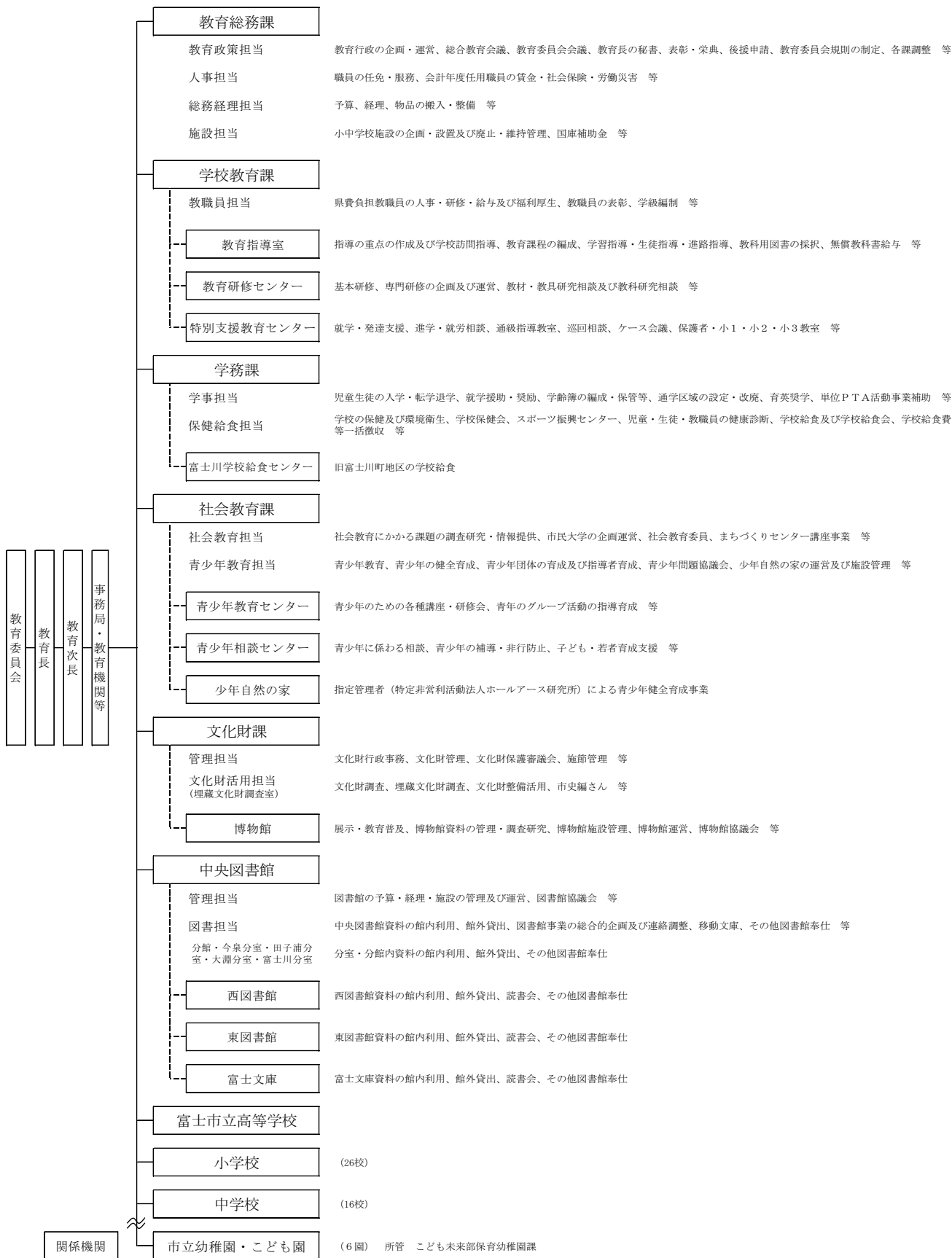
### 【今後の課題としたい点】

- 1 新しい教育振興基本計画の着実な遂行と、併せて、状況に合わせた柔軟な対応をお願いしたいという点である。  
第二次富士市教育振興基本計画もこれまでの基本計画同様、前期と後期に分かれていて、長期にわたる計画となっている。計画どおりに着実に遂行するという事は、とても大事なことであるが、一方で、今後の10年間で大きな変化や、予期せぬことが起こることは、十分考えられることである。その中で、長期的な指標を設定して、施策の成果を図るということであるが、そもそも指標の適切さも状況によっては変化する。よって、適宜状況と照らし合わせながら、例えば追加の指標を作ったり、指標を入れ替えたりといった柔軟な対応をしていただきたい。
- 2 学校や地域の課題を、学校と地域、家庭が、みんなで協議をしながら解決していこうとする文化を醸成していく点である。  
富士市では、着実にコミュニティ・スクールや地域学校協働活動というものが浸透され始めていることが見て取れる。一方で、この先どうしても活動の形骸化や、うまく回すことのみが目的化し、本来求められる課題解決というところから遠のいてしまうことが考えられる。昨今、解決すべき課題の多様化・複雑化により、学校だけの解決が難しいケースも山積している。これが教員の負担や多忙化につながっているところもあると考えられる。
- 3 学校、家庭、地域がみんなで解決していく上で必要な話し合いを進めるための、コミュニティ・スクール制度の活用や、富士市子どもの権利条例の視点からの教育活動の見直しが必要になると考える。こうした取組によって、いつの間にか本来の目的から離れて、活動を行うことが目的になったりしているところも、実効性のある活動への転換につながるのではないかと思います。  
学校と家庭、地域が、みんなで協議をして課題を解決していくという文化を醸成していくためには、啓発活動や実際の事例を蓄積することも大事になってくるので、その点をぜひ教育委員会として、各方面への浸透ということをお願いしたい。

外部評価検討会後、7月に外部評価委員の知見を取りまとめた意見書をいただき、教育委員会会議8月定例会での審議を経て、報告書を発行した。この報告書は、富士市議会9月定例会に合わせて提出するとともに、広く市民にも周知するため、富士市ウェブサイトに掲載した。

# 5 教育委員会行政組織機構

## (1) 事務局等概要



## (2) 教育委員会職員数

令和5年4月1日現在

職名 課等		部長等	課長等	統括等	主幹等	主事等	栄養士	指導 主事	教員	調理員	会計年度 任用職員	計
事務局	教育次長	1										1
	教育総務課		1	4	2	9		3				19
	学校教育課		1	1				3				5
	教育指導室		1	1	1			6			42	51
	学務課		1	2		2	1	1			3	10
	社会教育課		1	2	2	11					8	24
	文化財課		1	2	2	2		1			10	18
	小計	1	6	12	7	24	1	14	0	0	63	128
教育 機関	図書館		2	7	4	8					77	98
	教育研修センター		1					4			11	16
	特別支援教育センター				1	1		2			17	21
	富士川学校給食センター			1						4	12	17
	青少年相談センター			2		1					12	15
	青少年教育センター										1	1
	博物館		1		1	4					5	11
	小学校						4			48	258	310
	中学校									28	146	174
	富士市立高等学校		1	1	1	1		1	68		41	114
小計	0	5	11	7	15	4	7	68	80	580	777	
合計	1	11	23	14	39	5	21	68	80	643	905	

(市費負担職員のみ)

## (3) 職員数の推移（会計年度任用職員等を除く）

組織	平成 25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	令和 2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
事務局	60	59	41	42	43	44	45	45	54	64	65
教育機関	168	166	162	160	161	160	163	197	195	199	197
計	228	225	203	202	204	204	208	242	249	263	262

### Ⅲ 令和5年度教育予算

#### 1 歳出当初予算額

(単位:千円)

区分	年度	令和5年度 当初予算額 (A)	令和4年度 当初予算額 (B)	令和3年度 当初予算額 (C)	比較増減	
					(A) - (B)	(A) - (C)
一般会計予算総額		92,300,000	89,100,000	85,300,000	3,200,000	7,000,000
教育費総額		13,538,070	11,064,645	10,928,154	2,473,425	2,609,916
教育費の割合		14.7%	12.4%	12.8%	+2.3ポイント	+1.9ポイント

令和5年度の富士市一般会計予算総額は923億円で、前年度に比べ32億円の増となっている。  
また、教育費は135億3,807万円で前年度に比べ24億7千万円余の増、一般会計に占める割合は14.7%で前年度に比べ2.3ポイントの増となっている。

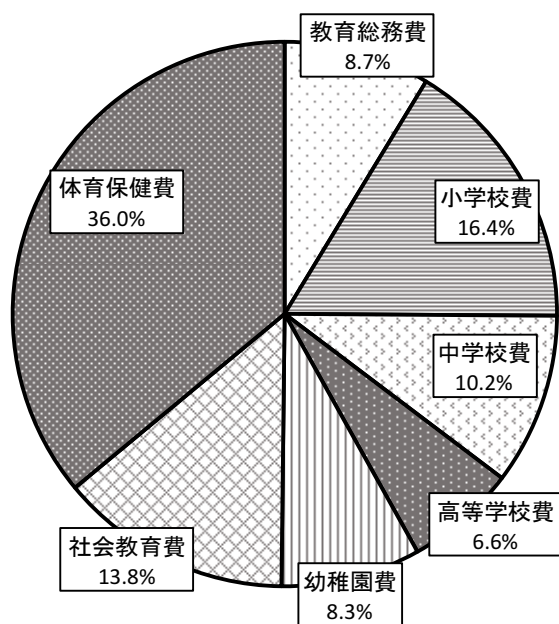
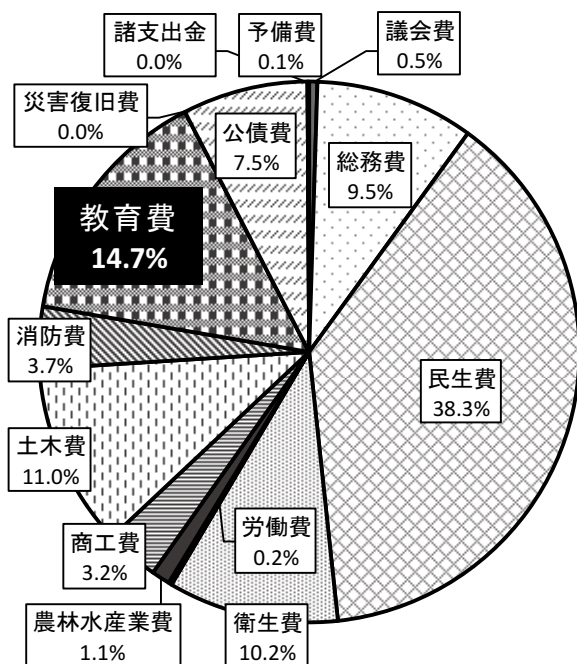
#### 2 一般会計歳出予算と教育費予算

一般会計 (単位:千円)

款	予算額	構成比
議会費	489,257	0.5%
総務費	8,778,552	9.5%
民生費	35,294,268	38.3%
衛生費	9,379,026	10.2%
労働費	217,461	0.2%
農林水産業費	977,116	1.1%
商工費	2,966,453	3.2%
土木費	10,140,824	11.0%
消防費	3,443,729	3.7%
教育費	13,538,070	14.7%
災害復旧費	36,000	0.0%
公債費	6,939,144	7.5%
諸支出金	100	0.0%
予備費	100,000	0.1%
歳出合計	92,300,000	100.0%

教育費 (単位:千円)

項	予算額	構成比
教育総務費	1,181,959	8.7%
小学校費	2,215,443	16.4%
中学校費	1,374,822	10.2%
高等学校費	895,957	6.6%
幼稚園費	1,131,838	8.3%
社会教育費	1,863,754	13.8%
体育保健費	4,874,297	36.0%
教育費合計	13,538,070	100.0%



### 3 教育費当初予算額内訳

歳入

(単位:千円)

款	令和5年度	令和4年度	増減	説明
分担金及び負担金	22,256	25,175	△ 2,919	日本スポーツ振興センター災害共済掛金保護者負担金
使用料及び手数料	100,481	99,861	620	富士市立高等学校入学料・授業料 中央図書館市民ギャラリー使用料
国庫支出金	651,117	671,310	△ 20,193	学校施設環境改善交付金 特別支援教育就学奨励費補助金 理科教育設備整備費等補助金 埋蔵文化財調査事業費補助金 へき地児童生徒援助費等補助金
県支出金	254,193	238,547	15,646	地域自殺対策強化事業費補助金 文化財保存費補助金 文化財保護事務委託金 部活動指導員配置事業費補助金 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金
財産収入	6,662	5,652	1,010	基金利子(大村教育施設等整備、育英奨学、教育振興基金) 社会科副読本有償頒布収入 博物館出版物等有償頒布収入
寄附金	503	503	0	小・中学校費寄附金
繰入金	541,090	130,060	411,030	基金繰入金(大村教育施設等整備、育英奨学、教育振興基金ほか)
諸収入	1,265,861	95,982	1,169,879	学校給食費負担金 学習用AIドリル保護者負担金 遺跡発掘調査受託金 日本スポーツ振興センター災害共済給付金収入 会計年度任用職員雇用保険料負担金 自動販売機等設置手数料 まちづくりセンター講座参加者負担金 市民大学参加者負担金 全国市長会学校災害賠償補償保険金収入 青少年体験交流事業参加者負担金
市債	3,071,500	1,967,200	1,104,300	小・中学校校舎等改修事業債 小学校屋内運動場リニューアル事業債 吉原第三中学校統合改修事業債 岳陽中学校武道場整備事業債 小・中学校空調設備整備事業債 中央図書館改修事業債
教育費関係歳入合計	5,913,663	3,234,290	2,679,373	

※ 金額には、教育委員会以外の所属が執行する教育費の事業(こども未来部保育幼稚園課が執行する幼稚園費の事業等)に充当する財源を含む。

## 歳出

(単位:千円)

区分	年度	令和5年度		令和4年度		増減額	対前年比
		金額	構成比	金額	構成比		
教育総務費		1,181,959	8.8%	1,228,623	11.1%	△ 46,664	96.2%
教育委員会費		4,336	0.0%	5,197	0.0%	△ 861	83.4%
事務局費		794,585	5.9%	845,594	7.6%	△ 51,009	94.0%
学校教育指導費		199,461	1.5%	204,346	1.8%	△ 4,885	97.6%
特別支援教育指導費		157,100	1.2%	150,381	1.4%	6,719	104.5%
育英奨学費		10,098	0.1%	9,671	0.1%	427	104.4%
教育プラザ費		16,379	0.1%	13,434	0.1%	2,945	121.9%
小学校費		2,215,443	16.3%	2,423,605	21.9%	△ 208,162	91.4%
小学校管理費		762,208	5.6%	701,476	6.3%	60,732	108.7%
小学校教育振興費		339,299	2.5%	379,642	3.4%	△ 40,343	89.4%
小学校建設費		1,113,936	8.2%	1,342,487	12.1%	△ 228,551	83.0%
中学校費		1,374,822	10.2%	1,259,199	11.4%	115,623	109.2%
中学校管理費		471,576	3.5%	420,758	3.8%	50,818	112.1%
中学校教育振興費		221,263	1.6%	261,441	2.4%	△ 40,178	84.6%
中学校建設費		681,983	5.1%	577,000	5.2%	104,983	118.2%
高等学校費		895,957	6.6%	945,168	8.5%	△ 49,211	94.8%
高等学校総務費		895,957	6.6%	945,168	8.5%	△ 49,211	94.8%
幼稚園費		1,131,838	8.4%	1,125,403	10.2%	6,435	100.6%
幼稚園管理費		367,870	2.7%	386,128	3.5%	△ 18,258	95.3%
幼稚園教育振興費		763,968	5.7%	739,275	6.7%	24,693	103.3%
社会教育費		1,863,754	13.7%	1,851,536	16.7%	12,218	100.7%
社会教育総務費		155,015	1.1%	152,482	1.4%	2,533	101.7%
生涯学習費		41,688	0.3%	42,910	0.4%	△ 1,222	97.2%
青少年教育費		17,759	0.1%	22,146	0.2%	△ 4,387	80.2%
青少年対策費		50,735	0.4%	50,808	0.5%	△ 73	99.9%
少年自然の家費		51,417	0.4%	53,611	0.5%	△ 2,194	95.9%
文化振興費		115,015	0.9%	114,594	1.0%	421	100.4%
文化会館費		683,161	5.0%	662,500	6.0%	20,661	103.1%
文化財保護費		46,835	0.3%	34,378	0.3%	12,457	136.2%
文化財発掘調査費		60,546	0.5%	62,284	0.6%	△ 1,738	97.2%
博物館費		99,252	0.7%	94,128	0.9%	5,124	105.4%
図書館費		542,331	4.0%	561,695	5.1%	△ 19,364	96.6%
体育保健費		4,874,297	36.0%	2,231,111	20.2%	2,643,186	218.5%
体育振興費		63,528	0.5%	73,614	0.7%	△ 10,086	86.3%
体育施設費		524,657	3.9%	554,139	5.0%	△ 29,482	94.7%
総合体育館費		1,858,300	13.7%	380,440	3.4%	1,477,860	488.5%
保健費		135,431	1.0%	135,220	1.2%	211	100.2%
学校給食費		2,292,381	16.9%	1,087,698	9.8%	1,204,683	210.8%
教育費 合計		13,538,070	100.0%	11,064,645	100.0%	2,473,425	122.4%

※ 幼稚園費は、こども未来部保育幼稚園課が予算執行する。

※ 社会教育費のうち文化振興費、文化会館費及び体育保健費のうち体育振興費、体育施設費、総合体育館費は、市民部文化スポーツ課が予算執行する。



#### 4 職員数

正規職員	260 人	(会計年度任用職員職種)
会計年度任用職員	636 人	事務補助、学校用務員、学校司書、学校調理員、
職員総数	896 人	特別支援学級サポート員、特別支援教育サポート員、
	(教育委員会以外の所属を除く)	病院内講師、外国人児童生徒指導員、ICT支援員、
	※正規職員にはフルタイム会計年度任用職員3人を含む。	部活動指導員、スクールソーシャルワーカー、
	※会計年度任用職員には育休代替を含まない。	英語指導助手(ALT)、青少年相談員 ほか

#### 5 教育費決算額の推移

(単位:千円)

年度 区分	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
教育総務費	1,266,483	1,258,651	1,275,218	1,254,287	1,197,418
小学校費	3,047,095	2,620,042	2,259,255	1,229,817	974,639
中学校費	1,256,998	1,251,124	1,170,225	834,489	766,484
高等学校費	780,052	812,056	737,768	761,987	790,816
幼稚園費	1,056,555	1,010,922	793,584	603,347	601,703
社会教育費	1,741,273	1,936,118	1,669,179	1,577,531	1,603,561
体育保健費	1,762,423	1,880,019	2,008,469	1,805,736	1,857,281
教育費合計	10,910,879	10,768,932	9,913,698	8,067,194	7,791,902
一般会計合計	95,837,755	120,128,929	95,215,640	83,909,025	82,610,386
教育費の割合	11.4%	9.0%	10.4%	9.6%	9.4%

#### 6 教育施設整備事業関係予算(教育委員会所管のもの)

項目	金額(千円)	内訳
小学校費	1,264,306	
小学校管理費	150,370	各小学校の緊急補修・バリアフリー改修、天間小学校受変電設備修繕、須津小学校飛散防止フィルム修繕、特別教室空調機設置 ほか
小学校建設費	1,113,936	鷹岡・丘・岩松北・富士中央小学校屋内運動場リニューアル、吉原・原田・富士第一・鷹岡・広見小学校校舎内部修繕、吉原・鷹岡・広見小学校トイレ改修、富士第一・広見小学校校舎外壁改修、神戸小学校校舎屋上防水・外壁改修、元吉原・吉永第一・原田・富士第一・鷹岡小学校給水管布設替え、原田小・富士第一小学校受水槽修繕 ほか
中学校費	786,113	
中学校管理費	104,130	各中学校の緊急補修・バリアフリー改修、吉原第三・富士川第一中学校受変電設備修繕、富士川第二中学校飛散防止フィルム修繕、特別教室空調機設置 ほか
中学校建設費	681,983	須津・鷹岡・富士南中学校校舎内部修繕、須津・鷹岡・富士南中学校トイレ改修、富士南・鷹岡中学校校舎外壁改修、吉原第一・吉原第二・岳陽中学校校舎屋上防水、大淵中学校給水管布設替え、元吉原中学校プール解体、吉原第三中学校教室・給食室改修 ほか
高等学校費	144,337	
高等学校総務費	144,337	ESCO事業(校舎1・2階空調機更新、照明LED化等)校舎便所修繕(1・2階 ほか)
社会教育費	46,000	
文化財保護費	17,000	千人塚古墳保存整備(実施設計)ディアナ号の錨等移設・塗装工事
図書館管理費	29,000	成人開架室A特定天井改修工事
合計	2,240,756	

## IV 主要事業

### 1 明日を拓く人材を育成する教育基盤の推進

#### (1) ふじの教育懇談会

子ども、家庭、教職員、地域住民が「学校」をきっかけとする「学校縁」を広げ、地域ぐるみで子どもを育てる「地域の絆」を深める環境づくりを推進するため、教育長及び教育委員会事務局が小中学校へ直接訪問し、保護者の意見を伺う「ふじの教育懇談会」を実施している。

この取組は、子どもの実態や学校教育、子育て等について、保護者からの率直な意見に耳を傾け、学校及び教育委員会が教育施策の充実と取組の推進に活かしていくことを目的としている。

令和4年度は、小学校1校・中学校1校で開催し、多くの意見に触れることができた。子どもたちの日頃の放課後の過ごし方を伺うことで、遊びや宿題・メディアとの付き合い方について考えたり、これからの時代にふさわしい部活動の在り方について保護者の思いや願い等に触れたりするなど、大変有意義な機会となった。



吉永第二小学校



吉原第二中学校

#### ふじの教育懇談会実績（令和4年度）

開催日時	会場	懇談内容
7月7日（木）	吉永第二小学校	「放課後（下校後）の過ごし方」
11月7日（月）	吉原第二中学校	「部活動の在り方」

#### (2) 施設設備事業

##### 令和4年度施設事業実績

事業名	学校名	構造等	施工面積	決算額(千円)	概要
校舎改築事業	富士川第二小学校	—	—	302,319	校舎解体、グラウンド整備、歩道橋設置工事(Ⅱ期)ほか
小中学校屋内運動場リニューアル事業	吉原小学校	鉄骨造 平屋建	1,045	101,877	屋根・外壁改修、多目的トイレ設置ほか
	吉永第一小学校	1階鉄骨造 2階鉄筋コンクリート造	2,084	94,471	屋根・外壁改修、多目的トイレ設置ほか
	岩松小学校	鉄骨造 平屋建	1,050	117,408	屋根・外壁・アリーナ床改修、多目的トイレ設置ほか
	吉原第一中学校	鉄骨造 平屋建	1,253	153,030	屋根・外壁・アリーナ床改修、多目的トイレ設置ほか
校舎改修事業	鷹岡小学校	鉄筋コンクリート造3階建	1,902	13,090	中校舎屋上改修
	神戸小学校	鉄筋コンクリート造3階建	1,547	8,690	北校舎屋上改修
	天間小学校	鉄筋コンクリート造3階建階建	3,240	56,913	北校舎屋上・外壁改修
	須津中学校	鉄筋コンクリート造4階建	4,133	19,855	南校舎屋上改修
	元吉原中学校	鉄筋コンクリート造3階建	1,302	10,562	東校舎屋上改修
	富士第一小学校	鉄筋コンクリート造3階建	3,792	65,737	北校舎外壁改修
	広見小学校	鉄筋コンクリート造4階建	4,807	59,858	北校舎外壁改修
	鷹岡中学校	鉄筋コンクリート造3階建	2,373	37,289	南校舎外壁改修
	田子浦中学校	鉄筋コンクリート造4階建	3,581	50,003	東校舎外壁改修
	プール改修	吉永第一小学校	昭和57年度築		9,999
岩松小学校		昭和44年度築		9,900	槽塗装、プールサイド塗装

##### 令和5年度施設事業計画

事業名	学校名	構造等	施工面積	概要
小中学校屋内運動場リニューアル事業	鷹岡小学校	鉄骨造 平屋建	916	屋根・外壁・アリーナ床改修、多目的トイレ設置ほか
	丘小学校	鉄骨造 平屋建	939	屋根・外壁・アリーナ床改修、多目的トイレ設置ほか
	岩松北小学校	鉄骨造 平屋建	1,062	屋根・外壁・アリーナ床改修、多目的トイレ設置ほか
	富士中央小学校	鉄骨造 平屋建	1,218	屋根・外壁・アリーナ床改修、多目的トイレ設置ほか
校舎改修事業	神戸小学校	鉄筋コンクリート造3階建	3,043	南校舎屋上・外壁改修
	富士第一小学校	鉄筋コンクリート造3階建	3,597	南校舎外壁改修
	広見小学校	鉄筋コンクリート造3階建	2,329	南校舎外壁改修
	吉原第一中学校	鉄筋コンクリート造4階建	3,848	北校舎屋上改修
	吉原第二中学校	鉄筋コンクリート造4階建	3,595	北校舎屋上改修
	岳陽中学校	鉄筋コンクリート造4階建	6,296	北校舎屋上改修
	富士南中学校	鉄筋コンクリート造4階建	4,515	北校舎外壁改修
	鷹岡中学校	鉄筋コンクリート造3階建	2,373	中校舎外壁改修
プール改修	元吉原中学校	昭和54年度築		プール解体

## 2 学びを楽しみ、輝く子どもの姿を実現する学校教育

### (1) 小・中学校

#### ① 学校一覧

##### ア 小学校

令和5年5月1日現在

	学校名	所在地	電話	開校年月日	児童数	学級数	職員数 (内県費)	
1	吉原小学校	高嶺町6番1号	52-4190	明治6年6月1日	499	20(4)	40	31
2	今泉小学校	今泉3丁目17番1号	52-2011	明治6年9月1日	546	20(2)	41	33
3	伝法小学校	伝法2743番地	52-0027	明治6年8月	637	25(4)	43	35
4	神戸小学校	神戸633番地	21-2192	明治8年	197	10(2)	20	15
5	元吉原小学校	今井3丁目4番2号	33-0004	明治7年10月	275	13(2)	27	20
6	東小学校	西船津220番地	34-0274	昭和31年4月2日	52	6	17	10
7	須津小学校	中里1019番地	34-0049	明治6年8月1日	542	21(3)	40	31
8	吉永第一小学校	比奈1431番地	34-0228	明治6年6月1日	341	16(3)	31	23
9	吉永第二小学校	鵜無ヶ淵149番地の1	21-2190	明治5年	90	6	17	11
10	原田小学校	原田480番地	52-0897	明治6年9月1日	344	14(2)	28	20
11	大淵第一小学校	大淵3012番地	35-0009	明治7年6月	584	25(7)	46	38
12	富士第一小学校	本市場280番地の2	61-0042	明治10年10月3日	689	25(3)	50	40
13	富士第二小学校	横割1丁目8番1号	61-0414	昭和20年3月1日	566	21(3)	39	30
14	田子浦小学校	中丸98番地	61-0327	明治6年10月	590	22(2)	42	33
15	岩松小学校	松岡850番地	61-0917	明治6年3月1日	475	19(1)	37	28
16	鷹岡小学校	久沢2丁目3番1号	71-3855	明治6年4月	559	19(1)	38	29
17	広見小学校	広見本町1番1号	21-2191	昭和46年4月1日	600	23(3)	43	33
18	丘小学校	厚原2075番地	71-6050	昭和48年4月1日	839	29(3)	50	39
19	富士見台小学校	富士見台1丁目12番地	21-4518	昭和52年4月1日	277	14(2)	30	22
20	富士南小学校	宮下551番地	63-7025	昭和53年4月1日	910	31(3)	55	44
21	天間小学校	天間50番地	71-0333	昭和54年4月1日	311	14(2)	28	20
22	岩松北小学校	岩本123番地の1	64-8890	平成元年4月1日	621	22(3)	42	32
23	富士中央小学校	米之宮町295番地	60-1211	平成5年4月1日	560	20(1)	38	28
24	青葉台小学校	一色295番地	21-6310	平成10年4月1日	498	19(1)	36	28
25	富士川第一小学校	岩淵107番地	81-0481	明治6年9月	345	14(2)	24	21
26	富士川第二小中一貫校 松野学園 (富士川第二小学校)	北松野1963番地の6	85-2005	明治7年12月8日	300	14(2)	22	20
計					12,247	482(61)	924	714

※学級数( )内は、特別支援学級数

※特別休暇及び育児休業、休職に係る代替講師は除く。

## イ 中学校

令和5年5月1日現在

	学校名	所在地	電話	開校年月日	生徒数	学級数	職員数(内県費)	
1	吉原第一中学校	永田北町7番1号	52-0160	昭和22年4月1日	587	22(4)	49	39
2	吉原第二中学校	今泉1955番地	51-1115	昭和25年1月15日	525	16(1)	39	30
3	吉原第三中学校	比奈2126番地	34-0868	昭和35年4月1日	237	11(3)	27	20
4	元吉原中学校	鈴川中町28番1号	33-0065	昭和22年4月1日	127	7(1)	21	15
5	吉原東中学校	比奈75番地	34-0283	昭和37年4月1日	99	4	19	12
6	須津中学校	中里1156番地	34-0144	昭和22年4月1日	354	14(2)	34	26
7	大淵中学校	大淵2920番地	35-0021	昭和22年4月1日	314	14(4)	35	27
8	富士中学校	中島320番地	61-1390	昭和22年4月1日	601	23(5)	50	40
9	田子浦中学校	中丸411番地	61-0534	昭和22年4月1日	365	15(3)	36	28
10	岩松中学校	松岡2353番地の1	61-0931	昭和22年4月1日	575	18(1)	43	34
11	富士南中学校	森島550番地	61-2084	昭和36年4月1日	772	28(4)	57	47
12	鷹岡中学校	久沢713番地	71-3354	昭和22年4月1日	407	14(2)	35	27
13	岳陽中学校	伝法630番地	71-7955	昭和49年4月1日	713	25(3)	55	45
14	吉原北中学校	原田2259番地	21-0280	昭和56年4月1日	358	12(1)	32	24
15	富士川第一中学校	岩淵855番地の3	81-0482	昭和22年5月2日	170	8(2)	19	16
16	富士川第二小中一貫校 松野学園 (富士川第二中学校)	北松野1963番地の6	85-2005	昭和22年4月1日	167	7(1)	19	16
17	(私立)富士見中学校	平垣町1番1号	61-0250	平成26年4月1日	39	3	11	
計					6,410	241(37)	581	446

※学級数( )内は、特別支援学級数 ※特別休暇及び育児休業、休職に係る代替講師は除く。

## ウ 施設等

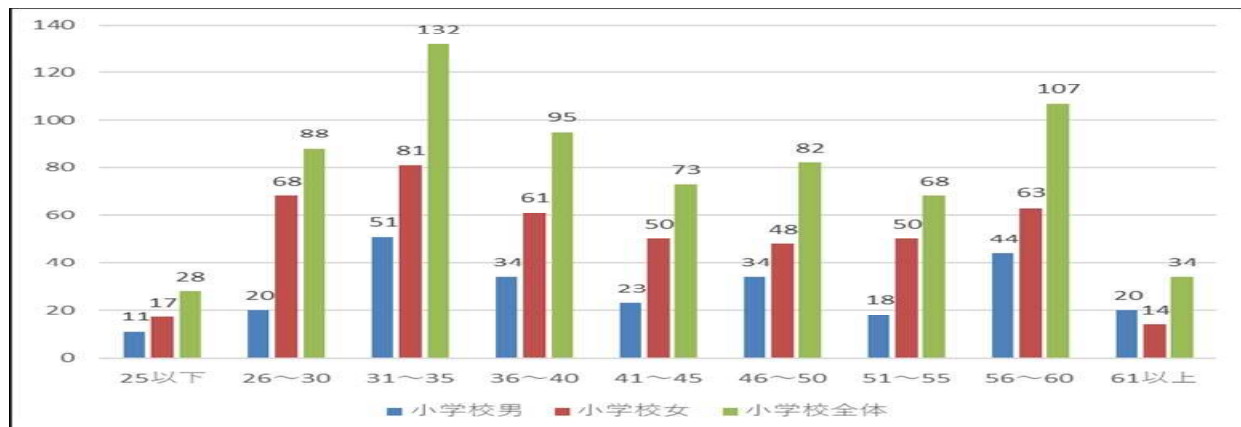
令和5年5月1日現在

学校名	校地面積 (㎡)	建物面積(㎡)		学校名	校地面積 (㎡)	建物面積(㎡)	
		校舎	屋体			校舎	屋体
吉原小学校	28,801	7,205	1,045	岩松北小学校	22,292	6,449	1,062
今泉小学校	36,316	8,897	1,027	富士中央小学校	25,210	5,803	1,218
伝法小学校	24,588	7,525	1,213	青葉台小学校	26,579	5,958	1,243
神戸小学校	19,147	4,596	1,012	富士川第一小学校	13,851	5,475	1,199
元吉原小学校	25,452	5,432	1,125	富士川第二小中一貫校 松野学園 (富士川第二小学校)	16,320	4,192	1,457
東小学校	14,426	2,535	532	吉原第一中学校	32,195	9,251	1,253
須津小学校	17,317	6,471	776	吉原第二中学校	33,108	6,911	2,326
吉永第一小学校	15,769	5,241	1,171	吉原第三中学校	25,233	5,034	2,596
吉永第二小学校	17,920	3,758	1,055	元吉原中学校	21,220	3,830	2,734
原田小学校	16,698	5,394	852	吉原東中学校	17,360	2,389	1,578
大淵第一小学校	18,041	6,686	956	須津中学校	25,268	5,571	2,813
富士第一小学校	20,806	7,161	1,192	大淵中学校	31,458	5,667	2,795
富士第二小学校	18,813	6,321	1,251	富士中学校	25,887	7,687	2,964
田子浦小学校	27,205	6,518	1,035	田子浦中学校	26,453	5,580	2,810
岩松小学校	16,046	6,208	1,050	岩松中学校	21,582	5,019	2,864
鷹岡小学校	21,000	6,246	916	富士南中学校	35,202	7,304	2,842
広見小学校	17,237	6,922	1,072	鷹岡中学校	33,699	6,883	2,754
丘小学校	24,575	7,156	939	岳陽中学校	33,149	7,996	1,185
富士見台小学校	31,667	5,966	976	吉原北中学校	28,885	6,751	1,147
富士南小学校	25,729	7,663	1,019	富士川第一中学校	19,660	4,418	2,047
天間小学校	23,270	5,067	1,006	富士川第二小中一貫校 松野学園 (富士川第二中学校)	11,698	3,004	1,804

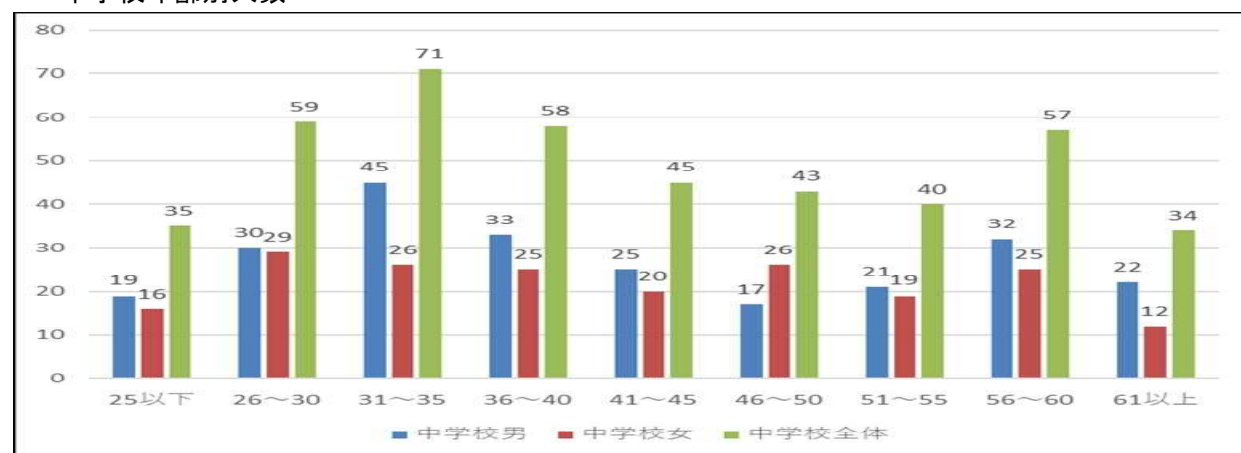
エ 職員の年齢別構成（県費負担正規教職員）

小学校年齢別人数

令和5年5月1日現在



中学校年齢別人数



オ 職員の構成

令和5年5月1日現在

区分	小学校	中学校	富士川給食センター	計
校長（所長）	26	16	1	43
教 頭	27	17	—	44
主幹教諭	12	5	—	17
教 諭	533	309	—	842
再 任 用	29	26	—	55
任期付任用職員	24	11	—	35
特例的任期付任用職員	23	9	—	32
常勤講師（欠員補充）	12	22	—	34
会計年度任用職員	81	46	2	129
養護教諭	28	16	—	44
事務職員	52	35	1	88
栄養教諭	10	4	—	14
栄養士	10	3	—	13
調理員	137	75	13	225
用務員	26	16	1	43
学校司書	26	16	—	42
サポート員等（市費）	67	38	—	105
計	1,123	664	17	1,804

※常勤講師については、特別休暇や育児休業、休職における代替講師は除く。

カ 令和5年度以降就学児童推定

令和5年5月1日現在

学 校 名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
吉原小学校	65	78	73	65	67	65	61
今泉小学校	83	85	80	74	75	73	66
伝法小学校	85	99	88	84	85	81	75
神戸小学校	35	30	26	26	25	25	24
元吉原小学校	39	43	40	38	37	38	33
東小学校	9	9	8	8	8	8	7
須津小学校	77	84	70	70	68	69	65
吉永第一小学校	47	45	39	40	37	38	35
吉永第二小学校	14	11	10	10	9	9	9
原田小学校	57	61	52	54	49	49	45
大淵第一小学校	90	91	82	79	74	75	66
富士第一小学校	112	108	99	98	92	89	82
富士第二小学校	81	87	79	77	77	74	70
田子浦小学校	115	98	91	87	83	84	78
岩松小学校	75	75	66	67	63	62	59
鷹岡小学校	81	88	80	77	77	77	70
広見小学校	86	87	80	75	78	73	69
丘小学校	160	137	126	126	120	119	110
富士見台小学校	43	40	38	37	34	33	31
富士南小学校	128	141	131	128	120	121	114
天間小学校	43	46	42	38	39	37	36
岩松北小学校	91	93	82	82	80	84	72
富士中央小学校	86	82	75	74	72	73	65
青葉台小学校	75	83	73	74	70	68	64
富士川第一小学校	57	58	51	50	47	49	43
富士川第二小中一貫校 松野学園 (富士川第二小学校)	40	45	42	38	41	39	36
計	1,874	1,904	1,723	1,676	1,627	1,612	1,486

(令和5年度公立義務教育諸学校の教職員定数等に関する資料より)

キ 中学生進路状況

区分 \ 年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高等学校等進学者	2,253	2,304	2,076	2,184	2164
専修・各種学校進学者	14	2	1	11	13
公立職業訓練施設入所者	6	3	2	2	4
就職者等	31	40	30	29	29
合計(卒業生数)	2,304	2,349	2,109	2,226	2210
高校進学率(%)	97.8	98.1	98.4	98.1	97.9

ク 富士市育英奨学生

将来、富士市の中堅となる有為の人材を育成することを目的として、学資を給付している。市内に居住する者で、高等学校又はこれと同等程度の学校に在学し、品行方正、成績優秀、身体強健で学資の支弁が困難と認められる者に対して給付される。

ケ 富士市育英奨学生の推移

令和5年5月1日現在

年度	奨学生 人数	1年生	2年生	3年生	定時制4年生 沼津高専4年生 沼津高専5年生	奨学生 累計	● 奨学金月額 ～昭和43年 1,500円 44年～47年 2,000円 48年～52年 3,000円 53年～57年 5,000円 58年～61年 8,000円 62年～ 10,000円  ● 給付期間 全日制高校 3年 定時制高校 4年 (三島長陵高定時制4年) 沼津高専 5年
昭27～ 平26						1,379	
27	88	23	35	30	0	1,402	
28	85	29	23	33	0	1,431	
29	74	23	28	23	0	1,454	
30	75	22	23	28	2	1,476	
令元	67	20	21	23	3	1,496	
2	62	20	20	21	1	1,516	
3	63	23	20	20	0	1,539	
4	67	24	23	20	0	1,563	
5	72	25	24	23	0	1,588	

コ 就学援助

(金額単位：千円)

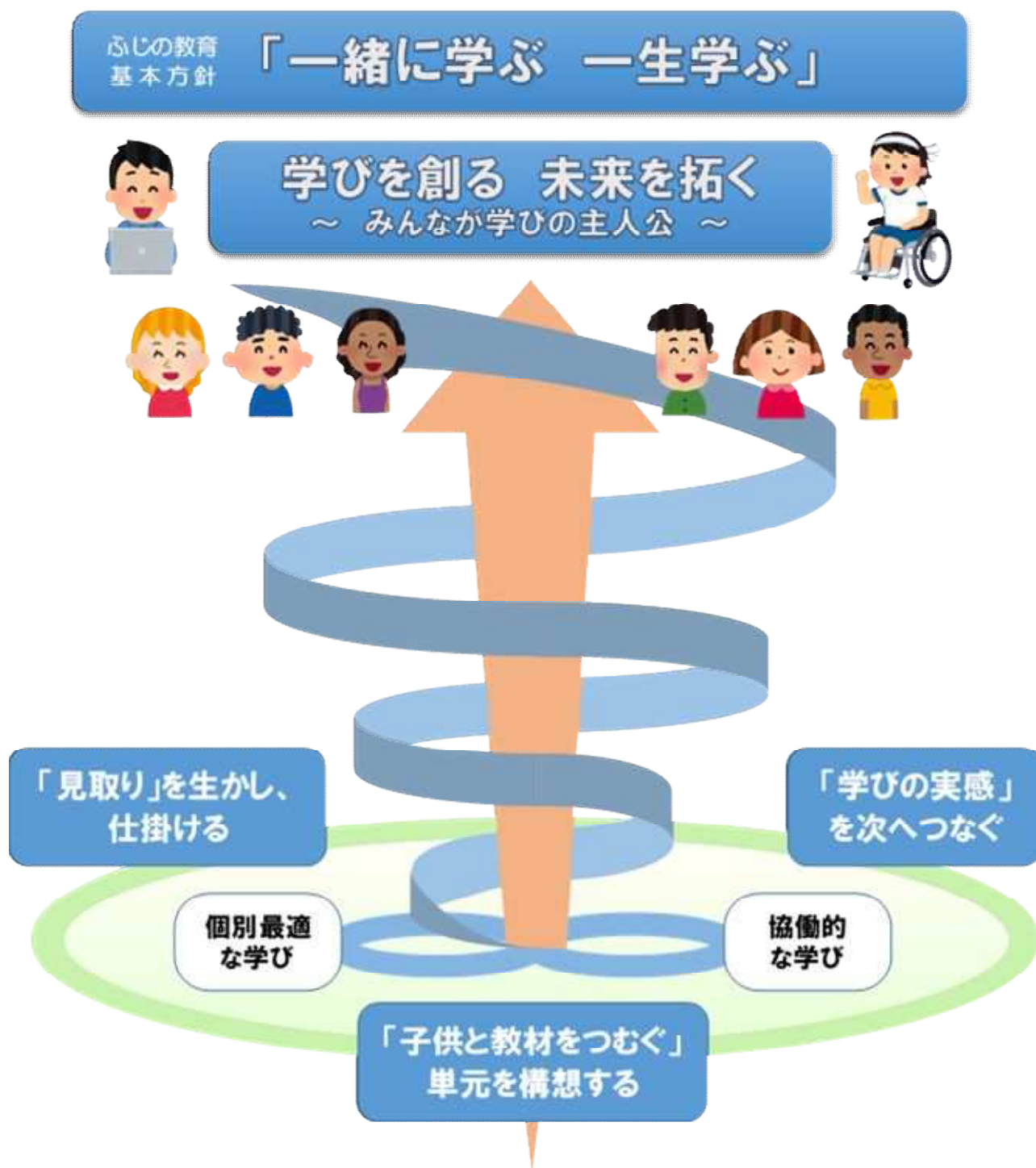
年度	学用品費等		給食費		新入学学用品費		修学旅行費等		医療費		通学費		合計
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	金額
平27	1,217	21,250	1,209	57,941	245	5,314	432	12,481	151	1,170	8	107	98,262
28	1,239	21,755	1,231	59,314	228	4,986	459	12,308	167	1,111	4	126	99,600
29	1,213	21,758	1,209	58,761	227	10,182	479	14,054	146	1,014	7	37	105,805
30	1,089	20,168	1,083	52,843	328	14,738	466	13,207	125	700	14	249	101,905
令元	1,054	18,557	1,050	51,755	226	11,903	403	13,088	87	579	4	238	96,120
2	1,121	19,745	1,110	50,994	229	12,769	247	2,569	97	586	6	160	86,823
3	1,142	21,287	1,132	58,984	227	12,824	395	8,243	79	465	12	93	101,896
4	1,147	21,498	1,136	51,146	205	11,762	409	11,479	66	413	5	49	96,347

サ 特別支援学級就学奨励

(金額単位：千円)

年度	学用品費等		給食費		新入学学用品費		修学旅行費等		通学費		合計
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	金額
平27	174	681	181	4,624	27	319	179	1,044	120	1,694	8,362
28	193	738	202	4,864	41	455	228	1,359	134	1,678	9,094
29	211	919	223	5,470	54	578	223	1,036	121	1,351	9,355
30	226	907	235	5,801	41	780	310	1,199	122	1,489	10,176
令元	225	900	235	5,793	45	1,057	290	1,408	144	1,431	10,589
2	258	1,000	254	5,863	52	1,254	157	235	141	1,363	9,715
3	281	1,114	274	7,075	50	1,138	250	881	154	1,243	11,451
4	318	1,172	311	7,044	71	1,773	282	1,158	182	1,305	12,452

- ② 教育研修  
ア 令和5年度 指導の重点



【学びの、その先へ】

令和2年度から小学校を皮切りに本格実施となった学習指導要領には、「子供たちが生きていくこれからの社会が、変化が激しく、予測困難であっても、自ら課題を見付け、学び、考え、判断し行動することで、自分自身が思い描く未来を自らの手で切り拓いてほしい。」という願いが込められています。

私たちは、授業や学校生活を通して、将来の日本を支え、明るい未来を拓く子供たちを育てることが求められています。そのためにすべきこと。それは、『子供たちの資質・能力を育むため、今まで以上に日々の授業を改善すること』に他なりません。目の前の子供たちが社会で活躍している10年後、20年後に思いを馳せ、授業づくりに邁進していきましょう。



# 学びが新しい自分を創る

## 「子供と教材をつむぐ」単元を構想する

単元を構想することは、子供の思いや願いと教材の価値を教師の関わりや支援でつむいでいく地道で繊細な営みです。そして、それは教師の醍醐味でもあります。

単元を構想する際には、学習指導要領に示された育成を目指す資質・能力を十分に理解し、これまで積み重ねてきた学びの足跡や子供の実態を踏まえ、教材を様々な角度から分析していきます。その教材に出会った子供たちがどんな願いや課題を持つか、どこにつまづき、どのような困り感を持つか等、子供の思考過程を学び手の視点に立って豊かに想像することで、教師の関わりが見えてきます。教科の「見方・考え方」を意識した仕掛けや場の設定、ICT活用、資料提示などの具体的な支援がイメージできます。

子供たちが、思いや願いを実現しようとする過程で、学びを楽しみながら、資質・能力を育めるような単元を構想しましょう。

## 「見取り」を生かし、仕掛ける

授業者は“見取る、判断する、仕掛ける”を繰り返しながら、目標に向かって授業を展開していきます。深い見取りが、適切な判断に繋がり、深い教材研究が、仕掛けの豊かさに繋がります。

「深い見取り」とは、目の前にいる子供たちのつぶやき、記述、表情、仕草等の表れを拾い、共感的、多面的に、子供一人一人の思いや考え、学習集団全体の傾向、そこに至った背景を受け止めることです。

この見取る力が高まれば、目標に対する今の子供の姿を的確に見定め、問い返す、引き出す、繋げる、待つ、委ねる、広げる、焦点化する、整理する等、ねらいに迫る効果的な「仕掛け」をすることができます。

教師が、目の前の子供の思いをしなやかに生かしていくことで、子供たちの生き生きと学びを深めていく姿を引き出しましょう。

## 「学びの実感」を次へつなぐ

子供は、授業の中で様々なことを思い、考え、そして表現します。教師は、意図的に立ち止まり、見取った姿から「なるほど!」「〇〇さんの考え、いいね。」「その見方、気付かなかったよ。」など、価値付ける言葉を掛けるようにします。こうした授業における小さな関わりを意識したり、まとめ・振り返りの場を適切に設けたりすることで、子供たちは学びの手応えを掴んでいきます。手応えを掴んだ子供たちは、次の学びに向かって自ら走り出そうとします。真の学びはここから始まるのです。

知識・技能を生かし、試行錯誤しながら、課題を解決していく積み重ねによって、学びを調整する力が少しずつ身に付きます。

そして、こうした経験の蓄積が、自らの学びを肯定的に捉え、粘り強く取り組む意義や自身の伸長を感じ、新たな学びへの意欲を高めていきます。

## 【より質の高い研修の推進も】

授業力向上のためには、授業者一人一人が指導の重点や各校の研修課題を意識するとともに、校内研修の質をより高めていく必要があります。「子供の姿がどのように変容したか」だけで終わらず、「その変容を生み出したものは何か」等、子供の姿を基に、その思考過程を深く読み解くことを通して、教師の支援の在り方や子供を見取る技術等について、研鑽を積んでいきましょう。

イ 指定校研究（令和5年度）

(7) 教育研究指定校

	学 校 名	領 域	備 考
1	広見小学校 岩松中学校	学習指導（ICT）	継続（令和4～令和5年）
2	吉原北中学校	学習指導（特別支援）	新規（令和5～令和6年）
3	富士川第一小学校	園小連携	新規（令和5～令和6年）

(イ) 自然保護環境美化活動指定校

	学 校 名	領 域	期 間
1	東小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成18年～）
2	原田小学校	自然保護環境美化活動（ビオトープ活用）	継続（平成19年～）
3	大淵第二小学校	自然保護環境美化活動	平成20年～令和4年
4	田子浦小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成23年～）
5	大淵第一小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成24年～）
6	吉永第一小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成24年～）
7	富士南小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成26年～）
8	神戸小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成26年～）
9	吉原小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成27年～）
10	富士第一小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成27年～）
11	今泉小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成28年～）
12	元吉原小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成28年～）
13	富士第二小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成28年～）
14	岩松小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成28年～）
15	鷹岡小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成28年～）
16	丘小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成28年～）
17	岩松北小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成28年～）
18	富士中央小学校	自然保護環境美化活動（ビオトープ活用）	継続（平成28年～）
19	青葉台小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成28年～）
20	須津小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成29年～）
21	広見小学校	自然保護環境美化活動	継続（平成29年～）
22	富士見台小学校	自然保護環境美化活動	継続（令和元年～）
23	富士川第一小学校	自然保護環境美化活動	継続（令和元年～）
24	須津中学校	自然保護環境美化活動	継続（平成28年～）
25	吉原北中学校	自然保護環境美化活動	継続（平成28年～）
26	岳陽中学校	自然保護環境美化活動	継続（平成29年～）
27	岩松中学校	自然保護環境美化活動	継続（平成30年～）
28	富士川第二小中一貫校 松野学園 （富士川第二中学校）	自然保護環境美化活動	継続（令和元年～）
29	吉原東中学校	自然保護環境美化活動	継続（令和2年～）
30	富士南中学校	自然保護環境美化活動	継続（令和2年～）
31	天間小学校	自然保護環境美化活動	継続（令和3年～）
32	伝法小学校	自然保護環境美化活動	継続（令和4年～）

33	吉永第二小学校	自然保護環境美化活動	継続（令和4年～）
34	吉原第三中学校	自然保護環境美化活動	継続（令和4年～）
35	富士中学校	自然保護環境美化活動	継続（令和4年～）
36	富士川第一中学校	自然保護環境美化活動	継続（令和4年～）
37	鷹岡中学校	自然保護環境美化活動	新規（令和5年）

## ウ 各層別研修

	名 称	主 題	研 修 月
1	新規採用教職員研修	教職員としての基本的な資質の向上（児童生徒理解、教材作り、授業研究等）	4月～3月
2	3年目教員研修	授業改善や学級づくり、子どもや保護者への対応等について、実践研修や講話、情報交換等を行い、授業力と生徒指導力を高める。個別訪問研修を実施する。	5月～1月
3	ミドルリーダー研修会	自己目標シートをもとに各校で実践を積み上げ、学校運営に参画する意識を持ち、業務遂行力と組織運営力を高める。	5月～1月
4	マイスター研修会	技や観の伝授など、経験を生かした自己研修課題を持ち、各校での実践を通して学校経営に参画する。	5月～1月
5	推進員研修会	教科・領域等による教育研究の推進	4月～2月
6	教育研修会	当面の課題と対応（主幹・教務・研修・生徒指導・新任特別支援教育コーディネーター、小中連携・一貫教育等）	5月～1月
7	教頭研修会	学校経営上の識見・能力、教職員指導のあり方	4月～2月
8	校長研修会	学校経営上の諸問題検討、学校経営の質的向上	4月～3月

## エ 県外教育視察研修

小・中教員2人	7月～1月
---------	-------

## オ 教育研修推進活動

教育講演会	教育講演会 ロゼシアター 8月1日（火）	
教職員表彰	教職員表彰式 ロゼシアター 8月1日（火）	
一 斉 授 業 研 究 会	小学校 各教科等、中学校 教科外 中学校 各教科	11月8日（水） 11月15日（水）
一 般 研 究 （各教科等）	主任による研修 各教科等の担当教員による研修 教員全体の研修	事例研修・授業法研究・評価研修 実践発表 フィールドワーク 教具の作成・資料作成と収集
自 主 的 研 修	教育研究実践会・・・健康教育・特別支援等、活動団体への助成	
教員海外派遣研修	小学校教員1人、中学校英語科教員1人をオーシャンサイド市に派遣	
アフター5講座 （勤務時間外の 希望研修）	授業づくり、情報教育、特別支援教育、生徒指導、英語教育、英会話園小接続、トピック	

## カ 研修・発表・指導事業への参加・奨励

講 習 会	実技講習会 吹奏楽指導者講習会	調査・検査	知能検査（小3・中1） Q-U検査（小5・中1） 新体力テスト
		発表会	英語弁論大会 特別支援学級なかよし運動会
作 品 展	科学作品展	児童生徒の活動	中学生リーダー研修会

## キ 教育実践研究へ応募

富士市教育実践研究論文、自主的研究活動の推進

## ク 研究記録等の発刊

教 師 対 象	・富士市教育実践研究論文集録
児 童 生 徒 対 象	・社会科副読本

## ケ 小・中学校教育目標と校内研修テーマ

### (7) 小学校

	学校名	学校教育目標	校内研修テーマ
1	吉原小	あこがれ チャレンジ 笑顔 夢をもつ子 たくましくがんばる子 仲間とともに喜ぶ子	学びに夢中になる子
2	今泉小	やさしく たくましく	対話を通して 考えを深める授業
3	伝法小	あこがれ チャレンジ 笑顔 夢をもつ子 たくましくがんばる子 仲間とともに喜ぶ子	自ら考え、仲間とともに学び合う授業
4	神戸小	つながろう つなげよう	やりとりが生まれる授業の工夫
5	元吉原小	自分で みんなで さいごまで	自分らしさを発揮し、聴き合いを通して、学びを実感できる授業づくり
6	東小	たくましく 挑戦する子	伝え合い 聴き合う子 ～夢中になって学ぶ 生き生きと表現する～
7	須津小	やさしく たくましい子	自ら学び 深め合う子
8	吉永第一小	あかるく やさしく たくましく	「対話できる子」に迫る授業を構想し、授業改善に取り組む教職員
9	吉永第二小	自分らしく とともに かがやく	「～たい」が育つ授業
10	原田小	かしこく 正しく たくましく	考えを深めていく子 ～個に応じた手立ての工夫～
11	大淵第一小	学び合い 自らを高める 大淵の子	児童生徒が対話を通して学びを深める「授業づくり」 ～子どもが主体的に取り組むための支援の工夫～
12	富士第一小	しなやかに 挑み続ける ～支え合い 一歩ふみ出す子～	対話を通して深い学びを実感できる授業
13	富士第二小	夢中になって 磨き合う	聴いて考えてつなげる授業づくり ～子どもが知りたい！考えたい！学習課題の成立を目指して～
14	田子浦小	じぶんから	子供の「やってみよう」を支える授業づくり
15	岩松小	い…いつでも 自分から動く子 わ…わたしも あなたも 大事にする子 ま…学びを楽しみ、表現する子 つ…つながりながら 成長する子	自分で考え みんなと学ぶ
16	鷹岡小	よく学び よく遊ぶ ～自ら考え 挑戦する子～	学びを深め合う子
17	広見小	やってみよう やりぬこう	情報活用能力を発揮し、学びを深める子の育成 ～「集めて つなげて 考える」ICTの効果的な活用を通して～
18	丘小	いま、がんばっていることがある	聴いて考えて 深める授業
19	富士見台小	自分のコトバをとどけよう	考える力を育てる授業 ～聴いて つなげて 深める～
20	富士南小	やさしく たくましく	学び合い 考え 表現する子 ～「やったらできた」が実感できる授業～
21	天間小	自ら学ぶ	聴いて 考えて つながる授業 「思考がつながる授業・単元構想の工夫」「学びを実感する振り返り・評価の設定」
22	岩松北小	あたらしい自分をつくっていく ぼく・わたし	探求する子 ～学び手の視点で授業をつくる～
23	富士中央小	しなやかに 挑み続ける ～かしこく やさしく たくましく～	友達とかかわりながら学びを深めていく子の育成 ～ <b>①②③④⑤</b> が生まれる授業～
24	青葉台小	夢に向かって とともに伸びる 青葉の子	子供が主体的で協働的に学ぶ授業づくり

25	富士川第一小	つなぐ	自分の考えを進んで表現する子
26	富士川第二小一貫校 松野学園 (富士川第二小学校)	自ら学び ともにみがき合う	9年間を通して「学びを楽しむ」子供を支える

### (イ) 中学校

	学校名	学校教育目標	校内研修テーマ
1	吉原第一中	あこがれ チャレンジ 笑顔 ～夢をもつ子 たくましくがんばる子 仲間とともに喜ぶ子～	かかわり～「伝えて」「きいて」考えを深め合う授業づくり
2	吉原第二中	幸せに気付く生徒	子どもが主体的で協働的に学ぶ授業づくり ～きき合う、学び合う～
3	吉原第三中	高め合うー目標をもつ・学び合う・思いやるー	つなぐ ～ひと もの こと～
4	元吉原中	人として 「熱く 優しく たくましく」	よくきこう もっと考えを伝えよう
5	吉原東中	自ら考え、動く。人のために、自分のために	つなぐ～自ら考え「聴く」「読む」「話す」「書く」～
6	須津中	たくましい生徒 やさしい生徒	夢中になって学び合う生徒
7	大淵中	学び合い 自らを高める 大淵の子	児童生徒が対話を通して学びを深める授業づくり
8	富士中	しなやかに 挑み続ける ～自ら学び、仲間とともに高め合う生徒～	「考えたい」「対話しよう」「やってみよう」が生まれる授業
9	田子浦中	自分から	「他と関わり、自ら学ぶ生徒の育成」 ～「やってみよう」を引き出す指導～
10	岩松中	『い・わ・ま・つ』 い…いつでも自分から動く子 わ…わたしもあなたも大事にする子 ま…学びを楽しみ、表現する子 つ…つながりながら成長する子	学ぶ楽しさを実感できる生徒の育成 ～主体的・対話的で深い学びを目指して～
11	富士南中	やさしく 生きる	対話を通じて仲間と共に考えを深める生徒の育成
12	鷹岡中	自ら学び 高め合う	聴き合い伝え合う中で、全員が参加できる授業 ～自ら学ぶ生徒の育成～
13	岳陽中	一生懸命 がんばる	「自分の思いや考え」を根拠を基に伝えられるようになる
14	吉原北中	自分らしく ともに 輝く	共にチャレンジ ～TEAM よしきた～
15	富士川第一中	つなぐ	学習者が主体となって、学びを楽しむ
16	富士川第二小一貫校 松野学園 (富士川第二中学校)	自ら学び ともにみがき合う	9年間を通して「学びを楽しむ」子供を支える

### ③ 学区

#### ア 小学校 (富士川第一小学校及び富士川第二小中一貫校 松野学園(富士川第二小学校)の通学区域は大字名)

学校名	通学区域
吉原小	東本通1.2.3、宮町、吉原本町1.2.3.4、西本通り、伝馬町、西仲町、新追町、青島、津田、荒田島1.2、八代町、新通り、緑町、南町、依田原1.2.3.4、大和町、幸町、昭和通り、住吉町、日吉町1.2.3、東国久保、西国久保、錦町1、永田町、弥生町、新青島、高島、エンゼル町、中央町老番館、吉原緑ヶ丘(芙蓉会)
今泉小	田宿、御殿、吹上、寺市場、市場、一の宮町1.2.3、立小路、栄町、富士見町、水の上、仲町、泉町、鍛冶町1.2.3、上和田町、吉原緑ヶ丘(芙蓉会を除く)、和田町1.2、新橋、依田橋、駿河台1.2.3.4、南仲町、北仲町、新富士見町、春日町
伝法小	宮川町、宮の上、三日市、長者町、伝法町1.2(4-1組を除く)、3、中桁、上田端、田端町、吉原上中町、中村町、千代田町、瓜島、日乃出町、永田町老番館、サーパス永田町、旧伝法永田町地区、富士日乃出町
神戸小	神戸1.2、今宮
元吉原小	鈴川本町、鈴川町3.4.5、鈴川浜町東通り、鈴川浜町中通り、鈴川浜町西通り、今井本町、今井東町、今井毘沙門町、大野町、檜町、田中町、西田中町、柏原町1.2.3
東小	浮島町1.2.3

須津小	中里町1.2.3.4、中里新富町、中里八幡町、川尻町1.2、神谷町1.2.3、増川町1.2.3、江尾町1.2、中里寿町、中里曙町、神谷緑町
吉永第一小	富士岡入町、富士岡町1.2.3、富士岡本花守町、富士岡渋脇町、富士岡花守町、東比奈町1.2.3、中比奈町1.2.3、西比奈町1.2.3
吉永第二小	間門町、鶴無ヶ淵町1.2、桑崎町、石井町、勢子辻、陽光台東、陽光台西、陽光台南
原田小	宇東川町1.2.3、宇東川本町、西滝川町、南滝川町、東滝川町、北滝川町、原田町1.2.3.4、原田本町、吉原中島町1.2、三ッ沢町1.2.3(3組を除く)
大淵第一小	大久保町、大淵町1.2.3、八王子町1.2、八王子本町、穴原町1.2、中野町1.2、落合町、片倉町、三ッ倉町、大富町、次郎長町、境町、城山町、希望ヶ丘、大峯町、富士本中町、富士本西町
富士第一小	本市場1.2.3.4、国久、塔の木、塔の木2、川原宿、藤間、蓼原1.2.3.4.5、十兵衛北、千寿町、柚木、平垣町2.3、銀座町、平垣八幡町、富士本町、富士町、平垣町、平垣北町、水戸島上、浅間町(青葉通り南側)、橋下(3-1~3-10、4-1~4-9、5-1~5-8、6-1~6-5、7-1~7-9班)、松岡東
富士第二小	上横割、十兵衛南町、下横割南、下横割北、水戸島中、水戸島下、水戸島南町、四丁河原南、水戸島上南、橋下(8-1~8-6班)
田子浦小	柳島、柳島日東、川成島、東宮島、新浜、中丸浜、小須、田子、鮫島、江川、前田新田、前田、宮島新田、助六、下川成、中丸丘
岩松小	浦町(身延線西側)、林町、新町、橋下(1-1~1-9、4-10、2-1~2-11班)、四丁河原上、四丁河原下、水神
鷹岡小	厚原西、久沢東、久沢西、久沢南、久沢北、鷹岡本町1.2.3、入山瀬東、入山瀬西、入山瀬天王町、入山瀬久保
広見小	広見町1.2.3.4(県営住宅).5.6.7.8.9、百合ヶ丘、桜ヶ丘町、美原町、若松町2、久保町、三ッ倉南町、石坂町1.2.3.4、源太坂、伝法町2(4-1組)
丘小	傘木、片宿、末広町、厚原中、厚原南、厚原北1.2、厚原東1.2.3、傘木北
富士見台小	富士見台1.2北.2南.3.4東.4西.5.6.7.8、三ッ沢町3(3組)
富士南小	森島、宮下、西宮島、千鳥町、富士見ヶ丘、自由ヶ丘、上五貫島、下五貫島、三四軒屋、靖国町、浜添
天間小	天間南、天間川坂、天間田代、天間北1.2 天間東
岩松北小	四ッ家、上町、富士上中、富士下中、瀬戸河原、富士緑ヶ丘、東田、旭町、滝戸、湯沢平1.2
富士中央小	青葉町、浅間町(青葉通り北側)、本市場新田、松本、富士中島上、富士中島下、中島新道町、浦町(身延線東側)、くすの木町
青葉台小	木の宮町、西木の宮町、東木の宮、一色、荻の原、茶の木平、青葉台南、高山、若松町1.3
富士川第一小	木島、岩淵、中之郷
<small>富士川第二小中一貫校 松野学園 (富士川第二小学校)</small>	南松野、北松野、中野台一丁目、中野台二丁目

## イ 中学校

学校名	通学区域
吉原第一中	吉原小学校区及び伝法小学校区
吉原第二中	今泉小学校区及び青葉台小学校区
吉原第三中	吉永第一小学校区のうち中比奈町1.2.3、西比奈町1.2.3及び原田小学校区
元吉原中	元吉原小学校区
吉原東中	吉永第一小学校区(ただし中比奈町1.2.3、西比奈町1.2.3を除く)
須津中	東小学校区及び須津小学校区
大淵中	大淵第一小学校区
富士中	富士第一小学校区及び富士中央小学校区

学校名	通学区域
田子浦中	田子浦小学校区
岩松中	岩松小学校区及び岩松北小学校区
富士南中	富士第二小学校区及び富士南小学校区
鷹岡中	鷹岡小学校区及び天間小学校区
岳陽中	広見小学校区及び丘小学校区
吉原北中	神戸小学校区、吉永第二小学校区、富士見台小学校区
富士川第一中	富士川第一小学校区
<small>富士川第二中一貫校 松野学園 (富士川第二中学校)</small>	富士川第二小中一貫校 松野学園(富士川第二小学校)校区

ウ 特別支援学級

(7) 知的障害

学校名	通 学 区 域
吉原小	吉原小学校区
今泉小	今泉小学校区
伝法小	伝法小学校区
神戸小	神戸小学校区
元吉原小	元吉原小学校区
須津小	東小、須津小学校区
吉永第一小	吉永第一小学校区
原田小	原田小学校区
大淵第一小	大淵第一小学校区
富士第一小	富士第一小学校区
富士第二小	富士第二小学校区
田子浦小	田子浦小学校区

学校名	通 学 区 域
岩松小	岩松小学校区
鷹岡小	鷹岡小学校区
広見小	広見小学校区
丘小	丘小学校区
富士見台小	吉永第二小、富士見台小学校区
富士南小	富士南小学校区
天間小	天間小学校区
岩松北小	岩松北小学校区
富士中央小	富士中央小学校区
青葉台小	青葉台小学校区
富士川第一小	富士川第一小学校区
富士川第二小 <small>富士川第二小中一貫校 松野学園 (富士川第二小)</small>	富士川第二小中一貫校 松野学園 (富士川第二小学校) 校区

学校名	通 学 区 域
吉原第一中	吉原小、伝法小学校区
吉原第二中	今泉小、青葉台小学校区
吉原第三中	吉永第一小、原田小学校区
元吉原中	元吉原小学校区
須津中	東小、須津小学校区
大淵中	大淵第一小学校区
富士中	富士第一小、富士中央小学校区
田子浦中	田子浦小学校区

学校名	通 学 区 域
岩松中	岩松小、岩松北小学校区
富士南中	富士第二小、富士南小学校区
鷹岡中	鷹岡小、天間小学校区
岳陽中	広見小、丘小学校区
吉原北中	神戸小、吉永第二小、富士見台小学校区
富士川第一中	富士川第一小学校区
富士川第二中 <small>富士川第二小中一貫校 松野学園 (富士川第二中)</small>	富士川第二小中一貫校 松野学園 (富士川第二小学校) 校区

(イ) 自閉症・情緒障害

学校名	通 学 区 域
吉原小	吉原小、今泉小学校区
伝法小	伝法小学校区
神戸小	神戸小、吉永第二小、富士見台小学校区
須津小	東小、須津小学校区
元吉原小	元吉原小学校区
吉永第一小	吉永第一小学校区
原田小	原田小学校区
大淵第一小	大淵第一小学校区
富士第一小	富士第一小、富士中央小学校区
富士第二小	富士第二小学校区
田子浦小	田子浦小学校区
広見小	広見小、青葉台小学校区
丘小	丘小学校区
富士南小	富士南小学校区
天間小	鷹岡小、天間小学校区
岩松北小	岩松小、岩松北小学校区
富士川第一小	富士川第一小、富士川第二小中一貫校 松野学園 (富士川第二小学校) 校区
吉原第一中	吉原小、今泉小、伝法小学校区
吉原第三中	神戸小、吉永第一小、吉永第二小、原田小、富士見台小学校区
須津中	元吉原小、東小、須津小学校区
大淵中	大淵第一小学校区
富士中	富士第一小、富士中央小学校区
富士南中	富士第二小、富士南小学校区

田子浦中	田子浦小学校区
鷹岡中	岩松小、鷹岡小、天間小、岩松北小学校区
岳陽中	広見小、丘小、青葉台小学校区
富士川第一中	富士川第一小、富士川第二小中一貫校 松野学園（富士川第二小学校）校区

（肢体不自由特別支援学級は市内全域を伝法小学校、富士中学校の学区とする。）

#### ④ 特別支援学級

##### ア 小学校特別支援学級一覧

令和5年5月1日現在

学校名	児童数			学級		設置年度
	男	女	計	数	障害区分	
吉原小学校	8	6	14	2	知的学級	昭和45年
	8	1	9	2	自・情緒学級	平成4年
今泉小学校	8	2	10	2	知的学級	昭和46年
伝法小学校	9	2	11	2	知的学級	昭和27年
	2	2	4	1	肢体学級	平成23年
	4	1	5	1	自・情緒学級	令和4年
神戸小学校	1	0	1	1	知的学級	平成29年
	1	0	1	1	自・情緒学級	令和3年
元吉原小学校	3	3	6	1	知的学級	昭和46年
	1	0	1	1	自・情緒学級	令和5年
須津小学校	9	5	14	2	知的学級	平成4年
	5	2	7	1	自・情緒学級	平成27年
吉永第一小学校	5	4	9	2	知的学級	平成27年
	2	1	3	1	自・情緒学級	平成27年
原田小学校	5	1	6	1	知的学級	昭和36年
	3	2	5	1	自・情緒学級	令和2年
大淵第一小学校	10	5	15	2	知的学級	昭和50年
	5	0	5	1	自・情緒学級	平成23年
県立吉原林間学園	14	9	23	4	自・情緒学級	昭和37年
富士第一小学校	8	6	14	2	知的学級	昭和44年
	6	0	6	1	自・情緒学級	平成30年
富士第二小学校	3	6	9	2	知的学級	昭和34年
	3	0	3	1	自・情緒学級	平成21年
田子浦小学校	4	2	6	1	知的学級	昭和39年
	4	0	4	1	自・情緒学級	令和4年
岩松小学校	4	2	6	1	知的学級	昭和39年
鷹岡小学校	3	3	6	1	知的学級	昭和36年
広見小学校	7	5	12	2	知的学級	昭和60年
	5	2	7	1	自・情緒学級	平成5年
丘小学校	9	3	12	2	知的学級	平成29年
	4	0	4	1	自・情緒学級	令和2年
富士見台小学校	6	4	10	2	知的学級	平成24年
富士南小学校	12	2	14	2	知的学級	平成18年
	7	1	8	1	自・情緒学級	令和3年
天間小学校	2	0	2	1	知的学級	平成26年
	3	2	5	1	自・情緒学級	平成28年
岩松北小学校	6	7	13	2	知的学級	平成21年
	6	1	7	1	自・情緒学級	令和2年
富士中央小学校	6	2	8	1	知的学級	令和2年
青葉台小学校	4	4	8	1	知的学級	令和元年
富士川第一小学校	3	1	4	1	知的学級	昭和39年
	3	2	5	1	自・情緒学級	平成14年
富士川第二小中一貫校 松野学園 （富士川第二小学校）	7	3	10	2	知的学級	平成29年
計	228	104	332	61		



イ 中学校特別支援学級一覧

令和5年5月1日現在

学 校 名	生 徒 数			学 級		設 置 年 度
	男	女	計	数	障 害 区 分	
吉原第一中学校	8	4	12	2	知的学級	昭和29年
	6	3	9	2	自・情緒学級	平成14年
吉原第二中学校	5	2	7	1	知的学級	昭和49年
吉原第三中学校	6	3	9	2	知的学級	平成28年
	4	0	4	1	自・情緒学級	令和5年
元吉原中学校	1	0	1	1	知的学級	令和元年
須津中学校	3	3	6	1	知的学級	平成7年
	0	1	1	1	自・情緒学級	平成28年
大淵中学校	8	5	13	2	知的学級	平成17年
	0	0	0	0	自・情緒学級	平成26年
県立吉原林間学園	5	4	9	2	自・情緒学級	昭和58年
富士中学校	7	2	9	2	知的学級	昭和41年
	8	2	10	2	自・情緒学級	令和2年
	2	0	2	1	肢体学級	平成28年
田子浦中学校	5	4	9	2	知的学級	昭和48年
	0	2	2	1	自・情緒学級	令和5年
岩松中学校	3	2	5	1	知的学級	昭和42年
富士南中学校	12	6	18	3	知的学級	昭和37年
	3	2	5	1	自・情緒学級	令和4年
鷹岡中学校	3	2	5	1	知的学級	昭和38年
	1	1	2	1	自・情緒学級	平成29年
岳陽中学校	5	5	10	2	知的学級	平成5年
	2	1	3	1	自・情緒学級	平成19年
吉原北中学校	5	2	7	1	知的学級	平成25年
富士川第一中学校	1	0	1	1	知的学級	昭和42年
	2	0	2	1	自・情緒学級	平成16年
富士川第二小中一貫校 松野学園 (富士川第二中学校)	2	2	4	1	知的学級	令和4年
計	107	58	165	37		

※令和5年度は、元吉原小学校、吉原第三中学校、田子浦中学校に特別支援学級（自閉・情緒）を新設した。また、富士川第一中学校に特別支援学級（自閉・情緒）を再設した。

⑤ 学校体育

ア 小学校（令和5年度）

事業名	期間	参加校	会場	内容
体力アップコンテスト	令和5年5月 ～令和6年1月	26校	各小学校	みんなで8の字とび・ドッジボールラリー・ジャンプ・リレー・ダンス等

イ 中学校（令和5年度）

事業名	期間	参加人員	会場	内容
大会 中学校総合 体育大会	6/24～ 9/16 ※5/1現在	約5,000人	富士総合 運動公園 他	野球・ソフトボール・ソフトテニス・バレーボール・卓球・バスケットボール・サッカー・剣道・水泳・陸上競技・駅伝

## ウ 富士市小中学校 新体カテストの結果

### 小学校（令和4年度）

	5年生		6年生	
	男子	女子	男子	女子
握力(kg)	○17.04	○16.99	○19.82	19.11
上体起こし(cm)	△18.41	△17.19	△19.88	△17.73
長座体前屈(cm)	△32.81	△36.73	△33.85	△38.17
反復横とび(回)	△40.60	△38.09	△42.75	△39.54
20mシャトルラン(回)	△45.63	△35.82	△50.22	△39.17
50m走(秒)	△9.51	△9.80	△9.05	△9.37
立ち幅とび(cm)	△151.82	△143.75	△162.99	△151.31
ソフトボール投げ(m)	△19.50	△12.86	△22.21	△14.52

○県と全国の平均を上回っている。 △県と全国の平均を下回っている。

### 中学校（令和4年度）

	1年生		2年生		3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
握力(kg)	○26.61	○23.69	○32.95	○25.43	○36.88	○26.60
上体起こし(cm)	△23.63	△19.00	○27.53	△22.45	△29.27	△23.12
長座体前屈(cm)	○43.85	○46.57	○51.20	○52.89	○53.76	○53.51
反復横とび(回)	△49.41	△44.73	△52.91	△46.43	△55.33	△47.37
持久走(秒)	△433.37	△308.07	△404.67	△295.22	△388.28	△296.47
50m走(秒)	○8.30	△9.02	○7.66	○8.64	○7.32	8.60
立ち幅とび(cm)	○191.48	○169.24	○210.59	○176.55	○220.40	△177.82
ハンドボール投げ(m)	○19.25	○12.19	○23.12	○14.26	○25.06	○14.87

○県と全国の平均を上回っている。 △県と全国の平均を下回っている。

## ⑥ 学校保健

### ア 重点目標

教育活動全体の中で進める健康・安全教育の推進

#### (7) 体力の向上

子ども自らが挑む身体活動（一人一人にめあてを持たせる）

体力作りの中核となる体育学習（活発な身体活動の実践）

#### (4) 保健指導

生活に生かされる指導（実践の具体的な方法を見つけさせる）

習慣化を図る指導（継続的に繰り返し、保護者との連携を取る）

#### (7) 安全指導

実践に結びつく指導（訓練や練習の場を作る）

避難訓練の充実（多様な場面を計画的に設定）

### イ 健康・安全の指導に関すること

(7) 学校保健：学校感染症等の事後処理、保健主事・養護教諭研修会、医薬品等の購入・配布

(4) 学校環境衛生：学校環境衛生の諸検査・水質検査（上水道の日常検査、プール水の検査）

(7) 統計調査研究：研究資料の作成（スポーツ振興センター・学校保健・学校環境衛生）

(1) 児童・生徒及び教職員の健康診断：児童生徒の諸検査（尿・歯・心臓病検診・小児生活習慣病予防他）、教職員の健康診断、事後措置の徹底

(7) 学校医・学校歯科医・学校薬剤師：委嘱・職務準則

(7) 自然教室事業：みどりの学校・健康教室の実施

(7) 学校保健会：学校保健会理事会、県学校保健大会、講演会開催

(7) スポーツ振興センター：給付契約・災害給付申請・支払い・保護者負担金徴収事務

ウ 小・中学校在学者の体位比較（身長・体重）

令和4年度

区分			男			女		
			全国	県	富士市	全国	県	富士市
身長 (cm)	小学校	1年	116.7	116.5	116.7	115.8	115.5	115.8
		2年	122.6	122.5	123.0	121.8	121.6	121.9
		3年	128.3	127.9	128.8	127.6	127.6	127.9
		4年	133.8	133.2	133.8	134.1	133.4	134.6
		5年	139.3	138.8	139.4	140.9	140.4	140.9
		6年	145.9	145.2	146.0	147.3	147.1	147.3
	中学校	1年	153.6	153.0	153.6	152.1	151.6	152.4
		2年	160.6	160.1	161.1	155.0	154.7	154.5
		3年	165.7	165.2	165.5	156.5	156.2	155.9
体重 (kg)	小学校	1年	21.7	21.5	21.4	21.2	21.1	21.2
		2年	24.5	24.1	24.4	23.9	23.7	23.8
		3年	27.7	27.3	28.1	27.0	26.8	27.0
		4年	31.3	30.7	31.5	30.6	30.1	31.0
		5年	35.1	34.5	35.6	35.0	34.4	35.1
		6年	39.6	38.9	39.8	39.8	39.5	40.0
	中学校	1年	45.2	44.3	45.2	44.4	43.6	45.2
		2年	50.0	48.8	51.0	47.6	46.8	47.4
		3年	54.7	53.4	55.0	50.0	49.3	49.8

※国、県平均は令和3年度平均値

エ 災害の種類別発生状況（件）

令和4年度

区分	骨折	捻挫	脱臼	挫傷・打撲	靭帯損傷・断裂	挫創	切創・刺創	割創・裂創	擦過傷	熱傷・火傷	歯牙破折	その他	合計
小学校	119	72	10	200	3	28	18	6	4	1	3	57	521
中学校	113	67	6	126	12	5	2	1	2	2	2	38	376
高等学校	16	19	1	8	10	0	1	0	0	0	1	10	66
合計	248	158	17	334	25	33	21	7	6	3	6	105	963

オ 災害発生の場所（件）

令和4年度

校種別場所別		小学校	中学校	高等学校	合計	
学 校 内	校 舎 内	教室	122	35	0	157
		実習実驗室	5	3	0	8
		体育館・屋内運動場	86	124	17	227
		講堂	0	0	0	0
		遊戯室	0	0	0	0
		廊下	22	14	0	36
		昇降口・玄関	9	1	0	10
		階段	17	8	0	25
		ベランダ	0	0	0	0
		屋上	0	0	0	0
		便所	2	1	0	3
		その他	2	0	0	2
小計	265	186	17	468		

校舎外	運動場・校庭	176	133	36	345
	プール	6	4	0	10
	排水溝	0	0	0	0
	手足洗場	1	0	0	1
	水飲み場	2	0	0	2
	農場	0	0	0	0
	その他	5	0	0	5
	小計	190	137	36	363
学校外	道路	64	11	6	81
	公園・遊園地	1	1	0	2
	運動場・競技場	0	25	2	27
	体育館	0	10	4	14
	山林野	1	0	1	2
	海・湖・沼・池	0	0	0	0
	河川	0	0	0	0
	その他	0	6	0	6
小計	66	53	13	132	
合計	521	376	66	963	

#### カ 災害発生の時

令和4年度

区分	内容	小学校		中学校		高等学校		合計	
		件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)
各教科等	各教科、総合的な学習の時間等	190	36.5	141	37.5	10	15.2	341	35.4
特別活動 (除学校行事)	学級(ホームルーム)活動、給食指導、日常の清掃、クラブ活動等	43	8.3	16	4.3	0	0	59	6.1
学校行事	運動会・体育祭、遠足、修学旅行、その他集団宿泊的行事等	4	0.8	20	5.3	2	3.0	26	2.7
課外指導	部活動、林間学校等	1	0.2	137	36.4	48	72.7	186	19.3
休憩時間	昼食時休憩時間中、始業前・授業終了後の特定時間中等	220	42.2	51	13.6	0	0	271	28.1
通学中	登校中、下校中等	63	12.1	11	2.9	6	9.1	80	8.3
合計		521		376		66		963	

※件数は、給付申請があったもの。

※率は、小数第二位を四捨五入して算出。

## ⑦ 学校給食

ア 重点目標 心を育む楽しい給食

(ア) ゆとりある給食時間：落ちついた雰囲気です食事を楽しむ

(イ) 全校職員の共通理解に基づいた給食指導：安全指導・衛生的な習慣・食事マナー

(ウ) 楽しい給食時間の工夫：心ひらく時間の中で食物と健康に関心を持つ



R4 ふじっぴー給食

## イ 学校給食の概要

### (ア) 給食実施の沿革

- 昭和23年 ミルク給食、みそ汁給食開始
- 昭和33年 週5回のパン・牛乳・おかずの完全給食に切り替え始まる。
- 昭和44年 ソフト麺導入
- 昭和47年 小・中学校全校で完全給食が実施される。
- 昭和48年 富士市学校給食会設立
- 昭和55年 米飯給食週2回実施
- 昭和56年 第1回富士市学校給食展開催
- 昭和62年 米飯給食週2.5回全校実施・ポリプロピレン食器導入
- 平成2年 岩松小に初めてランチルーム設置・富士市学校給食検討委員会設立
- 平成4年 全校で米飯給食週3回実施・焼物機導入
- 平成12年 生ゴミ処理機導入開始（伝法小・富士南中学校から）
- 平成13年 真空冷却機導入開始・給食作業にドライ運用導入
- 平成20年 完全ドライ方式の給食棟が伝法小学校に建つ。（9月～）  
11月1日合併により富士川学校給食センター（小2校・中2校）が加わる。
- 平成21年 学校における食育の推進（学校給食法改正）
- 平成25年 生ゴミ処理プラントによるリサイクル処理開始
- 平成28年 完全ドライ方式の給食室を岩松小学校改築に合わせ整備
- 令和2年 富士市学校給食運営審議会設立
- 令和5年 学校給食費の公会計化開始

### (イ) 学校給食の指導に関すること

- 学校給食の指導—栄養士未配置校への定期訪問、給食施設・設備の点検並びに衛生管理指導
- 栄養士・調理員の研修指導—栄養士研修会、主任調理員研修会、調理従事職員研修会、  
正規調理員自主研修会
- 栄養士・調理員の健康管理—保菌検査・学校給食日常点検表の実施指導
- 調査統計—学校給食調査、給食施設台帳整備、朝食調査、地場産品使用状況調査等
- 給食施設・設備—備品の把握・購入・修繕に関すること
- 富士市学校給食運営審議会—学校給食の運営に関すること、給食費に関すること

ウ 実施状況

令和5年度

区 分	小 学 校	中 学 校
実 施 校	24校 (単独校調理場方式)	14校 (単独校調理場方式)
	2校 (共同調理場方式)	2校 (共同調理場方式)
栄 養 士	20人 (内栄養教諭9人)	7人 (内栄養教諭4人)
調 理 員	137人	75人
	13人 (富士川学校給食センター)	
給食予定回数	180回	
米飯実施状況	週3.0回	
給 食 費 一食当たり単価	299円	354円

エ 学校給食費の移り変わり

年度		H12~17	H18	H19	H20 (10月~)	H21 (センター)	H22~27 (センター)	H28~30 (センター)	R1~4 (センター)	R 5
給食費 月額 円	小学校	4,000	4,000	4,000	4,000 (4,500)	4,500 (4,300)	4,500 (4,300)	4,500 (4,300)	4,900 (4,700)	
	中学校	4,740	4,740	4,740	4,740 (5,340)	5,340 (5,100)	5,340 (5,100)	5,340 (5,100)	5,800 (5,560)	
一食当たり 単価 円	小学校	243	242	243	243 (274)	274 (261)	272 (260)	275 (263)	299 (287)	299
	中学校	288	287	288	288 (325)	325 (310)	323 (308)	326 (312)	354 (340)	354
年間給食回数 回		181	182	181	181	181	182	180	180	180

オ 児童・生徒の栄養摂取状況

令和5年5月

区 分	栄 養 量			
	小 学 校 (中学年)		中 学 校	
	文部科学省基準	富 士 市	文部科学省基準	富 士 市
エネルギー kcal	650		830	
たんぱく質 g	21.1~32.5		27.0~41.5	
脂 肪 g	14.4~21.7		18.4~27.7	
カルシウム mg	350		450	
鉄 分 mg	3.0		4.5	
ビタミンA (μgRE)	200		300	
ビタミンB <sub>1</sub> mg	0.40		0.60	
ビタミンB <sub>2</sub> mg	0.40		0.60	
ビタミンC mg	25		35	
食 物 繊 維 g	4.5以上		7.0以上	

カ 児童生徒の食品摂取状況 (g) 米飯週3回食

令和5年5月

区 分	小 学 校 (中学年)		中 学 校	
	文部科学省基準	富 士 市	文部科学省基準	富 士 市
米・大麦等	46	46.5	66	65.2
小麦粉 (パン・めん他)	17	18.8	28	22.2
魚介類・獣鳥類・卵類	37	48.6	52	62.0
乳 類	210	216.3	212	218.1
豆 類・豆製品	21	6.0	24	7.8
いも及び澱粉	30	14.6	35	18.0
野菜・きのこ類	97	86.2	121	109.8
果 実 類	32	4.0	40	4.1
油 脂 類	3.0	4.5	4	5.7
砂 糖 類	3.0	6.7	4	7.7
種 実 類	3.0	0.4	3.5	0.6
藻 類	2.0	0.4	4.0	0.5

## (2) 高等学校

### ① 富士市内高等学校一覧

令和5年5月1日現在

学校名	区分	所在地	電話番号	開校年月	生徒数(人)		学級数	教員数(人)
富士市立高等学校		比奈 1654 番地	34-1024	昭和37年4月	全日制	645	18	76
静岡県立吉原工業高等学校		比奈 2300 番地	34-1045	昭和32年4月	全日制	335	14	61
静岡県立吉原高等学校		今泉 2160 番地	52-1440	明治42年4月	全日制	506	15	40
静岡県立富士東高等学校		今泉 2921 番地	21-4371	昭和53年4月	全日制	611	15	45
静岡県立富士高等学校		松本 17 番地	61-0100	大正12年4月	全日制	854	21	54
					定時制	83	5	9
富士見高等学校(私立)		平垣町1番1号	61-0250	昭和3年4月	全日制	1,048	34	82
計						4,082	122	367

### ② 富士市立高等学校

#### ア 学校の概要

校長 櫻井 祥行

所在地 静岡県富士市比奈 1654 番地

位置 東経 38° 43' 43" 北緯 35° 9' 50" 海拔 27m

課程 全日制 男女共学

学科 総合探究科・ビジネス探究科・スポーツ探究科

創立 昭和 37 年 4 月 1 日

#### イ 校地

区分	建物敷地	運動場	第二運動場	テニスコート	プール	その他	合計
面積(㎡)	14,928	14,450	19,105	2,574	1,795	4,112	56,964

#### ウ 主な施設

区分	校舎棟	特別教室棟	体育館	錬成館	秀麗館	室内練習場
面積(㎡)	8426.01	2310.68	3808.66	1116.89	702.04	498.00



校舎



運動場

#### エ 学校の沿革

昭和36年3月17日	吉原市立商業高等学校設置、吉原市議会にて議決、定員200人(商業科5クラス)
昭和37年4月1日	吉原市立商業高等学校設立認可(静岡県)
昭和37年4月10日	開校並びに入学式、新入生244人、翌11日より穆清中学にて授業開始
昭和37年11月27日	校舎落成式
昭和38年4月	定員300人(商業科7クラス)
昭和41年4月	普通課程併設、定員350人(普通科2クラス、商業科6クラス)
昭和41年11月1日	合併に伴い、富士市立吉原商業高等学校となる

昭和45年 7月	校歌制定
昭和46年 4月	定員 360 人(商業科 8 クラス)
昭和47年 4月	普通科廃止
昭和48年 4月	小学科制発足、定員 360 人(営業科 2、経理科 2、事務科 4 クラスの 3 科を設置)
昭和50年 3月	商業棟竣工
昭和61年 4月	小学科制解消、定員 360 人(商業科 A コース 6、商業科 B コース 1、情報処理コース 1 クラスの 3 コースに変更)、制服制定
昭和63年 4月	小学科制廃止
平成元年 3月	第二運動場(野球場)落成
平成 2 年 4月	総合実践コンピューター導入、定員 450 人(商業科 A コース 6、商業科 B コース 1、情報処理コース 2 クラス)
平成 3 年 4月	定員 360 人(商業科 A コース 5、商業科 B コース 1、情報処理コース 2 クラス)
平成 5 年 3月	新校舎竣工
平成 5 年 9月	新校舎落成式
平成 6 年 4月	定員 336 人(商業経済コース 5、進学コース 1、情報処理コース 2 クラスに変更)
平成 7 年 4月	定員 328 人
平成 8 年 4月	定員 320 人
平成 9 年10月	創立 35 周年記念式典挙行
平成11年 4月	校内ネットワーク導入、定員 320 人(商業経済コース 4、進学コース 1、情報処理コース 3 クラスに変更)
平成14年 4月	定員 280 人(商業経済コース 4、進学コース 1、情報処理コース 2 クラスに変更)
平成15年 4月	定員 280 人(ビジネスコース 4、進学コース 1、情報処理コース 2 クラスに変更)
平成16年 4月	定員 240 人(ビジネスコース 3、進学コース 1、情報処理コース 2 クラスに変更)
平成19年 5月	重層屋内運動場竣工
平成20年 4月	定員 200 人
平成21年 4月	定員 240 人
平成21年 6月	富士市立高等学校開設準備室設置
平成21年 9月	寄宿舎(秀麗館)竣工
平成22年 9月	全天候型(人工芝)運動場改修
平成23年 4月	富士市立高等学校に名称変更、定員 240 人(総合探究科 3、ビジネス探究科 2、スポーツ探究科 1 クラスの 3 学科を設置)、制服改定
平成23年 4月	富士市立高等学校教育推進室設置
平成23年11月	創立 50 周年記念式典挙行
平成25年 3月	商業科閉科
平成25年 6月	学校運営協議会設置
平成25年 7月	新錬成館竣工
平成30年 3月	テニスコート(砂入り人工芝)・照明灯改修
令和 2 年 3月	感染症対策により臨時休校措置がとられる
令和 2 年 5月	在宅生徒とのオンラインによるホームルームや授業形式の学習を行う
令和 5 年 1月	校内 LAN 環境整備
令和 5 年 4月	全生徒へタブレット型パソコンを貸与



オ 生徒数

令和5年5月1日現在

学年 科	1 年				2 年				3 年				合 計			
	学級	男	女	計	学級	男	女	計	学級	男	女	計	学級	男	女	計
総合探究	3	55	57	112	3	51	56	107	3	62	48	110	9	168	161	329
ビジネス探究	2	24	56	80	2	23	43	66	2	18	32	50	6	65	131	196
スポーツ探究	1	33	9	42	1	30	10	40	1	31	7	38	3	94	26	120
合計	6	112	122	234	6	104	109	213	6	111	87	198	18	327	318	645

カ 出身中学校別生徒数

令和5年5月1日現在

出身中学校	学 年			計
	1 年	2 年	3 年	
吉 原 一	18	10	16	44
吉 原 二	23	22	28	73
吉 原 三	11	9	7	27
元 吉 原	2	2	3	7
吉 原 東	7	12	2	21
須 津	22	20	23	65
大 淵	5	10	4	19
富 士	14	4	1	19
富 士 南	3	9	3	15
田 子 浦	7	8	7	22
岩 松	6	4	7	17
鷹 岡	2	4	6	12
岳 陽	29	25	21	75
吉 原 北	19	19	15	53
富 士 川 一	1	0	1	2
富 士 川 二	0	0	1	1
富 士 見	1	0	0	1
市 内 計	170	158	145	473
富 士 宮 市	6	6	4	16
沼 津 市	19	19	18	56
静 岡 市	8	5	6	19
上記外県内市町	9	10	11	30
県 外	22	15	14	51
市 外 計	64	55	53	172
総 計	234	213	198	645

キ 進路状況

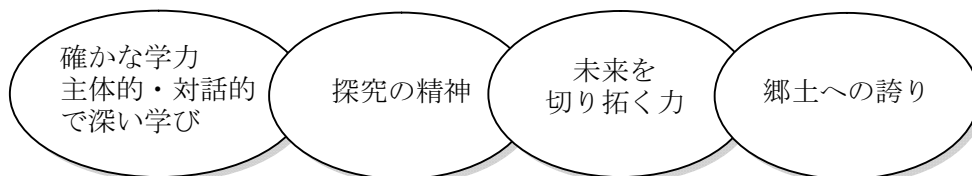
令和5年5月1日現在

区分	年度	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
大学	四年制大学	74	31	105	58	47	105	89	31	120
	短期大学	1	13	14	3	12	15	0	14	14
専修・各種学校		21	58	79	24	48	72	17	41	58
就職	民間	11	21	32	3	19	22	6	18	24
	公務員	3	0	3	3	0	3	2	1	3
進学準備		2	0	2	3	0	3	1	0	1
その他		1	2	3	1	0	1	1	2	3
計		113	125	236	95	126	221	116	107	223

ク 教育方針

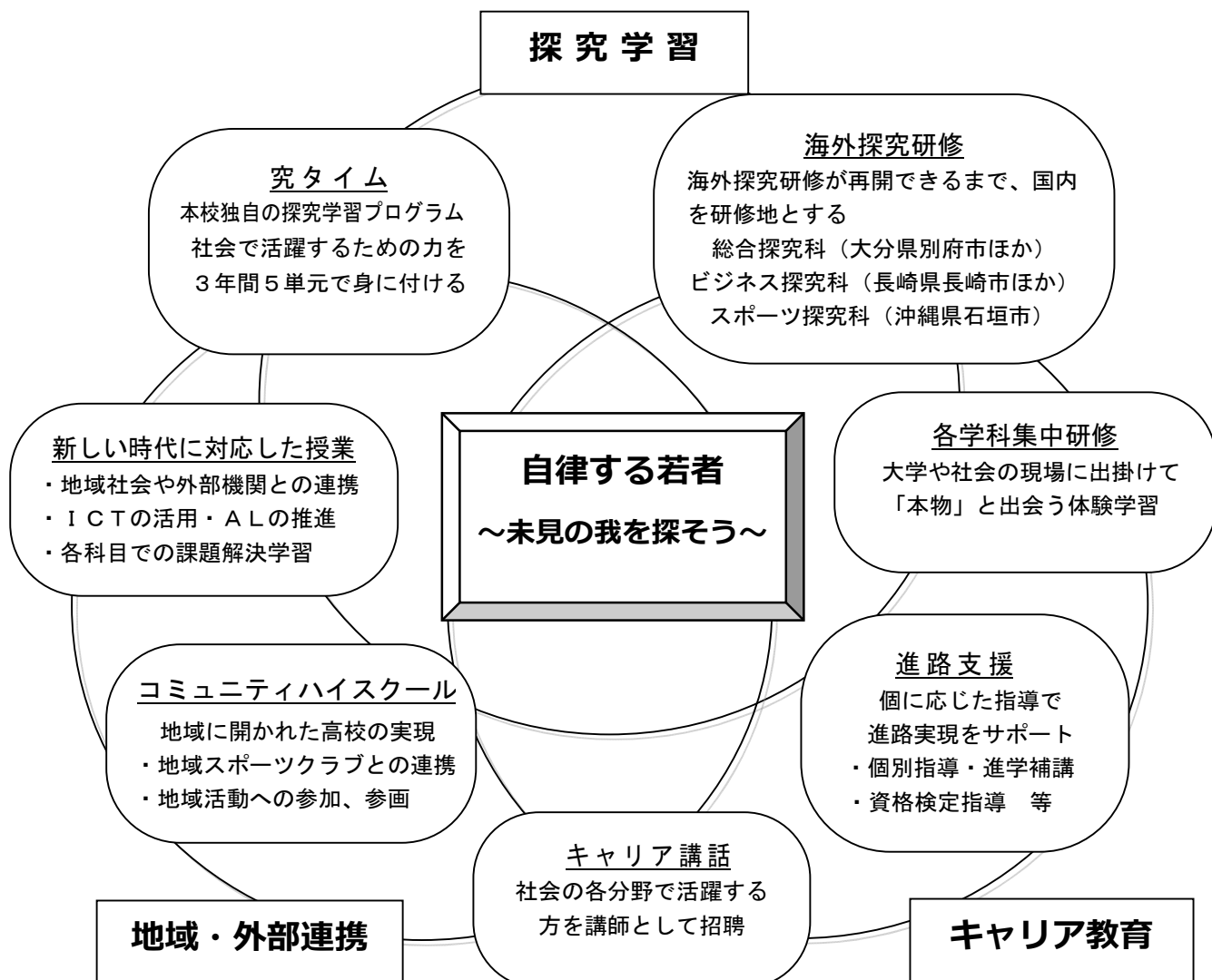
(ア) 本校のコンセプト：C D I

郷土愛を胸に、夢の実現にチャレンジし、様々な世界で活躍する若者を育成する。



- **Community** (コミュニティハイスクール)  
地域、学校との連携を図り「自律する若者」を育てる高校
- **Dream** (ドリカムハイスクール)  
夢を持ち続け、生涯にわたって学び続ける力をはぐくむ夢実現高校
- **Inquiry** (探究ハイスクール)  
物事の本質を追究し、自分自身と向かい合い、向上心と探究心に満ちた高校

(イ) 特徴ある教育スタイル



## ケ 目指す学校像

### (7) 教育目標

#### 自律する若者の育成

CDI（「コミュニティハイスクール」、「ドリカムハイスクール」、「探究ハイスクール」）の実現に向け、自然と地域を愛し、富士市や社会に貢献できる人材を輩出する。

- ・コミュニティハイスクール  
人との関わりを大切にし、地域社会で主体的に活躍する生徒を育てる
- ・ドリカムハイスクール  
人生の目標や夢を持ち、その実現に向けて挑戦する生徒を育てる
- ・探究（インクワイアリー）ハイスクール  
探究の見方と考え方を働かせ、本質を追求し、課題を解決する生徒を育てる

### (イ) 教育目標具現化の柱

- ・ 基本的な生活習慣、社会人としての資質・能力を身に付けるため、授業や部活動、学校行事の充実を図り、「豊かな人間性」や「良好な人間関係」を育てる学校（主体性、協働する力）
- ・ キャリア教育を推進することにより、生徒が夢を持ち、「確かな学力」を身に付けることで、進路実現を支援する学校（チャレンジ精神、実行力）
- ・ 魅力ある専門教育と学科の特色を生かし、教育課程の充実に努め、「主体的・対話的で深い学び」による「魅力ある授業」を展開できる学校（論理的思考力、傾聴力、課題解決力）
- ・ 家庭・PTA・地域と連携した教育活動を推進し、「社会に開かれた教育」を実現するとともに、保護者や地域から信頼される学校
- ・ 教育環境の整備・充実及び予算の適正かつ効率的な執行を目指す学校



国内探究研修（海外代替）  
総合探究科：立命館アジア太平洋  
大学での研修（大分県別府市）



国内探究研修（海外代替）  
ビジネス探究科：ハウステンボ  
スでの研修（長崎県佐世保市）



国内探究研修（海外代替）  
スポーツ探究科：マングローブ林  
でのSUP体験（沖縄県石垣市）



中学生一日体験入学  
800人を超える参加者（中学生と  
その保護者）を迎える



市役所プランの実現  
学校給食メニューを販売し、その売  
り上げを子ども食堂などへ寄付



デフキッズサッカー教室  
視覚障害のある子どもたちにス  
ポーツに親しむ機会を提供

【(関連事業) 幼稚園】

市立幼稚園では、小学校以降の教育とは異なり、教科書を使わず、遊びを通しての総合的な指導を行っている。幼児期に思い切り遊ぶことで、その後の学びや創造性が豊かになることが、文部科学省の幼稚園教育要領に示されている。子ども自らが興味や関心をもち、身の回りの「ひと・もの・こと」に関わりながら「遊び」を展開することは、小学校以降で育もうとする「生きる力」の基盤になる。

本市では、機構改革により、平成20年度に市立幼稚園が教育委員会から市長事務局局保育幼稚園課へ移管された。現在は、関連事業として連携を図っている。

① 園児及び教職員数

ア 市立幼稚園、認定こども園 (子ども・子育て支援法第19条第一項：第1号第2号に規定されている子どもの数)

園名	学級	総数			3歳児			4歳児			5歳児			教員	職員	計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
昭和	3	33	26	59	9	13	22	12	6	18	12	7	19	10	2	12
田子浦	6	62	46	108	25	15	40	13	15	28	24	16	40	19	1	20
岩松	4	37	22	62	10	11	21	9	7	16	16	9	25	14	1	15
天間	3	29	24	53	5	8	13	10	7	17	14	9	23	9	1	10
富士川第一	2	4	9	13	0	0	0	2	3	5	2	6	8	6	1	7
松野	6	39	52	88	19	10	29	20	13	33	15	11	26	26	0	26
公立計	24	204	179	383	68	57	125	66	51	117	83	58	141	84	6	90

イ 私立幼稚園、認定こども園

園名	学級	総数			3歳児			4歳児			5歳児			教員	職員	計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
吉原聖母	5	51	54	105	15	15	30	13	18	31	23	21	44	11	1	12
鈴川	3	27	16	43	10	2	12	5	8	13	12	6	18	12	4	16
須津	7	67	54	121	17	16	33	25	16	41	25	22	47	22	3	25
いまいづみ	9	110	108	218	33	35	68	39	31	70	38	42	80	21	2	23
曙	10	119	96	215	45	33	78	36	33	69	38	30	68	38	2	40
神戸	7	32	24	56	11	6	17	12	6	18	9	12	21	15	0	15
富士ふたば	13	143	135	278	49	46	95	45	33	78	49	56	105	39	2	41
たかおか	9	81	84	165	21	24	45	26	29	55	34	31	65	34	5	39
するが	13	153	142	295	47	38	85	56	50	106	50	54	104	25	1	26
わかば	9	67	74	141	27	16	43	26	27	53	14	31	45	30	3	33
富士リズム	11	99	100	199	29	27	56	38	37	75	32	36	68	19	5	24
ゆきよし	6	63	52	115	16	15	31	17	15	32	30	22	52	13	1	14
藤田	6	58	55	113	23	12	35	18	23	41	17	20	37	11	2	13
みのる	6	67	47	114	21	15	36	21	17	38	25	15	40	28	7	35
富士中央	5	52	47	99	17	18	35	16	13	29	19	16	35	23	0	23
富士光明	6	58	59	117	16	22	38	20	15	35	22	22	44	15	2	17
さくら台	6	46	53	99	14	15	29	17	16	33	15	22	37	28	3	31
富士ふたばこども園	3	27	30	57	9	13	22	6	9	15	12	8	20	19	0	19
私立計	134	1320	1230	2550	420	368	788	436	396	832	464	466	930	403	43	446

② 市立幼稚園・こども園一覧

園名	所在地	創立年月	敷地(m <sup>2</sup> )	建物面積(m <sup>2</sup> )
昭和幼稚園	比奈160番地	昭和27年4月	5,564	1,309
田子浦幼稚園	川成島138番地の10	昭和28年4月	4,573	1,449
岩松幼稚園	松岡804番地	昭和27年4月	4,013	1,415
天間幼稚園	天間1047番地の10	昭和47年4月	3,590	959
富士川第一幼稚園	岩淵107番地	大正15年6月	821	469
松野こども園	北松野1825番地の10	平成28年4月	4,763	1,046

### ③ 教育・研修

#### ア 指定園研修

富士市立富士川第一幼稚園（令和5年度～令和6年度）

研究テーマ「わくわく、ドキドキ、やってみよう！

～豊かな表現が生まれるための援助や環境の工夫～

#### イ 指定研修のあゆみ（平成27年度以降）

園名	主 題	指定年度
田子浦幼稚園	人との関わりの中で、たくましい心を育てる ～異年齢の関わりの中で～	平成27～28年度
昭和幼稚園	思いを伝え合って遊びを楽しむ子にするための援助の工夫	平成29～30年度
岩松幼稚園	豊かなことばを目指して ～思いを出し合える仲間になるための環境の工夫～	令和元～2年度
原田幼稚園	主体的な子どもを育む環境構成 ～少人数の良さを生かした保育～	令和3～4年度

### ④ 市立幼稚園児の体位

令和5年度

区 分	身長 (cm)			体重 (kg)			
	3歳	4歳	5歳	3歳	4歳	5歳	
平 均	男	96.3	104.4	110.5	14.5	16.9	18.9
	女	96.4	100.4	109.6	14.7	15.3	18.8

### ⑤ ことばの教室

就学前のことばの発達が気になる子、発音が気になる子、吃音が気になる子など、ことばにさまざまな課題のある幼児の相談や指導を行う。市内の幼稚園、保育園及び家庭などから通級可能。昭和幼稚園、田子浦幼稚園、岩松幼稚園及びみなみっこの4か所にて通級制で開級している。

《通級園児数》

令和5年5月1日

区 分	昭和幼稚園			田子浦幼稚園			岩松幼稚園			みなみっこ			合計		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
構音障害	13	12	25	7	4	11	15	20	35	1	1	2	36	37	73
ことばのおくれ	0	2	2	5	1	6	7	1	8	0	0	0	12	4	16
吃音	3	0	3	6	4	10	5	2	7	0	0	0	14	6	20
合計	16	14	30	18	9	27	27	23	50	1	1	2	62	47	109

3歳	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
4歳	6	3	9	5	4	9	4	8	12	0	0	0	15	15	30
5歳	10	11	21	12	5	17	23	15	38	1	1	2	46	32	78
合計	16	14	30	18	9	27	27	23	50	1	1	2	62	47	109



（友達と砂場でごっこ遊び）

自然な環境の中、友達と遊ぶことで、想像力、探求心、コミュニケーション力などが育つ。



（ことばの教室）

鏡を見ながら「あいうべ体操」。楽しく体操をして口腔機能を高める。

### 3 生涯にわたって学び続ける「ふじの人」の育成

#### (1) 社会教育

市民一人一人の生きがいがづくりや現代的・地域的課題への対応を目指し、まちづくりセンター講座や市民大学等の多様な学習の機会を提供するとともに、個人の自主的な学びを支援するために、市政いきいき講座等を行っている。

#### ① 社会教育委員会議

社会教育法に基づいて社会教育委員を設置し、教育委員会の諮問機関として、社会教育の推進に関する諸計画等を審議している。学識経験者、学校教育、家庭教育の関係者で構成されている。  
(17人)

#### 令和4年度の内容等

	開催日時・会場	審議・報告事項
第1回	令和4年6月7日（火曜日） 午後1時30分～ 教育プラザ1階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士市の社会教育行政について</li> <li>・社会教育課所管事業について</li> </ul>
第2回	令和4年8月30日（火曜日） （書面による開催）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりセンター講座について</li> <li>・キズナ無限の島事業のリニューアルについて</li> <li>・社会教育課所管事業視察について</li> </ul>
第3回	令和4年11月2日（水曜日） 午後1時30分～ 教育プラザ1階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりセンター講座について</li> <li>・令和5年富士市はたちの記念式典について</li> <li>・18歳新成人への祝意について</li> </ul>
第4回	令和5年1月31日（火曜日） 午後1時30分～ 教育プラザ1階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度 社会教育課主要事業の計画の概要について</li> <li>・富士市まちづくりセンター講座の受講料について</li> </ul>

#### ② 富士市民大学

豊かな人づくりを目指し、より高度で専門的な知識を学ぶ機会を提供するため、市民大学を開催している。令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施した。

前期ミニカレッジは、大学教授等と連携を行い、全6講座を開講。後期講演会は、各界の著名人を講師に招き、ロゼシアター大ホールを会場に全5回の講演会を開催した。



富士市民大学前期ミニカレッジ



富士市民大学後期講演会



ア 令和4年度（第28回）富士市民大学前期ミニカレッジ講座内容

科 目	講 師 名	受講生	会 場
表現力アップ！ 読み聞かせ・話し方講座	フリーアナウンサー・新郎読家 杉山 直	20	富士市教育プラザ
世界遺産で知る世界 ー地理・歴史・文化・政治	静岡県立大学 国際関係学部 准教授 富澤 かな 静岡県立大学大学院 国際関係学研究科 助教 小泉 佑介 静岡県立大学 国際関係学部 講師 山本 健介 静岡県立大学 国際関係学部 准教授 ファイファー・マティアス	42	富士市教育プラザ
宇宙で知りたい3つのこ と ～ブラックホール、宇宙の 始まりと終わり、宇宙人～	静岡大学 教育学部 講師 内山 秀樹	50	ロゼシアター
市民歴史講座「海道一の弓 取り 今川義元」	静岡大学 名誉教授 小和田 哲男 駒澤大学 文学部歴史学科 准教授 浅倉 直美 静岡市文化財保護審議会 委員 大石 泰史 駒澤大学 名誉教授 久保田 昌希 慶應義塾大学 文学部 教授 小川 剛生 東洋大学 文学部史学科 非常勤講師 柴 裕之	74	ラ・ホール富士
防災講座「天災を理解し、 身を守る～予測不可能な 災害に備えて～」	静岡大学防災総合センター 教授 牛山 素行 富士市防災危機管理課 静岡県地震防災センター（実地研修） 常葉大学 社会環境学部 教授 阿部 郁男 常葉大学 社会環境学部 講師 今野 明咲香 常葉大学 社会環境学部 准教授 河本 尋子	25	富士市教育プラザ 静岡県地震防災 センター
文学講座「国宝『源氏物語 絵巻』の世界に触れる」	静岡県立大学 国際関係学部 准教授 竹部 歩美	34	富士市教育プラザ
合 計 人 数	245 人		

イ 令和4年度（第42回）富士市民大学後期講演会講演内容

回	開 催 日	テ ー マ	講 師 名	会 場
1	9月15日(木)	人権って何？	弁護士 菊地 幸夫	ロゼシアター 大ホール
2	9月29日(木)	脳を知ってモチベーションアップ	薬学博士/東京大学 薬学 部 教授 池谷 裕二	〃
3	10月4日(火)	知っておきたい 高齢になると生じる心と体の変化	介護ジャーナリスト 小山 朝子	〃
4	10月14日(金)	時代を読み解く ～正しい判断は正しい情報から～	元民放解説委員長/海洋 冒険家 辛坊 治郎	〃
5	10月27日(木)	脚本家の視点から ～ドラマの取材を通して思うこと～	脚本家 中園 ミホ	〃

※新型コロナウイルス感染症対策として、ロゼシアター大ホールを会場に実施

ウ 講座のあゆみ（第31回以降の募集定員・受講生数・講座回数及び受講料の推移）

回数	年度	募集定員	受講生数	講座回数	受講料	会場
第31回	平成23年度	700人	551人	7回	4,000円	ロゼシアター 中ホール
第32回	平成24年度	700人	690人	7回	4,000円	〃
プレ講演会	平成25年度	700人	507人	1回	無料	〃
第33回	平成25年度	700人	617人	7回	4,000円	〃
	単発券		38人		1,500円	
第34回	平成26年度	700人	698人	7回	4,000円	〃
第35回	平成27年度	700人	703人	6回	3,500円	〃
第36回	平成28年度	700人	525人	6回	3,500円	〃
	単発券		76人		1,500円	
第37回	平成29年度	700人	491人	6回	3,500円	〃
	単発券		46人		1,500円	
第38回	平成30年度	700人	647人	6回	3,500円	〃
第39回	令和元年度	700人	725人	6回	3,500円	〃
第40回	令和2年度	500人	498人	2回	1,500円	ロゼシアター 大ホール
第41回	令和3年度	700人	606人	6回	3,500円	〃
第42回	令和4年度	700人	879人	5回	3,000円	〃

③ 市政いきいき講座

市民と職員との対話を通じて、市民の市政への理解を深めることを目的に、職員が市民、団体等の求めに応じ、指定された会場（市内に限る）へ出向き、市民（10人以上）に日常業務の説明や情報提供を行っている。

令和4年度 開催実績 件数 201件 参加者総数 9,779人

ジャンル	件数	人数	ジャンル	件数	人数
市政	3	48	教育文化	6	103
健康・福祉	4	52	生活安全	170	8,739
市民生活	14	586	環境	4	251
まちづくり	0	0	計	201	9,779



#### ④ まちづくりセンター講座

各地区まちづくりセンターを会場に、新しい趣味の発見や仲間づくり、教養を深める身近な場を提供することを目的として、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の方々を対象にさまざまな分野の講座を開催している。

なお、まちづくりセンター講座については、地区まちづくりセンターにおいて補助執行で実施していたが、令和3年度から教育委員会社会教育課に所管を変更して、以下のような講座区分ごとに実施している。(令和4年度開催実績：286講座、延受講者数15,646人)

#### ア 人づくり講座

地域の資源や魅力を知る学習や地域の人材を活用した学習、地域活性化に資する学習等を目的として実施。地域の活動に主体的に取り組む人材の育成を図ることをねらいとしている。(令和4年度開催実績：講座数55講座、延受講者数3,377人)



人づくり講座  
浮島「大人の自然塾」



少年教育講座  
「ブロック合同デイキャンプ」

#### イ 少年教育講座

主に小学生を対象に、社会生活に必要な能力を養うことや他の年齢層とのつながりを持つこと、また学校ではできない体験学習等を通じて、地域への愛着を養い、将来富士市を背負っていく世代の育成を目的として実施。活動内容は、ニュースポーツ体験、食育料理教室、自然遊びや野外活動、環境学習、ブロック合同キャンプ事業などがある。(令和4年度開催実績：講座数31講座、延受講者数1,053人)

#### ウ 家庭教育講座

主に未就園児と保護者を対象に、育児や子どもの健康に関する学習をするとともに、保護者同士が交流を深めることなどを目的として実施。主に、子どもとの接し方、自立心、生活習慣等、子どもの教育や健康、性格形成期の問題などを学習する。(令和4年度開催実績：講座数13講座、延受講者数704人)

#### エ 高齢者講座

高齢者を対象に、健康づくり・仲間づくり・生きがいづくりや社会参加の促進などを目的に実施。主な活動内容は、各種教養講座や健康づくりのための体操等の運動講座、工作など、多様な内容を実施している。(令和4年度開催実績：講座数25講座、延受講者数1,648人)

#### オ みんな講座

市内で活動している民間団体が企画・運営を行う、初心者でも気軽に参加できる講座として、主に新しい趣味の発見や仲間づくり、教養を深めること等を目的に実施。地域に根付いた魅力的な講座を目指し、民間団体が得意とする分野の講座を実施している。(令和4年度開催実績：講座数85講座、延受講者数5,763人)

#### カ 市民プロデュース講座

市内で活動している団体や市民が企画・運営する講座として実施しており、市民主体の地域づくりや地域の担い手づくりを推進することを目指している。(令和4年度開催実績：講座数18講座、延受講者数1,078人)

#### キ オープン自主グループ講座

同じ趣味や興味・関心を持つ仲間が集まり、まちづくりセンターで活動している自主グループが開催する初心者向け体験講座(令和4年度開催実績：講座数34講座、延受講者数768人)。

#### ク 生涯学習人材バンク講座

生涯学習人材バンクの登録講師が企画・運営する講座。はじめての方にもわかりやすい初心者向けの内容を中心に実施する。(令和4年度開催実績：講座数25講座、延受講者数1,255人)



家庭教育講座  
伝法「かんがるークラブ」



高齢者教養講座  
「紙工作」

## (2) 図書館

### ① 施設設備の概要

#### ア 富士市立図書館一覧

図書館名	開館	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	構造	施設の概要	
中央図書館	本館	S39. 2. 11 (H7. 10. 4移転)	5, 279. 47	7, 526. 47	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上4階地下1階	AV以外の全ての資料が1階ワンフロアで利用でき、障害者、高齢者等に配慮した施設
	分館	H12. 8. 10	1, 865. 08	2, 904. 67	鉄骨造2階	AVコーナーと作品を展示できる市民ギャラリー等のある施設
	今泉分室	H12. 4. 16	今泉まちづくりセンター敷地内	359. 83	鉄筋コンクリート造3階	今泉まちづくりセンター分館の図書施設で、児童をはじめ地域の人たちに親しまれている
	田子浦分室	H15. 4. 12	田子浦まちづくりセンター敷地内	191. 80	鉄筋コンクリート造2階 (図書館部分は、1階)	田子浦まちづくりセンターに併設の図書施設で、乳幼児や児童に親しまれている
	大淵分室	H20. 4. 20	大淵まちづくりセンター敷地内	220. 50	鉄筋コンクリート造2階 (図書館部分は、1階)	大淵まちづくりセンターに併設の図書施設で、児童や生徒に親しまれている
	富士川分室	H20. 11. 5	富士川ふれあいホール敷地内	229. 99	鉄筋コンクリート造3階 (図書館部分は、1階)	富士川ふれあいホールに併設の図書施設で、郷土の特色を活かし、地域の人たちに親しまれている
西図書館	S55. 11. 25 (H20. 4. 4移転)	富士市交流プラザ敷地内	1, 259. 02	鉄筋コンクリート造3階 (図書館部分は、1階)	富士市交流プラザに併設の図書施設で、地域の人や通勤、通学の人たちに親しまれている	
東図書館	S62. 4. 1	吉永まちづくりセンター敷地内	321. 73	鉄筋コンクリート造2階 (図書館部分は、1階)	吉永まちづくりセンターに併設された図書館で、児童をはじめ地域の人たちに親しまれている	
富士文庫	H2. 4. 18	鷹岡市民プラザ敷地内	823. 05	鉄筋コンクリート造2階	旧私立「富士文庫」の蔵書を引き継ぎ、貴重な資料を多く所蔵している	

#### イ 移動図書館 (BM : Book Mobile)

開設 昭和43年5月1日  
更新 令和5年2月1日 スズキキャリィ(ガソリン車)2台に更新し使用開始  
巡回方法 約500冊を搭載し市内45か所を巡回(令和5年度71か所に増設)  
施設配本 まちづくりセンター等19か所、高齢者施設7か所に配本

#### ウ でごいち文庫

開設 昭和53年4月17日  
施設 入山瀬公園内のD51機関車に隣接している客車を改造した施設

### ② 主な出来事と取組

- 中央図書館(4分室を含む)と地域館3館の1年間の入館者数は834,940人、資料の貸出者数は428,910人、また、貸出点数は1,777,961点(電子書籍を含む)である。
- 6月15日、「ふじ電子図書館」を導入し、電子書籍貸出サービスを開始した。令和4年度の実利用者数は5,256人、貸出点数は27,424点である。小中学生が学校での読書の時間等に電子書籍を利用できるよう、市内の全小中学校の児童生徒に電子図書館のIDとパスワードを配付した。
- 移動図書館車を更新し、軽自動車2台体制にして、2月1日から運用を開始した。令和5年度からの本格運用に向け、これまでより巡回場所・回数を増やす準備を行った。また、外部のイベントに参加し、新移動図書館車のPRを行った。
- 「第三次富士市子ども読書活動推進計画」に基づき、6か月児を対象に絵本の配付と読み聞かせを行う「ブックスタートふじ」事業では、新型コロナウイルス感染症対策のため、読み聞かせの実演は行わず対面での手渡しのみとした。1,437人に配付、配付率は94.4%であった。3歳児を対象に絵本の配付と読み聞かせを行う「セカンドブックふじ」事業でも、絵本の手渡しのみとし、1,746人に配付、配付率は98.6%であった。

### ③ 富士市子ども読書活動推進計画について

本市では、平成 18 年度に「富士市子ども読書活動推進計画」、平成 23 年度に「第二次子ども読書活動推進計画」、令和 3 年度には「第三次富士市子ども読書活動推進計画」を策定した。この第三次計画は、第一次、第二次での成果や課題を検証し、さらなる推進に向けた取組を進めるためのもので、令和 4 年度から実施し、子どもの読書活動推進に取り組んだ。

#### ア 計画の基本方針

本計画の基本方針を次に挙げ、全市的な読書計画を進めていく。

##### ○「読書環境の整備」

子どもの発達段階や興味に応じた適切な本が、生活や学習の場でいつでも利用できる読書環境を整備する。

##### ○「読書機会の提供」

子どもが楽しく読書できるように、関係機関等と連携して個々の場に応じた読書活動を実施し、読書習慣の確立を図る。

##### ○「普及・啓発」

子どもの読書活動に関する理解や関心を高めるため、子どもや子どもに関わる全ての大人に対し広報活動に努める。また、子どもと本を結びつける大人の活動を支援する。

#### イ 具体的な施策について

##### ○家庭・地域における読書活動

ブックスタートふじ事業、セカンドブックふじ事業を取組の柱として、乳幼児期からの読書習慣の形成を図る。また、地区まちづくりセンターにおけるボランティアによるおはなし会のほか、児童施設や図書館が連携して読書活動を行う。

##### ○幼稚園・保育園・認定こども園における読書活動

幼稚園・保育園・認定こども園の蔵書を充実し、各園における読み聞かせ活動を推進する。園児のいる家庭での読書機会を増やすための啓発活動を行う。読書推進に関する職員研修に取り組む。

##### ○学校における読書活動

児童生徒の読書習慣の形成を図るため、学校司書の全校配置を継続し、学校図書館を計画的に活用する。GIGA タブレットを活用した読書のため、「ふじ電子図書館」の利用を促進する等、従来の書籍に加え ICT を活用した読書活動を推進する。中高生の読書推進のため、学校と協力したイベント等を開催するなど、学校と図書館が連携した取組を行う。

##### ○図書館における読書活動

乳幼児期から図書館の利用を促進するため、親子が利用しやすい環境の整備を行う。図書館への来館が困難な子どもに対して、関係機関との連携や、移動図書館の活用により資料の提供を行う。令和 4 年度に導入した電子図書館システムでも、電子書籍の利点を生かした本を提供するなど、子どもの読書推進を図る。読み聞かせボランティア等が実施する読書活動推進に向けた研修を実施する。

### ④ 資料所蔵の状況

令和 5 年 3 月 31 日現在

区 分	中央図書館	西図書館	東図書館	富士文庫	合 計
図 書 (うち児童書)	793,068 冊 (232,207)	127,044 冊 (43,583)	71,829 冊 (28,528)	118,569 冊 (37,425)	1,110,510 冊 (341,743)
A V 資料	36,138 点	—	—	—	36,138 点
複製絵画	343 点	—	—	—	343 点
デジタル化資料	2,629 点	—	—	—	2,629 点
電子書籍	12,859 点	—	—	—	12,859 点
購入新聞	19 種	9 種	7 種	8 種	20 種
購入雑誌	211 種	59 種	67 種	58 種	249 種

※中央図書館には、移動図書館、今泉、田子浦、大淵、富士川の各分室、でごいち文庫を含む。購入雑誌は令和 4 年 6 月 1 日現在。

## ⑤ 利用状況

令和4年度

区分	中央図書館	西図書館	東図書館	富士文庫	合計
貸出点数	1,200,214点	306,152点	119,789点	151,806点	1,777,961点
貸出人数	283,301人	79,248人	29,234人	37,127人	428,910人
レファレンス件数	20,105件	6,776件	2,034件	4,858件	33,773件
予約件数	145,188件	6,651件	3,136件	5,056件	160,031件

※中央図書館には、移動図書館、今泉、田子浦、大淵、富士川の各分室、でごいち文庫、まちづくりセンターを含む。

※中央図書館の貸出点数には、電子書籍を含む。

## ⑥ 事業実績

令和4年度

館名	事業の名称	回数	延参加者	講師・共催団体等（敬称略）
中央図書館	ブックスタートふじ	36	1,437	6か月児を対象とした絵本の配付
	セカンドブックふじ	45	1,746	3歳児を対象とした絵本の配付
	図書館まつり	1	732人	実演：図書館職員、ボランティア他
	一般講演会「古文書考証が語る静岡の戦国」	1	58	講師：大石 泰史
	ビブリオバトル	1	46	主催：ビブリオバトル実行委員会 協力：富士市立高校
	ビジネス支援講演会	2	9	講師：小松 謙一
	音訳ボランティア特別講座	1	14	講師：熊谷 成子
	音訳ボランティア勉強会	3	39	講師：芝本 安由美
	点訳ボランティア勉強会	2	32	講師：黒崎 よし乃
	読みきかせボランティア・デビュー講座	6	74	講師：平山 壽子
	わらべうた・手遊び講習会	2	22	講師：畔高 京子
	おはなし会	128	874	実演：図書館職員
	古文書入門講座	9	116	講師：図書館職員
	夏休み読書感想文書き方講座	1	20	講師：佐藤 いずみ
	生の語りできく 遠野の昔話の会	1	48	講師：大平 悦子
	子育て絵本教室	5	84	講師：平山 壽子
バリアフリー絵本展・キンダーブック展	1	—	富士市・静岡福祉大学連携事業	
西図書館	おはなし会	80	233	実演：図書館職員
	夏休み読書感想文書き方講座	1	24	講師：佐藤 いずみ
	わらべうたを楽しもう	1	8	講師：畔高 京子
東図書館	おはなし会	49	268	実演：図書館職員
	夏休み読書感想文書き方講座	1	20	講師：佐藤 いずみ
	昔話をきく会	1	14	実演：渡邊 佐代子
	かんたん！楽しい！消しゴムはんこ	1	5	講師：田嶋 みゆり
富士文庫	おはなし会	50	395	実演：図書館職員
	富士文庫特別コレクションを知る講座	3	51	講師：菊地 治彦
	影絵と音楽の世界	1	48	講師：和久田 恵子
	夏休み読書感想文書き方講座	1	14	講師：佐藤 いずみ
	わらべうたを楽しもう	1	17	講師：畔高 京子

### (3) 少年教育

子どもたち自身が社会の変化に柔軟に対応できる「生きる力」を育むため、関係機関が連携して、青少年の健全育成に取り組む社会の形成を推進するとともに、次代を担うジュニアリーダー養成事業の開催や、さまざまな体験・交流の場を提供している。

#### ① 富士市青少年問題協議会

青少年問題協議会は、地方青少年問題協議会法の規定に基づいて設置され、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する事項を協議するためのものである。令和4年度は、青少年相談センター事業について、講演会「青少年を取り巻くサイバー犯罪の事例と対策」及び意見交換を行った。

期 日：令和5年2月10日(金)

#### ② 子育て講演会

小中学校へ入学する子どもを持つ親を対象に、子どもの心理や最近の動向、しつけや問題行動への対処方法などについて学習することで、家庭教育や子育てのあり方を見直す機会を提供する。令和4年度は、学校側と調整し、新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえで開催した。

小学校 対象者 1,332人 開催校数 20校

中学校 対象者 2,011人 開催校数 15校

#### ③ 富士市・雫石町少年交流事業

平成16年度から、富士市と雫石町の小学生が隔年で交互に訪問しあい、施設見学や体験学習などを通して友情を深めることを目的として実施している。

令和4年度は事前研修まで行ったが、新型コロナウイルス感染症の感染状況の悪化により、本研修、事後研修は中止となった。

事前研修：令和4年7月16日(土)

参加者：富士市の児童20人、班付リーダー5人、指導員、保健担当

内 容：航空機事故について、仲間づくり等



事前研修の様子

#### ④ 青少年体験交流事業「キズナ無限∞の島」

平成24年度の第29回を最後に廃止された「青少年の船」に代わって、宮城県気仙沼市の大島を研修地として、4泊5日の宿泊型体験研修を行い、一生懸命生きることの大切さとキズナの大切さをともに学ぶことを目的としている。

令和4年度は事前研修まで行ったが、新型コロナウイルス感染症の感染状況の悪化により、本研修は中止となった。後日、教育プラザで代替研修を行った。

代替研修：令和4年9月3日(土)

参加者：中学生31人、高校生3人、青年6人

内 容：ブロック別活動



代替研修の様子

#### キズナ無限∞の島同窓会 ～大島への感謝とキズナ～

平成26年度から行ってきたキズナ無限∞の島が、令和5年度から研修地を長野県に変更し新たな青少年体験交流事業として生まれ変わる事となった。いままでお世話になった気仙沼市大島に感謝を伝えること、研修を通して知り合った仲間同士が再び会う機会を設けることを目的に実施した。

期 日：令和5年3月11日(土)

参加者：97人

## ⑤ ジュニアリーダー養成事業

子どもたち自身の手によって子ども会活動ができるように、活動の担い手となる中学生、高校生の指導者「ジュニアリーダー」を養成し、子ども会活動の発展を図るものである。

### 〔ジュニアリーダー養成研修会〕【基礎編】

期 日：令和4年5月15日(日)

参加者：30人(内世話人4人)

内 容：子ども会に関すること(意義・目的・組織)

ジュニアリーダーに関すること(役割・心構え・態度)

### 〔ジュニアリーダー養成研修会〕【安全編】

期 日：令和4年6月26日(日)

参加者：22人

内 容：活動を行う上でのKYT(危険予知トレーニング)

### 〔夏のジュニアリーダー養成講習会〕(台風により中止)

期 日：令和4年8月13日(土)～

令和4年8月14日(日)

内 容：野外活動、野外炊事、ゲーム等の手法の学習

### 〔ジュニアリーダー養成研修会〕(実技編) ※夏のジュニアリーダー養成講習会代替事業

期 日：令和4年11月6日(日)

参加者：23人

内 容：野外活動、ゲーム等の手法及び活動進行の学習

### 〔インリーダー養成講習会〕

期 日：令和4年11月19日(土)～

令和4年11月20日(日)

参加者：19人(内スタッフ5名)

内 容：ジュニアリーダーに関すること(役割・心構え・態度)

### 〔ジュニアリーダー養成研修会〕【総合編】

期 日：令和5年3月19日(日)

参加者：13人

内 容：アイスブレイク等の手法や活動の計画と進行方法の学習

### 〔春のジュニアリーダー養成講習会〕

期 日：令和5年3月25日(土)～

令和5年3月26日(日) 参加者47人(内スタッフ28人)

内 容：野外活動、野外炊事、キャンドルファイヤー等

## ⑥ 青少年活動助成事業

次代を担う青少年の健全育成を目的として、青少年や各種団体の活動を支援するため、青少年の健全育成に取り組んでいる団体に対して、助成を行った。



## (4) 青年教育

青年が自らを磨き、社会的資質の向上を図る機会の場を提供するため、勤労青年に対する学習支援や、青少年指導者の養成講座を開催している。

### ① はたちの記念式典（旧称：成人式）ほか関連事業

《名称変更について》

令和4年4月1日から民法改正により、成年年齢が18歳に引き下げられたため、式典名称をこれまでの「成人式」から「はたちの記念式典」に変更した。

#### はたちの記念式典

関係機関・団体の協力を得て、20歳を迎える方々の、大人としての責任を改めて促すとともに、地元愛の醸成を推進するため実施した。令和4年度同様、新型コロナウイルス感染症対策として、会場にて中学校ごと2つに分けた2部形式で式典を行った。

日 時：令和5年1月8日（日）13：00～13：50、15：30～16：20

場 所：富士市文化会館（ロゼシアター）大ホール

内 容：オープニング（富士高校書道部パフォーマンス（映像））、励ましの言葉、お祝いの言葉、記念品贈呈、はたち応援プログラム（はたちの記念式典実行委員会企画のライド上映、恩師メッセージ）、市立高校チアリーダー部パフォーマンス

参加者：1,754人（参加率68.4%：該当者2,563人）

#### 令和3年成人式代替事業「#フジハタチ+2 ～再会の場～」

新型コロナウイルスの影響により、会場開催からWEB配信での開催及び撮影スポットの設置とインスタグラムを活用したイベントに変更したことにより、実際に集まる機会が失われた令和3年富士市成人式の対象者に、成人式とは違った形で、旧友と再会し、旧交を温める機会を提供するために実施した。

日 時：令和5年1月9日（月）15：30～16：00

場 所：富士市文化会館（ロゼシアター）大ホール

内 容：これまでのあゆみ、検討委員からのメッセージ

参加者：165人（参加率6.5%：該当者2,539人）

#### もうひとつのはたちの記念式典

日 時：令和5年1月15日（日）10：55～11：15

場 所：富士市教育プラザ

内 容：励ましの言葉、お祝いの言葉、記念品贈呈、応援プログラム（書道パフォーマンス、富士特別支援学校恩師メッセージ）

参加者：17人

#### 令和5年富士市はたちの記念式典の映像配信

掲載日：令和5年1月18日（水）～24日（火）

掲 載：富士市ウェブサイトはたちの記念式典ページ内からのリンクによる富士市公式YouTubeアカウントに掲載

内 容：オープニング（富士高校書道部パフォーマンス（映像））、励ましの言葉、お祝いの言葉、記念品贈呈、応援プログラム（はたちの記念式典実行委員会企画のライド上映、恩師メッセージ）、市立高校チアリーダー部パフォーマンス

視聴数：651回



### 18歳新成人への祝意メッセージ送付事業

令和4年4月1日から、民法の改正により成年年齢が18歳に引き下げられたため、18歳の門出の時期に、成人を迎えられたことを祝い、新成人としての自覚を促し、今まで育ってきた環境を改めて見つめ直す機会を提供するため、あたたかみのある祝意メッセージを送付した。

対象者：2,472人

時期：令和5年3月上旬発送

内容：市長メッセージカード・新成人応援動画（QRコード）・ほうじ茶一煎パック



はたちの記念式典の様子



18歳新成人への祝意メッセージ

### ② ジャンプアップスクール・ふじ（旧勤労通信学園富士学習会）

働きながら高校の通信課程で学習しようとする人の学習援助（数学、英語の講師派遣）と情報交換の場を提供した。

この学習会は静岡県立中央高校通信制課程の特別活動に位置付けられている。

期日：令和4年5月～令和5年2月

場所：教育プラザ

※近年、参加者数や出席率が減少してきていることや、本学習会を特別活動に位置付けている静岡県立中央高校からも廃止の申し出があったことから、令和4年度を最後に、「ジャンプアップスクール・ふじ」を廃止することとなった。

今後も引き続き、学生の居場所・学習の場として、教育プラザの開放を継続していく。

### ③ 青少年育成ボランティア養成講座

人と人がつながることの温かさや心強さを再認識するとともに、積極的に、地域へ参画することができる人材の育成を目的に青少年健全育成活動や社会貢献活動に参加する講座を実施している。

また、静岡県が実施している級別青少年指導者認定事業の上級位認定を支援する。

令和2、3年度に続き令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。

## (5) 青少年教育センター

青少年教育センターは、青少年を対象に文化や教養と社会性を身につけるための教養講座を提供したり、サークル活動など青年の集う場を提供したりすることを目的としている。また、青少年団体の活動拠点にもなっている。

### ① 青年教養講座の開設

市内に在住、または在勤(在学)の青年を対象に、余暇を利用して仲間づくりや豊かな教養と社会性を身につけるために開設している。なお、新型コロナウイルス感染症対策として定員を減らす等の対策を講じ開講した。

青年講座 サイクリング、油絵、SDGs 講座ほか 31 講座 受講生 284 人



リラクゼーションヨガ



サイクリング



油絵BASIC

### ② サークル活動

青年のニーズの多様化と意識の変化に対応できるように、サークル活動を積極的に推進している。

	サークル名	活動内容	人数
1	BTM	バトミントン	15人
2	SUN	3on3	9人
3	あすなる	硬筆	13人
4	グループ青春	軽音	5人
5	ギターを続けよう	ギター	5人
6	Make a bread	パンづくり	5人
7	すばいくる☆	ソフトバレー	13人
8	みんなでミシン	ミシン	5人
9	コンパニエロ	フットボール	11人
10	気まぐれ美術部	絵画	6人

### ③ 青少年教育センター利用者会

本センターの青年教養講座、サークル活動をしている青年が、利用者会を組織して交流会や体験学習等の活動を通し、相互の親睦と活動の一層の推進を図っている。また、市民のニーズに対応した社会貢献活動も幅広く行っている。

※ 青少年教育センター利用者会 会員数 136人



灯の路



避難訓練

(令和4年度)

	事業	日時	場所
1	避難訓練(火災)	5月20日	教育プラザ1階
2	イベント 「灯の路～手づくりの光ゆらめく空間～」	12月17日	〃
3	青少年センター利用者会総会	5月30日	〃
4	第2回利用者会	11月15日	〃
5	青少年センター利用者会役員会	随時	〃
6	ボランティア(清掃活動)	5月14日	
7	ボランティア(チャリティマルシェ)	7月10日	
8	はたちの記念式典スタッフボランティア	1月8日	ロゼシアター
9	ボランティア(国際交流フェア)	2月5日	ふじさんめっせ

④ 青少年教育センター利用状況(令和4年度)

区分	計(人)	計(回数)
青年教養講座	964	134
青年サークル	631	123
青少年教育センター利用者会	30	3
社会教育課	1,777	119
青少年相談センター	2,387	262
富士市教育委員会	3,462	104
市役所関係	3,642	169
社会教育団体	2,187	132
その他	4,952	365
合計	20,032	1,411

## (6) 青少年相談センター

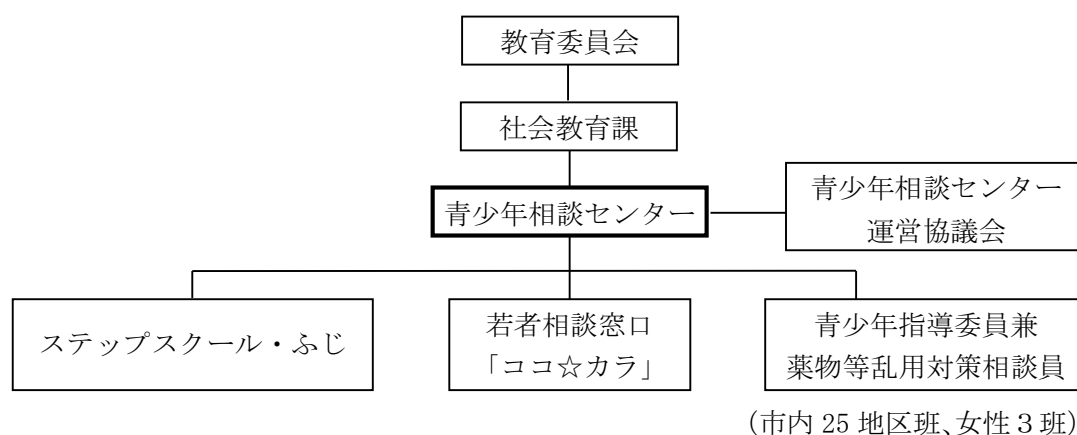
青少年相談センターは、次代を担う青少年の健やかな成長を支援するために、青少年ならびに保護者等を対象とした相談業務、不登校児童生徒を対象とした「ステップスクール・ふじ」、非行の未然防止を図る補導活動、青少年を取り巻く環境の浄化活動、そのほか関係機関・関係諸団体との連携の中で行う非行および不登校対策や、地域ぐるみで取り組む青少年健全育成活動等を推進し、青少年支援のセンターとしての役割を担っている。また、ニートやひきこもり、不登校など社会生活を営む上で困難を抱える若者やその家族を支援するため、若者相談窓口「ココ☆カラ」を開設している。

### ① 富士市青少年相談センターの組織・機構

設置主体 富士市（富士市教育委員会）

設置年月日 昭和42年4月1日

所在地 富士市八代町1番1号 TEL 52-4152 FAX 52-3737



### ② 富士市青少年相談センターの活動

#### ア 非行防止活動

青少年指導委員(126名)、青少年相談センター職員を中心に警察官、少年警察補導員、少年警察協助力員、まちづくり協議会青少年育成部門、民生児童委員、保護司、PTA役員等の協力を得て補導活動を実施している。

(7) 通常補導……地区内巡回補導、市街地補導

(4) 特別補導……祭典補導、県内一斉少年補導

#### イ 青少年健全育成活動

(7) 「富士市青少年の非行・被害防止強調月間」

- ・「社会を明るくする運動」と連携し、街頭啓発キャンペーンを実施
- ・広報、啓発活動
- ・健全育成諸行事、諸活動（講演会、パレード、啓発活動等）
- ・県内一斉少年補導、県内一斉立入調査、環境浄化活動等

(4) 「富士市子ども・若者育成支援強調月間」

- ・地区生涯学習推進会等の団体主催による、地域における健全育成諸行事への協力

#### ウ 社会環境浄化活動

コンビニ、遊技場、玩具店、書店、マンガ喫茶、カラオケボックス等への立入調査をはじめ、青少年に有害な陳列等の定期調査等を行っている。

#### エ 相談業務

青少年の健全な発達を支援するため、適切な助言や指導を行い、問題解決を図っている。相談

には「面談」と「電話相談」があり、「面談」では、来所・通所・訪問相談を行っている。また、臨床心理士による面談を実施している（要予約）。「電話相談」は相談員が「青少年相談ふじ（愛称「ほっとテレフォン・ふじ）」で相談に応じ、Eメールでの相談も受け付けている。更に、不登校児童生徒を支援するため「ステップスクール・ふじ」を開設している。

(ア) 面談……青少年、保護者、学校教職員など。（来所・通所・オンライン）

(イ) 電話相談……青少年相談ふじ『愛称：ほっとテレフォン・ふじ』（青少年、保護者）

(ウ) 訪問相談……学校訪問、家庭訪問など。

◇相談日と時間 面談 月曜～金曜 9時00分～16時30分

電話相談 月曜～金曜 9時30分～16時30分

(エ) 「ステップスクール・ふじ」

不登校の児童生徒に場所と時間を提供し、一人一人に応じた支援を進める中で、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立していくことを目指していく。

個にあわせた学習支援、不安や悩みを取り除くための継続的な面談、仲間づくりや社会との関わりを学ぶ自然体験学習、青少年相談員による訪問指導等を実施している。

(オ) 「ほっとデジタル相談・ふじ」

小中学校全児童生徒が使用するタブレットを活用した相談を令和5年2月から実施している。

a 「ステップスクール・ふじ」開所日

☆毎週月曜日～金曜日の8時00分～18時00分までを基本としている。

☆子どもが自分のペースにあわせて利用できる。

（例えば午前中のみや、午後のみ、短時間のみ等の利用も可能）

☆土・日曜日・祝日は休み。長期休業中は、基本的に休み。

☆給食はなし。昼食が必要な場合はお弁当を持参する。

b 「ステップスクール・ふじ」の特徴

☆一日の予定は、自分自身で決められる。

☆勉強がわからないところは相談員と一緒に考える。

☆悩みがある場合はその都度相談員が相談に乗る。

さわやかタイム	8:00～8:50	朝の活動
学 び 1	9:00～11:20	学びの時間
運 動 1	11:30～12:00	スポーツ活動
<昼食・昼休み>	12:00～13:00	昼食・休憩・自由時間
学 び 2	13:00～14:50	学びの時間
運 動 2	15:00～15:30	スポーツ活動
ふれあいタイム	15:30～18:00	交流活動

c 体験学習

☆自然の大切さや仲間づくり、他者とのかかわり方を学ぶために、一か月に一回程度、体験学習を行っている。（カレーづくり、ものづくり、スプリングコンサート、遠足等）

## オ 子ども・若者育成支援事業

ニート・ひきこもり等の社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者について、関係機関と連携し、支援していく。

(ア) 子ども・若者支援協議会 代表者会議1回・担当者会議1回

(イ) 若者相談窓口「ココ☆カラ」

開所日時 火～土曜日 9時00分～17時00分

対 象 者 富士市在住・在学の、概ね中学校卒業時から39歳までの子ども・若者

事業内容 ・相談、居場所、体験活動、就労支援  
 ・若者サポーター養成講座  
 ・茶話会（家族会） ・合同相談会

## カ 広報活動

青少年問題への関心を高めるためのチラシや、子どものしつけや家族のあり方を啓発するリーフレット等の配布及び「青少年相談センターだより」を発行（年4回）している。

## キ 研修活動

青少年相談センター職員、学校関係職員、青少年指導委員、相談員の資質の向上を図るため、下記の研修を行っている。また、市民を対象に講座を開設し、望ましい「人との関わり方」について学習できる機会を設けている。

- |                             |                    |
|-----------------------------|--------------------|
| (ア) 青少年指導委員全体研修会            | (イ) 青少年指導委員ブロック研修会 |
| (ウ) 電話相談機関連絡会研修会            | (エ) 相談センター所員研修     |
| (オ) 不登校等児童生徒対策研修会           | (カ) 不登校等児童生徒の保護者教室 |
| (キ) 「ステップ・スクール・ふじ」の保護者・担任面談 | (ク) カウンセリング講座      |

## ク 関係機関・団体との対策会議

学校・警察・児童相談所・こども家庭課などと常に緊密な連携を保ちつつ、問題行動を起こした少年やその家庭への指導・援助に努めている。具体的には、市の青少年問題を考える青少年問題協議会をはじめ、非行防止の具体策を協議する学校警察連絡協議会、小学校生徒指導主任者会、中学校生徒指導研究会、青少年指導委員による補導措置会議への参加や、関係機関の共通理解を深めるための青少年対策関係機関連絡会、不登校児童生徒への対応を研究し対策を協議する不登校等児童生徒対策連絡会及び不登校等児童生徒対策研修会を開催している。

また、文部科学省・内閣府や静岡県内の青少年対策本部が打ち出す青少年対策の基本方針を確認しながら、県補導センター連絡協議会、東部補導センター連絡協議会、県電話相談機関連絡協議会等にも積極的に参加している。

## ③ 補足資料(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

### ★青少年指導委員会

青少年指導委員会は、地区班25班、女性班3班の計28班を組織し補導活動を行っている。

〈通常補導〉 月2回の通常補導では、地区班は19時から21時頃の間に区内を、女性班は土曜の日にゲームセンター等を巡回し補導活動を実施。

〈祭典補導〉 大がかりなイベント(祇園祭・富士まつり・甲子秋まつり・毘沙門天大祭)の際、会場及びその周辺を巡回し補導活動を実施。

〈大型店舗特別補導〉

大型店舗の店内、及びその周辺を巡回し補導活動を実施。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症拡大のため、青少年の外出も減少し、青少年指導委員会の諸活動も大きく制限された。

通常補導は規模縮小・回数減となり、他の諸活動も多くが中止となった。

総補導件数は135件(前年度の125件から10件増加)である。行為種別では「その他」の「その他」が最多で、駅やコンビニ、公園などで声掛けをしたものがほとんどである。

### ★青少年指導委員による補導活動

活動名	出勤回数	参加人数	補導件数	特記事項
通常補導(地区巡回)	671	2,113	89	規模縮小、回数減
祭典補導(祇園祭、富士まつり、甲子秋まつり、毘沙門天大祭)	3	216	46	富士まつり以外実施
大型店舗補導、通学補導	—	—	—	事業を中止
補導措置会議	10	283	—	回数減
合計	684	2,612	135	

### ★県内一斉少年補導

参加人数 夏季 554人 冬季 659人

参加者

青少年相談センター職員、PTA役員、警察官・少年警察補導員・少年警察協働員・少年指導委員、女性団体役員、教育委員会職員、民生児童委員・保護司、青少年指導委員、地区まちづくり協議会青少年育成部門、地区防犯協会役員、地域安全推進員 他

## ★補導状況

(単位：件)

		小学生	中学生	高校生	その他	有職少年 無職少年	合 計
飲	酒	0	0	0	0	0	0
喫	煙	0	0	0	0	0	0
深	夜 徘徊	0	0	0	0	0	0
不	良 交友	0	0	0	0	0	0
怠	学 ・ 怠 業	0	3	0	0	0	3
シンナー等薬物乱用		0	0	0	0	0	0
不健全 娯 楽	ゲームセンター入場	2	0	0	0	0	2
	パチンコ店入場	0	0	0	0	0	0
	その他の風俗営業入場	0	0	0	0	0	0
暴 走 行 為		0	0	0	0	0	0
自転車の2人乗り・無灯火		0	0	4	1	1	6
危 険 な 遊 び		6	0	0	0	0	6
そ の 他	帰 宅	1	0	42	13	0	56
	マ ナ ー	0	29	14	4	0	47
	そ の 他	2	4	7	2	0	15
合 計		11	36	67	20	1	135

## ★来所相談及び通所・「ステップスクール・ふじ」

(単位：人)

相談対象者	人数	来 所 者	人数	相 談 内 容	人数
就学前・小学生	786	家 庭	667	学 校 生 活	1
中 学 生	3,649			対 人 関 係	0
高 校 生	24	学 校	302	進 路 ・ 適 性	0
有 職 少 年	5	利用・ステップ関係	3,508	※非社会的行動	4,468
無 職 少 年	1	諸 機 関	67	心 身 の 発 達	33
そ の 他	89	そ の 他	10	反社会的行動	0
				そ の 他	52
計	4,554	計	4,554	計	4,554

※非社会的行動は不登校

## ★面談件数・利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面談件数 (件)	28	14	18	13	6	23	22	17	9	16	12	7	185
利用人数 延べ(人)	44	114	238	172	48	354	383	478	389	445	504	339	3,508

## ★電話相談「ほっとテレフォン・ふじ」の受信状況

○受信件数 66件 ○業務日数 244日

○学校、その他・男女別受信状況

(単位：件)

	小学生	中学生	高校生	他の学生	有職	無職	保護者	祖父母	一般	層不明	計	不明(無言)
男	1	1	3	1	0	0	1	0	0	1	8	35
女	1	2	1	0	0	0	14	1	4	0	23	
計	2	3	4	1	0	0	15	1	4	1	31	66

## ○学校、その他・内容別受信状況

(単位：件)

	小学生	中学生	高校生	他の学生	有職	無職	保護者	祖父母	一般	層不明	計
A学校生活	1	1	0	0	0	0	8	0	0	0	10
B対人関係	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
C進路適性	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
D非社会的	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	4
E心身発達	0	1	3	0	0	0	3	0	0	0	7
F反社会的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	35
Gその他	0	1	0	0	0	0	3	0	2	1	7
計	2	3	4	1	0	0	15	1	4	36	66

\*D非社会的は不登校、F反社会的は無言

★メール相談 相談総数 年間3件

★若者相談窓口相談件数

【新規相談】(主訴による分類)

年齢区分	家庭				学校			医療・福祉			社会				その他	計
	親子関係	虐待・暴力	非行・犯罪	その他	いじめ	学業・進路	その他	発達障害	精神疾患	その他	生活支援	就労支援	対人関係	その他		
就学前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19	3	0	0	0	0	27	5	0	0	0	0	8	4	6	5	58
20～29	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14	0	6	4	27
30～39	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	1	2	3	12
40～	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	1	1	3	10
計	7	0	0	0	0	27	6	0	1	0	3	27	6	15	15	107

【新規相談】(状況による分類)

年齢区分	不登校	ひきこもり				その他	計	有職	無職	計
		自室内	家庭内	コンビニ等外出	趣味外出					
就学前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15～19	21	1	1	0	0	35	58	2	56	
20～29	0	0	2	1	2	22	27	4	23	
30～39	0	0	1	1	1	9	12	1	11	
40～	0	0	0	0	0	10	10	0	10	
計	21	1	4	2	3	76	107	7	100	

【継続相談】 年間 1,172 件

【合計相談件数】 年間 1,280 件

【居場所利用人数】 年間 延べ2,903 人

【アウトリーチ】 年間 182 人に対して 305 回訪問



## (7) 少年自然の家

少年たちが自然とのふれあいを通じて集団的な生活や活動をする中で、自然に対する心情や社会生活における基本的な態度を養うなど、その自発性、社会性を助長して、豊かな人間形成を図るための社会教育施設である。平成 28 年度から指定管理者制度を導入し、より一層の施設利用促進に努めていく。

### ① 教育目標

豊かな自然の中で学校や家庭では得がたい体験をさせることにより、次の目標の達成を図る。

- ・自然に直接ふれることにより、自然探求や野外活動に関心を持たせ、活動を通じて自然愛護の心を養うとともに、共生の心と健康の増進を図る。
- ・野外活動を通じて、自ら考え行動する態度を育てる。
- ・集団宿泊生活を通じて、規律を重んじる態度や奉仕の精神を養うとともに、助け合いの連帯意識を育てる。

### ② 施設の概要

所在地 富士市大淵 10847-1

T E L 0545-35-1697

F A X 0545-36-2799

#### ア 少年自然の家

昭和 49 年 10 月 1 日開設

建物面積 (2,697.16 m<sup>2</sup>)

鉄筋コンクリート造 3 階建

収容人員 250 名

##### ・ 1 階

事務室 医務室 相談室 浴室 2 室

トイレ リネン室 宿直室 倉庫

ボイラー室等

##### ・ 2・3 階

宿泊室 10 室 リーダー室 2 室 トイレ

リネン室

##### ・ その他

丸火体育館 (鉄筋コンクリート造一部 2 階建  
面積 916.4 m<sup>2</sup>)

食堂 研修室兼宿泊室 会議室 リーダー室  
ボンベ室他

#### イ 丸火青少年の家

昭和 41 年 7 月 11 日開設

平成 21 年 4 月 18 日改築開所

建物面積 (264.55 m<sup>2</sup>)

木造平屋造

収容人員 60 名

(「ふじ」、「あしたか」の 2 部屋

各部屋定員 30 名、2 団体まで利用可能)

宿舎 炊飯棟 調理棟 トイレ 倉庫 広場



少年自然の家



↑ 丸火体育館

食堂 ↓



丸火青少年の家

### ③ 事業

丸火自然公園の豊かな自然環境と宿泊施設という特徴を生かし、青少年が自然体験学習を通して、社会性・協調性を養う機会を提供するものとして、指定管理者が事業を展開している。

平成28年度から利用団体の範囲の拡大を図り、学習活動のための施設利用を積極的に受け入れている。従前の利用団体（野外活動を目的とした、市内小学校5年生のみどりの学校をはじめとする市内外の幼稚園・小中学校、及び子ども会・ボーイスカウトなどの少年団体）の利用は、最優先に受け入れ、対応している。

利用に際しては、利用者には利用目的の明確化を求め、事前指導や協議の際には安全面への配慮に重点を置き、目的にあった活動展開ができるよう十分な支援を行う。

#### ア 継続事業

教育委員会より継承して指定管理者が令和4年度開催した事業は下表のとおりである。

事業名	期 日	対 象	人数	ね ら い
ししどて学級 年間5回	6月4日(土)	保護者 説明会	64	「ししどて」は、丸火に残されている猪を追い込む堤で、鎌倉時代から伝えられている。この歴史ある地で、自然をベースに、仲間づくりや自然活動などさまざまなプログラムを通じて、自立心や他者への思いやりの心を育む。
	①7月2日(土)～3日(日) ②8月19日(金)～21日(日) ③10月8日(土)～9日(日) ④11月12日(土)～13日(日) ⑤12月10日(土)～11日(日)	市内小学校 4～6年生		
星座教室	2月4日(土)～5日(日)	市内小学校 4～6年生	50	丸火から見える天体を観察し、宇宙の不思議さや星座を学び、星や宇宙に関する興味関心を高める。
春の家族自然 のつどい	4月17日(日)	市内在住・ 在勤の家族	50	自然観察、野草料理を通じて、自然愛護の心と家族の絆を育む。
秋の家族自然 のつどい	11月6日(日)	市内在住・ 在勤の家族	30	秋の丸火の自然休養林を散策し、紅葉の鑑賞、クイズ等を実施し、森の自然を堪能する。
冬の家族自然 のつどい	2月12日(日)	市内在住・ 在勤の家族	30	丸火自然公園で洞窟探検を含む謎解きラリーを実施し、冬の森を家族で楽しむ。



春のつどい



ししどて学級



冬のつどい

## イ 自主事業

指定管理者が自主事業として令和4年度に実施した事業は下表のとおりである。

事業名	期 日	対 象	人数	ね ら い
利用団体指導者 研修会	4月12日(火)	小・中学校 の教諭等	34	少年自然の家の利用方法及び 活動プログラムと野外活動の 実技について研修する。
	6月12日(日)	少年団体等 の指導者	30	
防災デイキャンプ	3月11日(土)	親子	6組	青少年の家を拠点に包装食袋 で野外調理等の防災プログラ ムを体験する。
オリエンテーリング を楽しもう	3月19日(日)	小学生以上	100	丸火自然公園で初心者から経 験者までコースにあわせてオ リエンテーリングを楽しむ。
初めての親子 キャンプ	5月4日(水祝) ～5日(木祝)	親子	4組	青少年の家を拠点にテント泊 体験を行う。
丸火の森の音楽会	4月24日(日) 5月22日(日) 6月26日(日) 7月17日(日) 8月28日(日) 9月18日(日) 10月16日(日) 11月27日(日) 12月18日(日) 1月15日(日) 2月19日(日) 3月12日(日)	制限なし	30	ゴスペルやアコースティック 楽器を使ったコンサートを行 う。
星座観望会	10月15日(土) 1月8日(日) ※5月8日(日) ※8月11日(木祝) ※9月24日(土) ※荒天のため中止	小学生以上	各30	施設屋上での星座観望を通じ て、親子で星と親しむ。
星座観望会	12月2日(金) 12月3日(土) 1月29日(日) ※1月28日(土) ※降雪のため中止	小学生以上	各30	施設屋上での星座観望を通じ て、親子で星と親しむ。 曇天・雨天でもスライド上映 等を行います。
燻製づくり	3月5日(日)	制限なし	30	森のチップで自家製燻製づく りを体験する。
スパイスからの本格 カレーづくり	2月23日(木祝)	親子	30	親子で外遊びを楽しみなが ら、野外料理等を通じて家族 の絆を深める。
火起こし道場	10月1日(土)	小学生高学年	12	さまざまな火起こしの着火実 験を実践して、起こした火で 野外調理を楽しむ。

ちびっこ森の探検隊	8月23日(火) 8月24日(水) 8月25日(木) 12月23日(金) 12月24日(土) 12月25日(日) 3月22日(水) 3月23日(木) 3月24日(金)	年中・年長の 園児	各 14	丸火自然公園内で長期休み期間中の平日、日帰りの預かり保育を実施。参加者は作戦会議後秘密基地づくりなど丸火の自然を楽しむ。
ちびっこ森の探検隊 (小学生編)	9月23日(金祝) 2月11日(土祝)	小学校低学年	各 20	参加者と作戦会議を実施し、秘密基地づくりなど丸火の自然を楽しむ。
ノルディック ウォーキング	4月30日(土) 5月28日(土) 7月23日(土) 8月31日(水) 9月28日(水) 10月30日(日) 11月30日(水) 12月14日(水) 2月15日(水) 3月15日(水) ※6月22日(水) ※1月14日(土) ※荒天のため中止	中学生以上	30	丸火自然公園周辺でノルディックウォーキング(2本のポールを使って歩く運動)と自然を楽しむ。



防災デイキャンプ



はじめての親子キャンプ



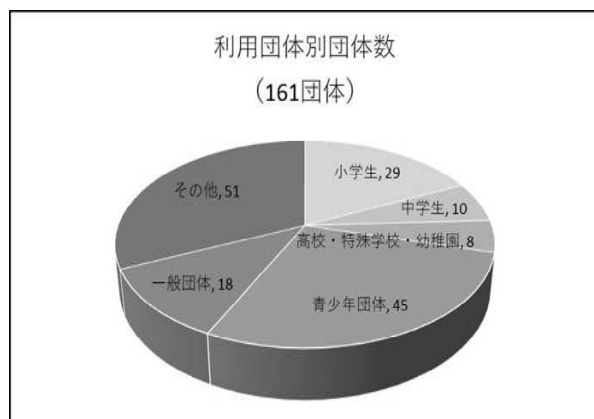
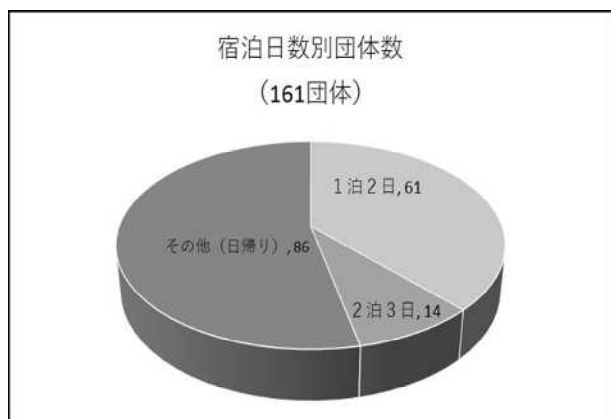
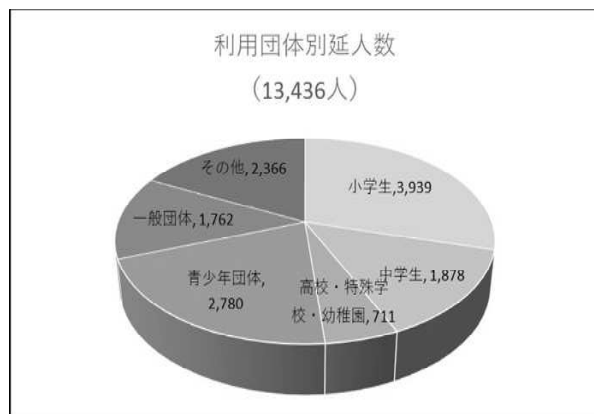
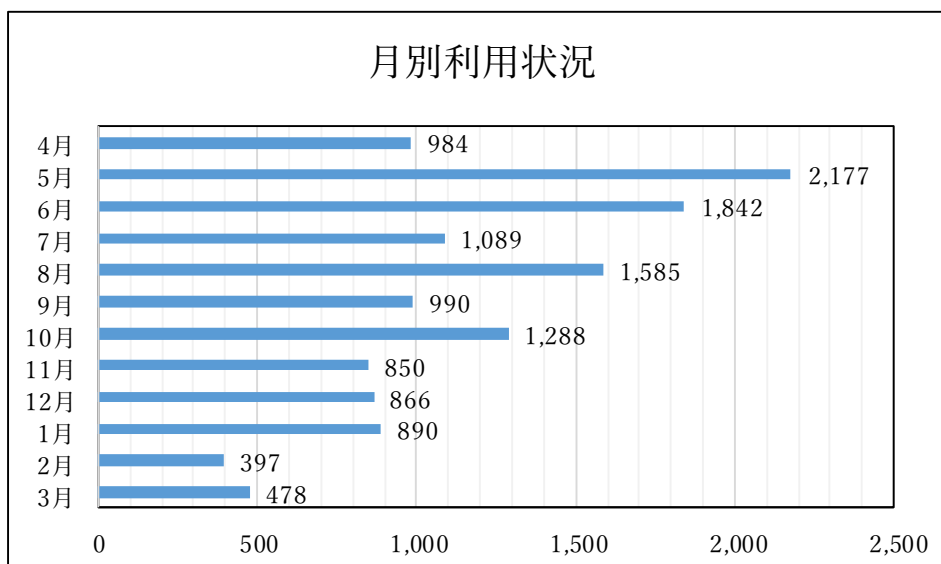
カレーづくり

#### ④ 利用状況

市内小学校5年生対象の「みどりの学校」をはじめ、市内外の小中学生、青少年団体、一般団体の利用があり、その数は延べ13,436人であった。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年度に引き続き宿泊数に50%の利用制限を設けた。利用する学校団体は宿泊利用が日帰り利用に変更となるケースが多かったが、緊急事態宣言等で休所になる期間はなく、小規模の一般団体の宿泊利用があり、昨年度と比較して延べ人数で4,156人増えた。

#### 令和4年度 月別利用状況（少年自然の家）





## (8) 文化財の保護

市内には、有形・無形の文化財が数多く残されている。文化財は、市の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、市民生活は文化財を始めとした歴史を基盤として成立している。

そこで、指定文化財を始めとする文化財を適切に保護・保存していくための「文化財保護管理事業」、祭礼や習俗等の民俗文化財や、地中に埋まっている埋蔵文化財等の「文化財調査事業」、歴史講座や文化財紹介図書の発行により文化財を周知し、理解を深めることを目的とした「文化財啓発事業」を実施している。

### ① 文化財の保護管理

先人が守り伝えてきた貴重な文化財を市民共有の財産として維持管理し、後世に継承するため、市所有（管理）文化財の保護・活用事業を実施した。民間が所有する文化財に対しては、補助事業及び助言等を行い、適正な保護・活用を促した。

### ア 文化財保護審議会の開催

文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議した。

回	開催日・会場	審議事項
1	令和4年8月23日（火） 富士山かぐや姫ミュージアム講座室	・富士市文化財保存活用地域計画について ・市指定無形文化財「大北のカワカンジー」について ・六所家旧蔵資料について
2	令和4年12月8日（木） 市庁舎8階 政策会議室	・市指定史跡「雁堤」周辺工事について
3	令和5年3月23日（木） 富士山かぐや姫ミュージアム講座室	・市指定史跡「雁堤」周辺工事について

### イ 県指定文化財

市指定文化財東平第1号墳出土品が、令和4年12月2日付けで県指定文化財に指定された。



東平第1号墳鉄製品出土品



東平第1号墳出土品

## ウ 指定文化財等の保護管理

- ・民間所有の指定文化財（対象 40 件）に対して、所有者の維持管理と積極的な保存活用を促進するために文化財報償金を支出した。
- ・天然記念物薬剤散布作業（8 ヶ所）を樹木の特性に合わせて、年間 1 ～ 3 回実施した。
- ・千人塚古墳他 8 ヶ所で除草・清掃作業を実施した。

## エ 文化財補助事業

- ・重要文化財古谿荘の防災設備保守点検に対して、文化財保存事業費補助金を交付した。
- ・重要文化財古谿荘の修理事業に対して、文化財保存事業費補助金を交付した。
- ・無形民俗文化財の伝承活動のために、木島のナゲダイマツ及び鶴無ヶ淵神明宮の御神楽保存事業の事業実施団体に対して文化財保存事業費補助金を交付した。

## オ 千人塚古墳整備事業

保存活用計画に基づき、基本設計の作成を行った。また、官地取得に伴い、東海財務局と調整し、時効取得の申請を行った。ほか、整備用地隣接地の土地の寄附を受けた。

## カ 富士市文化財保存活用地域計画認定記念講演会の開催

- ・令和 2 から 3 年度にかけて策定した富士市文化財保存活用地域計画について、令和 4 年 6 月に認定申請を行い、7 月に文化庁の認定を受けた。計画の内容や今後の取り組みについて広く市民に伝えることを目的に、「文化財の未来を考える」をテーマとして講演会を開催した。
- ・開催日時 令和 5 年 3 月 4 日（土） 午後 1 時から午後 4 時 20 分
- ・会場 ラ・ホール富士 2 階多目的室
- ・記念講演 講師 岡本 公秀 氏（文化庁 地域文化創成本部 文化財調査官）  
滝沢 誠 氏（筑波大学 人文社会系教授）

## キ 国重要文化財「古谿荘」の保護管理・整備・活用事業

平成 27 年度に策定した保存活用計画を基に、令和 3 年度から 10 か年をかけて修復工事を行う予定である。まず、第 1 期工事として、管理棟、板蔵の部分解体修理、耐震補強等を所有者が行っている。本市は補助金の支出のほか月 1 回の工程会議等に参加し、修理事業の支援を行っている。

## ② 文化財愛護と普及

各種講座等や出版物の刊行を通して、文化財を市民に周知するとともに文化財愛護意識の醸成を図った。

## ア 市政いきいき講座

- ・講座名 「まちの魅力再発見！文化財講座」（講座No.29）  
令和 4 年度実績 7 講座 209 人参加
- 「発掘！地元の古代遺跡～富士のふもとの考古学講座」（講座No.30）  
令和 4 年度実績 1 講座 24 人参加
- 「文化財を地域で守り、活かすためには」（講座No.31）  
令和 4 年度実績 1 講座 24 人参加

## イ 文化財説明板

《修繕》 15 箇所

「吉原宿案内標識」破損箇所修繕、「東海道案内標識」修繕 13 箇所、「見よう歩こう富士市の東海道」看板修繕

## ウ 沼津市・富士市連携事業

「狩野川・富士川が作り出した古代社会～沼津・富士の原風景を考える～」

### (7) 特別展示

令和5年3月6日（月）から3月19日（日） 会場：沼津市文化センター

### (4) 講演会

令和5年3月12日（日） 午後1時から午後4時30分

会場：沼津市立図書館4階視聴覚ホール

講師：三舟 隆之 氏（東京医療保健大学教授）

「駿河・伊豆の古代社会の成立 カツオがつなぐ都と駿河・富士」

## エ 佐野鼎講演会（富士市・開成学園連携協定事業）

・開催日時 令和4年10月1日（土）、15日（土）、29日（土）

午後1時30分から午後3時

・会場 ラ・ホール富士2階多目的室

・内容 第1回 駿河国富士郡が輩出した幕末・維新の賢人佐野鼎と共立学校

（開成学園の前身）の創設

講師：野水勉（開成中学校・高等学校校長）

第2回 幕末に地球を2周！ 富士が生んだ偉人・佐野鼎 49年の足跡と人物像を探る

講師：柳原三佳（ジャーナリスト、ノンフィクション作家）

第3回 万延元年遣米使節とその一員富士水戸島出身の佐野鼎

講師：松平和也（佐野鼎研究会代表）

## オ 第36回ふるさと芸能祭の開催

広く市民に郷土芸能について関心をもってもらい、伝統の継承が促されることを目的に、市内の芸能団体に出演してもらい、市民に郷土の芸能を披露した。

・日時 令和5年1月29日（日） 午後1時から午後4時

・会場 富士市文化会館（ロゼシアター） 中ホール

・入場者数 約300人

・出演団体 【富士市民俗芸能連絡協議会所属7団体】

雨乞い芸能保存会、国久保熊野太鼓保存会、原田清流子供太鼓保存会、天間太鼓保存会、鮫島まとい・太鼓保存会、小木の里太鼓保存会、東比奈諏訪神社大龍の舞保存会

・主管 富士市民俗芸能連絡協議会

## ③ 埋蔵文化財の保護と発掘調査

文化財保護法に基づき埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の周知とその保存に努め、包蔵地内外で行われる土木工事に対して、試掘・確認調査や本発掘調査を実施した。また、発掘調査によって得られた資料は、整理・報告書作成事業を行い、記録保存の措置をとった。

## ア 公共事業及び開発行為に伴う発掘調査

令和4年度に実施された発掘調査は55件で、確認調査を51件、本発掘調査を4件実施した。

（参考 令和4年度包蔵地照会件数 公共事業：54件、民間事業：800件）

### 【確認調査】

No.	遺跡名	区分	調査区分	期間	時代	遺構・遺物
1	天間沢遺跡	民間	確認	4/5		
2	東平遺跡	民間	確認	4/6	奈良・平安	ピット・土器・陶磁器



3	土手内・中原1号墳	民間	確認	4/28		
4	沖田遺跡	民間	確認	4/20～22		
5	三日市廃寺跡	民間	確認	4/12		
6	富士岡1古墳群	民間	確認	4/25		
7	中原遺跡	民間	確認	6/8		
8	柏原遺跡	民間	確認	4/28		
9	柏原遺跡	民間	確認	5/30		
10	沖田遺跡	民間	確認	5/25～27		
11	善徳寺跡。東泉院跡	民間	確認	6/7～9		
12	清水岩の上遺跡	民間	確認	6/17		
13	谷津原古墳群	民間	確認	6/15～16		
14	元吉原宿遺跡	民間	確認	6/27		
15	沢東A遺跡	民間	確認	7/7～8		
16	沖田遺跡	民間	確認	6/20		
17	天間沢遺跡	民間	確認	6/16		
18	舟久保遺跡	民間	確認	8/4		
19	東平遺跡	民間	確認	7/11～12	奈良・平安・中世	ピット・土坑・土器
20	清水岩の上遺跡	民間	確認	7/4	弥生	ピット・土坑・土器・石器
21	船津遺跡	民間	確認	7/20～25		
22	柏原遺跡	民間	確認	11/1～2		
23	比奈1古墳群	公共	確認	9/12～16	古墳	古墳・土器・石器
24	中原遺跡	民間	確認	9/15～20		
25	柏原遺跡	民間	確認	9/8～9		土器
26	三日市廃寺跡	民間	確認	9/26～28	奈良	竪穴建物・溝・ピット・土坑・土器・土製品
27	宇東川遺跡	民間	確認	9/20	縄文・古墳	ピット・土器
28	東平遺跡	民間	確認	10/3		
29	川坂遺跡	民間	確認	9/29～30		土器
30	国久保遺跡	民間	確認	10/20		土器
31	中桁・中ノ坪遺跡	民間	確認	9/22		
32	中原遺跡	民間	確認	10/6		
33	中吉原宿遺跡	民間	確認	10/4		炭化物集中地点・陶磁器
34	舟久保遺跡	民間	確認	10/18		
35	滝下遺跡	民間	確認	10/21		
36	善徳寺跡。東泉院跡	民間	確認	10/25		
37	沢東A遺跡	民間	確認	12/2～5		
38	東平遺跡	民間	確認	10/27		
39	中桁・中ノ坪遺跡	民間	確認	11/15		性格不明遺構・土器
40	天間沢遺跡	民間	確認	11/21		
41	東平遺跡	民間	確認	1/5～12	奈良・平安	竪穴建物跡・ピット・土器
42	川窪遺跡	民間	確認	1/30		土器
43	比奈1古墳群	公共	確認	1/23～25		土坑・土器
44	清水久保遺跡	民間	確認	3/9		
45	柏原遺跡	民間	確認	2/9～13	古墳～平安	ピット・土器
46	中桁・中ノ坪遺跡	民間	確認	2/7	奈良	竪穴建物跡・ピット・土器
47	三日市廃寺跡遺跡	民間	確認	2/9～10		
48	中桁・中ノ坪遺跡	民間	確認	2/7	奈良	竪穴建物跡・ピット・土器
49	三日市廃寺跡遺跡	民間	確認	2/21		
50	三日市廃寺跡遺跡	民間	確認	3/22		
51	会下遺跡	民間	確認	3/28		

【本発掘調査】

1	天間沢遺跡	民間	本調査	8月1日	縄文	
2	沢東A遺跡	民間	本調査	10/11～10/13	弥生・古墳	溝・土坑・ピット
3	川坂遺跡	民間	本調査	2/24～3/31	縄文・古墳・奈良・平安	石器、土器、陶磁器
4	中桁・中ノ坪遺跡	民間	本調査	2/27～3/17	奈良・平安	竪穴建物、土坑・ピット



中桁・中ノ坪遺跡本発掘調査状況



川坂遺跡本発掘調査状況

イ 埋蔵文化財整理・報告書作成事業

発掘調査が終了した遺跡の出土資料や記録の保存・整理作業を実施し、以下の報告書を刊行した。

報告書名	調査原因	調査年度	概要
富士市内遺跡発掘調査報告書－令和3年度－	確認調査ほか	令和3年度	確認調査 52件 本調査 2件
東平遺跡第136地区発掘調査報告書	店舗建設	令和3年度	奈良・平安の掘立柱建物5棟、竪穴建物9棟、土製人形、銅製腰帯具、石製紡錘車
沢東A遺跡第28次調査地点 発掘調査報告書	宅地造成	令和3年度	弥生～古墳時代の耕作溝、古墳時代後期前半の古墳群 須恵器、刀子等
中島遺跡	土地改良 遺跡範囲確認 雨水貯留地建設 宅地造成	昭和60年 昭和63年 平成元年 平成10年	縄文～古墳の竪穴建物2棟、土坑10基等からなる集落跡 縄文中期末～後期前半の土器、石器、土偶の胸部、玦状耳飾り等

指定文化財一覧 計 90 件(国指定8件 県指定 12 件 市指定 63 件 国登録7件) 令和5年3月31日現在

	種 別	名 称	員数	所在地	指定年月日	
国指定	特別名勝史跡	富士山		大淵ほか他市町村に及ぶ	特名 S27.11.22 史跡 H23.2.7	
	重要文化財	建造物	古籬荘 9棟	9棟	岩淵	H17.12.27
		彫刻	木造地藏菩薩坐像	1軀	松岡／瑞林寺	S57.6.5
		書跡	紙本墨書法門百首	1帖	平垣本町	S13.7.4
		工芸品	短刀 銘光包(名物乱光包)	1口	(寄託) (財) 日本刀剣美術館	S8.7.25
		絵画	金地著色春夏山水図 (伝雲谷等顔筆／六曲屏風)	1双	(寄託) 静岡県立美術館	S25.8.29
史跡	浅間古墳	1基	増川	S32.7.1		
県指定	建造物	旧稲垣家住宅 附棟札(文化元年) 2枚	1棟	広見公園	H21.3.23	
	工芸品	太刀 無銘(伝左弘安)	1口	天間	S37.2.27	
	考古資料	中原第4号墳出土遺物	一括	市立博物館	R3.12.27	
		東平第1号墳出土遺物一括	一括	市立博物館	R4.12.2	
	史跡	琴平古墳	1基	中里	S33.9.2	
		伊勢塚古墳	1基	伝法／玄龍寺	S33.9.2	
		庚申塚古墳	1基	東柏原新田	S34.4.14	
		岩淵の一里塚	1対	岩淵	S61.12.5	
	天然記念物	富知六所浅間神社の大クス	1本	浅間本町	S30.4.19	
		慶昌院のカヤ	1本	中里	S46.3.19	
		富士岡地藏堂のイチョウ	1本	富士岡	S46.3.19	
有形民俗文化財	浮島沼周辺の農耕生産用具	152点	市立歴史民俗資料館	H2.3.20		
市指定	有形文化財	建造物	五輪塔	2基	市立博物館	S44.8.19
			ディアナ号の錨	1錨	三四軒屋緑道公園	H1.12.21
			瑞林寺伽藍	3棟	松岡／瑞林寺	H4.12.25
			旧松永家住宅	1棟	広見公園	H12.8.1
			樋代官植松家住宅長屋門	1棟	広見公園	H12.8.1
			樋代官植松家住宅	1棟	広見公園	H12.8.1
			原泉舎	1棟	広見公園	H12.8.1
			眺峰館	1棟	広見公園	H12.8.1
			杉浦医院	1棟	広見公園	H12.8.1
			稲葉家住宅	1棟	岩淵	H22.5.19
	彫刻	實相寺・木造仁王像(金剛力士像)	1対	岩本／實相寺	S47.8.1	
		實相寺・木造一切経蔵 七福神	1点	岩本／實相寺	S47.8.1	
		妙善寺観音堂俳句扁額	1面	原田／妙善寺	S49.9.1	
		木造広目天・多聞天立像	2軀	原田／妙善寺	S49.9.1	
		木造十一面千手観音坐像	1軀	原田／妙善寺	S55.9.1	
		木造薬師如来坐像	1軀	比奈／医王寺	S55.9.1	
	書籍・典籍・古文書	紙本墨書 稿本 田子のふるみち	1帖	(借用) 市立博物館	S59.12.24	
		紙本墨書 福寿山 瑞林禅寺記	1帖	松岡／瑞林寺	S59.12.24	
		紙本墨書 高林山 法田禅寺記	1巻	(寄託) 市立博物館	S59.12.24	
		紙本墨書 今泉村往古高拔差呂寶鑑	1帖	市立博物館	S59.12.24	
		中村家文書	897点	(寄託) 市立中央図書館	H8.3.19	
	歴史資料	實相寺一切経 宋版4巻、天海版6174巻	合計6178巻	岩本／實相寺	H21.4.21	
	考古資料	大宝印秋山家資料	1,145点	市立博物館	R4.3.22	
		比奈東坂古墳出土品	一括	市立博物館	S44.8.19	
			医王寺経塚遺物	一括	比奈／医王寺	S59.12.24

	種 別	名 称	員数	所在地	指定年月日	
市 指 定	史 跡	千人塚古墳	1 基	神谷	S51. 7. 23	
		稻荷塚古墳	1 基	船津	S51. 7. 23	
		実円寺西第 1 号墳	1 基	三ツ沢	S51. 7. 23	
		山ノ神古墳	1 基	東柏原新田	S51. 7. 23	
		金原明善翁ら大規模植林地		桑崎	S53. 9. 1	
		雁堤	1 箇所	岩本・松岡	S58. 6. 25	
		竹採塚	1 基	比奈／竹採公園	H 1. 12. 21	
		白隠禅師の墓	1 基	比奈／竹採公園	H 1. 12. 21	
		善得寺墓群のなかの大勲策禅師の墓	1 基	今泉／善得寺公園	H 1. 12. 21	
		善得寺墓群のなかの太原雪斎の墓	1 基	今泉／善得寺公園	H 1. 12. 21	
	天然記念物	船津浅間神社のクス	1 本	船津	S45. 12. 21	
		間門浅間神社のシイ	1 本	間門	S45. 12. 21	
		今宮浅間神社のスギ	1 本	今宮	S45. 12. 21	
		鵜無ヶ淵神明宮のクス	1 本	鵜無ヶ淵	S45. 12. 21	
		十王子神社のイチョウ	1 本	今泉	S45. 12. 21	
		十王子神社のクス	1 本	今泉	S45. 12. 21	
		水の上のタイサンボク	1 本	今泉	S45. 12. 21	
		本国寺のボダイジュ	1 本	今泉	S45. 12. 21	
		曾我寺のカヤ	1 本	久沢	S45. 12. 21	
		曾我寺のシイ	1 本	久沢	S45. 12. 21	
		瑞林寺のモッコク	1 本	松岡	S45. 12. 21	
		瑞林寺のヒイラギ	1 本	松岡	S45. 12. 21	
		医王寺のマキ	1 本	比奈	S49. 9. 1	
		一色のカヤ	1 本	一色	S49. 9. 1	
		八幡穴（溶岩洞穴）	1 箇所	久沢	S52. 10. 3	
		不動穴（溶岩洞穴）	1 箇所	大淵	S52. 10. 3	
		厚原風穴（溶岩洞穴）	1 箇所	厚原	S54. 3. 15	
		本照寺のカヤ	1 本	厚原	S56. 8. 1	
		白髭神社のヒイラギ	1 本	大淵次郎長町	S56. 8. 1	
		木之元神社のムクロジ	1 本	鈴川	S56. 8. 1	
		常盤家のイヌマキ	1 本	岩淵	H23. 12. 22	
		慈林寺のイヌマキ	1 本	中之郷	H23. 12. 22	
		横割八幡宮のクスノキ	1 本	横割	H24. 4. 23	
浮島ヶ原のサワトラノオ群生地	1 箇所	中里	H27. 4. 21			
無形民俗文化財	鵜無ヶ淵神明宮の御神楽		鵜無ヶ淵一丁目	H21. 4. 21		
	大北のカワカンジー		北松野	H23. 12. 22		
	木島のナゲダイマツ		木島	H23. 12. 22		
	岩淵鳥居講		岩淵	H29. 6. 21		
国 登 録	有形 文化財	建造物	旧小休本陣「常盤家住宅主屋」	1 棟	岩淵	H10. 9. 2
			旧岩淵火の見櫓	1 基	南松野	H18. 3. 27
			旧順天堂田中歯科医院診療所兼主屋	1 棟	吉原三丁目	H23. 7. 25
			旧加藤酒店店舗兼主屋	1 棟	本町	H27. 3. 26
			旧東泉院宝蔵	1 棟	吉原公園内（今泉）	H29. 10. 27
			旧六所家門及び塀	1 棟	吉原公園内（今泉）	H29. 10. 27
			岳南電車本吉原駅プラットホーム及びホーム上屋	1 式	岳南電車本吉原駅	R 3. 6. 24

## (9) 博物館

### ① 施設の概要

#### ア 本館「富士山かぐや姫ミュージアム」

- 開館 昭和 56 年 4 月 25 日  
改修落成 平成 28 年 4 月 29 日
- 敷地面積 約 4,951 m<sup>2</sup>  
(付属棟実習室、工芸室敷地面積を含む)
- 延床面積 本館 1,740 m<sup>2</sup>  
付属棟 実習室 200 m<sup>2</sup>  
工芸室 248 m<sup>2</sup>
- 本館施設・展示室 5・多目的室 1・  
収蔵庫 2・講座室 1・ライブラリー・  
事務室・調査研究室・空調機械室・  
ボイラー室・機材庫他に防災・警備設備等



富士山かぐや姫ミュージアム  
(富士市立博物館本館)

#### イ 分館「歴史民俗資料館」

- 開館 平成 6 年 11 月 16 日
- 敷地面積 1,665 m<sup>2</sup>
- 延床面積 歴史民俗資料館 657 m<sup>2</sup>  
収蔵庫 209 m<sup>2</sup>
- 施設 1階 展示室・体験コーナー・  
事務室・トイレ  
2階 展示室・収蔵庫



富士市立歴史民俗資料館

#### ウ 分館「屋外展示（広見公園内）」

- 開館 昭和 56 年 4 月 25 日
- 敷地面積 約 39,688 m<sup>2</sup>
- 延床面積
  - ・樋代官長屋門 69.20 m<sup>2</sup> (旧植松家表門) 木造平屋建寄棟造茅葺
  - ・原泉舎 74.40 m<sup>2</sup> (今泉妙延寺土蔵・今泉小学校前身の仮教場) 木造切妻造瓦葺土蔵
  - ・旧松永家住宅 180.37 m<sup>2</sup> 木造平屋建寄棟造瓦葺、付表門 (薬医門)
  - ・眺峰館 59.01 m<sup>2</sup> 木造三階建八角尖塔造銅板葺 (洋風建築)
  - ・東平遺跡高床倉庫 18.17 m<sup>2</sup> 掘立柱高床板倉造切妻式流板葺
  - ・東平遺跡竪穴住居 23.50 m<sup>2</sup> 竪穴板壁入母屋式茅葺
  - ・横沢古墳 201.00 m<sup>2</sup> 大淵横沢で発掘調査した円墳
  - ・万葉歌碑 「東歌」『万葉集』卷 14 所収の東歌 1 首「天の原 富士の柴山木の暗の 時移りなば逢はずかもあらむ」
  - ・杉浦医院 138.60 m<sup>2</sup> 木造二階建寄棟造銅板葺 (洋風建築)
  - ・樋代官植松家住宅 195.00 m<sup>2</sup> 木造二階建越屋根付瓦葺
  - ・旧独楽荘石倉 33.00 m<sup>2</sup> 木造切妻造瓦葺石倉
  - ・旧稲垣家住宅 160.39 m<sup>2</sup> 木造入母屋形式かぶと造茅葺
- 〈その他〉小糸のぶ文学碑、松永末子歌碑、水城孝歌碑、根方街道道しるべ、東海道・大宮街道道しるべ、仁藤春耕道しるべ、一字一石経王塔、室伏半蔵道しるべ、日露友好の碑

#### エ 分館「富士川民俗資料館」(稲葉家住宅)

- 開館 昭和 47 年 3 月 改修落成 平成 30 年 3 月
- 敷地面積 380.86 m<sup>2</sup>
- 延床面積 稲葉家住宅 89.40 m<sup>2</sup>、収蔵庫 33.48 m<sup>2</sup>
- 構造ほか 木造入母屋造茅葺 市指定有形文化財(平成 22 年)



市指定有形文化財(平成 22 年)  
「富士川民俗資料館」



国登録有形文化財(平成 10 年)  
「小休本陣常盤家住宅主屋」

**オ 博物館管理施設「小休本陣常盤家住宅主屋」**

- 公 開 平成 16 年 3 月
- 延床面積 249.13 m<sup>2</sup>
- 構造ほか 木造平屋切妻造棧瓦葺 国登録有形文化財(平成 10 年)

**カ 博物館外部収蔵庫**

- 竣 工 平成 27 年 3 月
- 延床面積 428.72 m<sup>2</sup>
- 構 造 鉄骨造平屋建

**② 展示**

**ア 常設展示**

○**展示室 1 テーマ「富士に生きる」**

富士山南麓の地に生活してきた先人たちの歴史や文化を「富士に生きる」という大きなコンセプトのもと 7 つのジャンルで紹介。

- ①富士の舞台＝富士火山・海岸平野のできるまで
- ②富士の黎明＝富士市を代表する天間沢遺跡のジオラマ、旧石器時代から律令時代の市内遺跡出土資料
- ③動乱から泰平の世へ＝鎌倉から室町に至る動乱の時代の資料
- ④街道と宿場のにぎわい＝東海道・吉原宿の変遷
- ⑤水とのたたかい＝富士川治水に功を成した雁堤や浮島沼干拓の歴史
- ⑥富士川舟運と渡船＝富士川と岩淵河岸の歴史
- ⑦富士の災害＝富士火山や水害、地震被害の歴史とロシア軍艦ディアナ号の遭難

○**展示室 2 テーマ「富士山の玉手箱」**

富士山をモチーフとした名品の数々。「富士山を描く」、「富士山をかたどる」、「富士山を記す」等、富士山にまつわる 6 つのテーマを展示。

○**展示室 3 テーマ「富士山とかぐや姫」**

富士山南麓を舞台としたかぐや姫の伝承に焦点をあて、信仰の山・富士の姿を地域に根ざした視点から紐解く。

- ①竹取物語へのいざない
- ②富士山のかぐや姫
- ③かぐや姫と富士山縁起＝記された富士山のかぐや姫物語（卷子本富士山大縁起）
- ④東泉院と下方五社＝六所家総合調査より（日吉浅間神社並神主六所良邑境内絵図）
- ⑤富士のかぐや姫物語ゆかりの地を歩く＝描かれた富士山のかぐや姫物語
- ⑥富士山の女神
- ⑦富士山登山絵図＝描かれた富士山の信仰空間（富士山禅定図）
- ⑧村山修験の活動＝秋山家寄託資料 密教法具の展示
- ⑨岩淵鳥居講

○**展示室 4 テーマ「竹取物語の広がり」**

日本各地の竹取物語ゆかりの地や関連グッズの紹介。



静岡県世界遺産センターとの連携による富士山世界文化遺産の紹介。

## イ 特別展示（展示室5・多目的室6）

常設展示以外の特別展、企画展、共催展、テーマ展等の展示会を随時開催している。  
展示室5（特別展示室）は気密性の高い特殊な展示ケースを採用。貴重な資料を展示している。

### ○ライブラリー〈1階〉

県内外の博物館の出版物や富士山に関わる専門書・児童書を揃えている。

図書館にはあまり見られない本を閲覧することができる。また、パソコンにて、館藏品や貴重な映像資料を検索・閲覧できるデジタルライブラリーが併設されている。

## ウ 歴史民俗資料館 テーマ「富士に生きる」

### ○1階 展示室

富士市域は、駿河湾の海岸から富士川・潤井川等の河川によるなだらかな扇状地と東部の低湿地、富士山・愛鷹山へと続く斜面の間に広がる。

海岸の漁村から最北の山村までの標高差 800mの間、それぞれの地に適したくらしを営んだ人びとの姿を以下の6つのテーマに分けてご紹介している。

- ①ハマのくらし（田子浦・元吉原沿岸）＝実物のシラス船や大漁旗、延縄漁用具等
- ②ドブツタのあるくらし（浮島ヶ原周辺）＝ドブツタ（湿田）での田植えのジオラマ等
- ③豊作への願い（浮島ヶ原周辺～加島平野）＝豊作を願う様々な行事
- ④タバシヨのくらし（加島平野）＝タバシヨ（田場所）の田植え用具、スキ等
- ⑤ヤマガのくらし（富士・愛鷹山麓）＝つるべ井戸のジオラマ、木樵、畑作用具等
- ⑥行き来する人々（地域の交流）＝シヨイコや梶、秤等人や物の行き来に使う諸道具

### ○2階 展示室

富士山南麓の豊富な森林資源や水を利用して発達してきた紙のまち・富士の歴史や学校教育、子どもの遊びや紙のおもちゃ等を展示している。また、近代の戦争と戦時中のくらしについての展示も見る事ができる。

「紙のまち」というフィルターを通して、富士市の近代と未来の姿を考える。

- ①手すき和紙＝和紙づくりの道具、原料等
- ②近代製紙の幕開け＝原田製紙1号機模型、佐野熊ナプキン、富士製紙会社関連資料等
- ③紙のまちへのあゆみ＝県製紙工業試験場資料、マードック賞受賞のメダル等
- ④子どもの遊びと学び＝穆清尋常高等小学校棟札、学習掛図（複製）等
- ⑤戦争とくらし＝軍服、青い目の人形メリー（写真展示）等の戦時資料



戦争とくらし

## ③ 事業（令和4年度）

### ア 企画展等

- ①第58回企画展「トイレの紙さま～おしりふきふき いまむかし～」
- ②テーマ展「東泉院 お宝大発見！」
- ③富士・沼津・三島三市博物館共同企画展「このへん道中いまむかし 富士・沼津・三島の観光」
- ④第59回企画展「河東をめぐる戦国時代」
- ⑤富士山世界遺産登録10周年記念展「富嶽真景 一昭和の富士山写真家 清水緑一」
- ⑥富士山の玉手箱特集展示「富士の巻狩と曾我兄弟の仇討ち」
- ⑦富士山の玉手箱特集展示「富士山登山絵図」
- ⑧富士山の玉手箱特集展示「富士山絵葉書」
- ⑨富士山の玉手箱特集展示「見て！見て！富士山 私たちの夢」
- ⑩富士山の玉手箱特集展示「武田弘氏寄贈富士山コレクション 彩り富士山～絵付けの陶磁器～」

## イ 講座・体験学習等

博物館陶芸室や染色室、実習室、旧稲垣家住宅等を会場に、感染症対策を講じながら各種講座・体験学習を行い、先人の知恵や技術を知り、生活体験に触れる機会を設けた。

富士山ネットワーク推進委員会の事業では、第20回目となる「富士山ぐるりんコンテスト」を実施した。

## ウ 六所家総合調査

令和2年度末に刊行した一般向け概説書「富士山東泉院の歴史」をもって近世までの調査については一定の成果をみたが、令和4年度からは近代資料の調査・確認に着手した。

## エ 富士市立博物館ボランティアの活動

令和4年度末で活動16年目となる。令和4年度は2年に一度の養成講座を実施した結果、8名が新規登録し、現在の登録メンバーは31名となった。主な活動として、博物館主催事業や体験学習での指導・補助、館収蔵資料の整理、展示補助等、多岐に渡る博物館業務にて活動している。

## ④ 出版物（平成24年度以降）

年度	出版物名	種別、判型等
平成24	第51回企画展『富士市にまつわる物語絵』 『六所家総合調査報告書 民俗』	企画展解説書 A4, 35P 報告書 A4, 112P
平成25	第52回企画展『縄文の美～土器の文様と飾り～』 富士山世界文化遺産登録記念特別展『鳥の目で見た富士～鳥瞰図の世界～』 『六所家総合調査報告書 古文書①』	企画展解説書 A4, 16P 特別展解説書 A4, 30P 報告書 A4, 184P
平成26	春のテーマ展『富士山×絵葉書 平川コレクションに見る富士の姿』 第53回企画展『富士山の下に灰を雨らす 富士の噴火と古墳時代後期の幕開け』 『六所家総合調査報告書 書画』 『六所家総合調査報告書 聖教』	展示会解説書 A4, 23P 企画展解説書 A4, 49P 報告書 A4, 120P 報告書 A4, 450P
平成27	『六所家総合調査報告書 古文書②』 リニューアルオープン記念展『富士のある風景』	報告書 A4, 520P 企画展解説書, 変形 35P
平成28	第54回企画展『東洋美術史の父 大村西崖』 六所家総合調査だより特別号①「護持院隆光と東泉院精海」	企画展解説書 A4, 60P 調査だより A4, 32P
平成29	リニューアルオープン1周年記念展『富士登山列伝 頂に挑むということ』 『富士山かぐや姫ミュージアム 常設展示総合ガイドブック』 第55回企画展『産業の種蒔く人—伝法中原4号墳と古代のエンジニアたち』 『六所家総合調査報告書 古文書③』 六所家総合調査だより特別号②「東泉院の神道資料」	記念展解説書 A5, 32P 概説書 A5 変形, 92P 企画展解説書 A5, 20P 報告書 A4, 520P 調査だより A4, 37P
平成30	富士山世界遺産登録5周年記念展『かぐや姫の里と白隠さん』 第56回企画展『富士が見守る交流の道—古代東海道と富士山ジャンクション—』	記念展解説書 A4, 24P 企画展解説書 A5 変形, 40P
令和元	第57回企画展『東海の軍を発す—伝法 東平1号墳とヒミツの武器』	企画展解説書 A5 変, 30P
令和2	六所家総合調査「富士山東泉院の歴史」	概説書 A4, 140P
令和3	第58回企画展『トイレの紙さま～おしりふきふき いまむかし～』	企画展解説書, A5 変, 29P
令和4	第59回企画展『河東をめぐる戦国時代』	企画展解説書 A4, 20P



⑤ 利用状況（令和4年度）

ア 博物館施設利用状況

年間開館日数 300 日  
 年間利用者数 57,013 人  
 一日平均利用者数 190 人  
 利用者累計(昭和56年度～) 1,911,816 人



第59回企画展「河東をめぐる戦国時代」

イ 令和4年度 事業別利用者数

(7) 自主展観事業

事業名	開催期間	人数(入館者数)
第58回企画展「トイレの紙さま～おしりふきふき いまむかし～」	3月19日～6月12日	12,816人
テーマ展「東泉院 お宝大発見！」	7月2日～9月25日	7,271人
富士・沼津・三島三市博物館共同企画展「このへん道中いまむかし 富士・沼津・三島の観光」	10月8日～11月27日	5,288人
第59回企画展「河東をめぐる戦国時代」	12月10日～2月26日	6,701人
富士山世界遺産登録10周年記念展「富嶽真景－昭和の富士山写真家 清水緑－」	3月11日～7月2日	5,332人 <small>(令和5年5月1日現在)</small>

(イ) 各種講座等教育普及活動

講座・教室名	開催日	回数	人数
古代人の暮らし -古代の知恵に学ぶ-	7月24日、8月11日、11月23日	3回	50人
たんけん！はくぶつかん！	7月27日 感染症対策を講じ実施	1回	4人
戦時中の食事	8月6日 感染症対策を講じ実施	1回	14人
お月見お供え団子作り	9月10日	1回	15人
富士の型染体験	10月9日 感染症対策を講じ延期実施（当初7/28）	1回	20人
かまど飯を食べよう！！	6月18日、3月12日 感染症対策を講じ実施	2回	34人
稲葉家で学ぶ富士川の歴史と文化	11月6日、3月19日	2回	14人
小正月の繭玉・小豆粥作り	1月8日	1回	14人

(ウ) その他の事業

イベント名	開催日	人数
博物館の日(手すきハガキづくり、火おこし体験、博物館クイズ 他)	4月・6月・8月・10月・12月・2月の日曜日に感染症対策を講じて実施	994人
かやぶき農家の工芸まつり	5月14日～6月5日、博物館管理施設利用団体の作品展示、販売・体験を通して工芸に親しんでいただく。	1,560人
かやぶき農家の癒しのおんがく会	4月、5月、6月、9月、10月、11月、3月の日曜日に感染症対策を講じて実施	390人

(I) 幼稚園・保育園・小中学校等との連携による体験学習への支援

小・中学校

支援内容	施設数	延回数・延人数・点数
見学対応	15校	22回 1,713人
紙すき体験	2校	2回 66人
縄文土器作り等古代体験（火おこし体験、勾玉含む）	7校	9回 902人
むかしのくらし体験（かまど体験等）	9校	10回 694人
資料貸出（火おこしセット、日常生活用品等）	4校	4回 28点

幼稚園・保育園

支援内容	施設数	延回数・延人数・点数
見学対応	3園	3回 178人

高等学校・大学

支援内容	施設数	延回数・延人数・点数
見学対応	1校	1回 5人
紙すき体験	1校	1回 5人

その他施設

支援内容	施設数	延回数・延人数・点数
古代体験（土器づくり、火おこし）	2か所	3回 31人
紙すき、折り紙体験	3か所	3回 63人
出前講座・講演会等	9か所	9回 272人

⑥ 資料・図書収集状況（令和4年度末現在）

収蔵資料総合計数 ※視聴覚資料の数には委託制作ビデオを含む。

	館所蔵				寄託	借用	合計
	寄贈	購入	収集	移管			
民俗	14,068	89	0	2,091	343	17	16,608
美術工芸	5,954	1,031	0	96	69	15	7,165
歴史	20,957	621	0	1,481	1,374	8	24,441
考古	3,211	3	0	4,214	2	711	8,141
紙関係	1,882	394	0	61	1	22	2,360
自然	25	0	0	98	1	0	124
視聴覚	335	106	204	11	0	0	656
その他	8,061	1	0	0	0	0	8,062
合計	54,493	2,245	204	8,052	1,790	773	67,557

※六所家関係資料、山崎家関係資料、森家関係資料は、整理中のため未計上。

※武田氏関係資料（富士山コレクション）は、寄贈分類「その他」で受入れ、今後整理作業を進め、正式な分類に振り分ける予定。

## (10) 教育文化スポーツ奨励賞

教育、文化及びスポーツの振興に寄与する市民等の活動を奨励するため、教育、文化及びスポーツの振興に優れた業績をあげているもので、将来一層の発展が望まれる市内の個人又は団体を表彰する。

### 令和4年度受賞者

#### ◆渡邊 邦義（スポーツ・空手道）

長年、公益社団法人日本空手協会師範会員及び同富士支部長として、空手道の普及に尽力され、国民体育大会や全日本選手権大会において優勝者を輩出するなど、選手の育成に大きな功績を上げている。空手道を通じたスポーツ振興に努められ、今後も活躍が大いに期待される。

#### ◆富士市バスケットボール協会（スポーツ・バスケットボール）

長年、スポーツの振興に貢献されている。創設以来、小学生の育成を目的としたミニバスケットボール教室や市長杯など各種大会の開催を通じ、競技の普及に努められている。また、各年代で全国大会に出場するなど、地域全体のレベル向上に寄与されており、今後も活躍が大いに期待される。

#### ◆富士マジッククラブ（文化・マジック）

長年、文化芸術の振興に貢献されている。富士市総合文化祭への出演のほか、地区行事や、高齢者施設等において日頃磨いた技術を披露し、市民の心に潤いを与えている。マジックを通じて世代間交流などを図るとともに、後進の育成にも尽力されており、今後も活躍が大いに期待される。

#### ◆MAUハンドベルリンガーズ（文化・音楽）

長年、文化芸術の振興に貢献されている。富士市総合文化祭での演奏や、かやぶき農家の癒しのおんがく会等において、ハンドベルが奏でる幻想的な音色で、多くの市民に感動を与えている。様々な行事への参加など、積極的な音楽活動を行っており、今後も活躍が大いに期待される。

## V 資料編

### 1 富士市教育行政のあゆみ（略記）

令和5年5月1日現在

年	月	日	事 項
昭和21	3	5	米国陸軍省から派遣された教育使節団一行 27 名が来日 （日本教育制度の基本改革を行うべく諸項目の勧告）
	12	27	教育使節団に協力するため教育刷新委員会が設けられ第一回建議を行う市町村及び府県に一般地方行政から独立して教育行政を行う公選による教育委員会を置き、府県間の教育行政の不均衡の是正を行うことを勧告
22	3	31	「教育基本法」「学校教育法」が公布
	4	1	新制度による小・中学校の六・三制が発足
23	4	1	吉原市誕生（小学校 3 校・吉原、今泉、伝法、中学校 1 校・吉原）
	7	15	「教育委員会法」が公布
24	1	12	「教育公務員特例法」が公布
	6	10	「社会教育法」が公布
25	4	30	「図書館法」が公布
	5	30	「文化財保護法」が公布
	12	1	吉原市に教育委員会が置かれ、事務局に 1 室 3 課を置く 同時に公選による教育委員が就任
26	12	1	「博物館法」が公布
	12	6	富士公民館開館
27	10	1	富士町、鷹岡町、田子浦村、岩松村に教育委員会が置かれ、それぞれ公選による教育委員が就任
	11	1	教育委員会法の全面的実施により全国の市町村にもれなく教育委員会が設置される
28	1	10	教育制度の基本及び教育・学術・文化関係の基本的な重要施策を調査審議する機関として中央教育審議会が発足
29	3	31	富士市誕生 富士町、田子浦村、岩松村が合併 小学校 4 校：富士第一、富士第二、田子浦、岩松、中学校 3 校：富士、田子浦、岩松
	10	1	富士市公選による教育委員が就任
30	2	11	元吉原、須津、吉永、原田の各村が吉原市に合併 幼稚園 3 園：元吉原、昭和、原田 小学校 9 校：吉原、今泉、伝法、神戸、元吉原、須津、吉永第一、吉永第二、原田 中学校 6 校：吉原第一、吉原第二、穆清、原田、元吉原、須津 大淵村が吉原市に合併（幼稚園 3 園、小学校 11 校、中学校 7 校）
	4	1	大淵第二小学校を開設（児童数・124 名）
	4	3	（大淵小学校より独立、大淵第二小学校となる）
	4	15	大淵幼稚園を開園
31	4	1	浮島村西部三区（船津、西船津、境）が吉原市に合併
		2	吉原市立吉原東小学校を創立、同小学校、須津中学校へ編入

年	月	日	事 項
昭和31	6	30	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」公布
	10	1	教育委員が任命制となり、各市町村に長の任命する教育委員が就任 (富士：井上俊夫、滝川武司、初見五郎、田杉豊作、涌田隆一) (鷹岡：石川軍治、西村寿、村上勝次郎、都築千代治、山本英彦)
	10	3	(吉原：佐野熊次郎、林玄嗣、渡辺仙太郎、水野精一、大石英)
34	12	28	公民館の設置及び運営に関する基準が告示
35	4	1	吉原第三中学校を開校 (吉原市：穆清、原田両中学校を統合して創立 生徒数・929名)
	10	1	田子浦公民館、岩松公民館を開館
36	4	1	富士南中学校を開校 (生徒数1年生・273名)
	6	16	「スポーツ振興法」が公布
37	4	1	吉原東中学校を開校 (生徒数2年生・56名、1年生74名)
	4	10	吉原市立商業高等学校を開校 (新入生・244名)
	9	1	静岡県立吉原林間学園が開設 児童福祉法に基づく情緒障害児短期治療施設。同時に特殊学級として治療学級を大淵第一小学校に併設
39	2	11	吉原市立図書館を開館 (41.4.1富士市立中央図書館に改称)
41	7	1	鷹岡公民館を開館
	7	11	吉原市立青少年の家を開設
	11	1	富士市誕生 吉原、富士、鷹岡2市1町合併 幼稚園7園、小学校17校、中学校12校、商業高校1校
42	4	1	青少年補導センターを開設
43	6	1	「富士市立公民館の設置及び管理等に関する条例」制定
	9	26	「富士市立公民館の設置及び管理等に関する条例施行規則」制定
44	5	31	田子浦公民館を改築竣工
45	1	1	南幼稚園を開園 (25.5.5私立東芝幼稚園として創立されたものが富士市に移管)
	11	1	須津公民館、原田公民館、大淵公民館、吉永公民館を開館 広見小学校を開校 (児童数・954名)
	12	1	元吉原公民館を開館、
47	4	1	浜幼稚園を開園 天間幼稚園を開園
48	1	13	東公民館を開館 (東小学校体育館に併設)
	4	1	丘小学校を開校 (児童数・504名) 伝法公民館、今泉公民館を開館
	6	1	市民プールを開設 (敷地面積11,935㎡、プール水面積2,235㎡)
49	4	1	岳陽中学校を開校 (生徒数・236名) 富士駅南公民館を開館
	10	1	少年自然の家を開設
51	4	1	神戸公民館を開館
	7	11	野球場を開設 (敷地面積25,000㎡、収容人員13,400人)

年	月	日	事 項
昭和52	4	1	富士見台小学校を開校（児童数 433 名、学級 12 学級、教職員 22 名）
53	4	1	勤労者体育センターを開設（敷地面積 5,329 m <sup>2</sup> 、建物面積 2,174 m <sup>2</sup> ） 富士南小学校を開校（児童数 1,116 名、学級 28 学級、教職員 42 名） 県立富士東高等学校が開校 広見公民館を開館
54	4	1	天間小学校を開校（児童数 716 名、学級 19 学級、教職員 23 名）
55	11	1	西図書館を開館
56	3	25	樋代官長屋門、原泉舎移築復原竣工
	3	31	吉永第二小学校・吉原第三中学校の勢子辻分校を閉校 （明治 39 年 2 月 10 日鶴無ヶ淵尋常小学校・穆清中学校の勢子辻分校として創立。昭和 56 年 3 月児童生徒数 7 名となる）
	4	1	吉原北中学校を開校（生徒数 401 名、学級 10 学級、教職員 23 名） 機構改革により文化振興課を設置（体育保健課をスポーツ振興課に改称） 事務局 5 課、1 出先機関並びに教育機関として公民館 15 館、図書館 2 館、博物館、少年自然の家、青少年補導センター及び商業高校、幼稚園 9 園、小学校 22 校、中学校 14 校となる 富士南公民館を開館
		25	富士市立博物館を開館
57	2	1	吉原公民館を開館
	4	1	富士市教育文化奨励賞授与要綱制定
	6	1	陸上競技場開設 公認 3 種陸上競技場 陸上競技場全体面積 25,000 m <sup>2</sup>
58	2	8	横浜古墳移築復原竣工
	3	25	富士市教育文化奨励賞授与規則制定（57 年制定同要綱廃止）
	4	1	富士見台公民館を開館 視聴覚ライブラリーを開設（社会教育課内）
59	4	1	丘公民館、天間公民館を開館 庭球場開設（全体面積 15,000 m <sup>2</sup> ） 機構改革により青少年課を新設（富士市勤労青少年ホームも所管）、スポーツ振興課、文化振興課を統合して文化体育課を設置（市民会館、体育館等も所管）及び青少年補導センターを青少年相談所に改称
59	4	1	事務局 5 課、教育機関として公民館 20 館、図書館 2 館、博物館、少年自然の家及び青少年相談所並びに商業高校、幼稚園 9 園、小学校 22 校、中学校 14 校となる
	7	22	第 1 回富士市青少年の船が三宅島を寄港地として実施（研修生 74 名スタッフ 16 名、計 90 名）
61	4	1	青少年センター開設（富士市勤労青少年ホーム廃止）
	6	27	弓道場開設（全体面積 1,500 m <sup>2</sup> ） 総合運動公園内に運動広場開設（全体面積 9,900 m <sup>2</sup> ）
62	3	10	東公民館移転新築（東小学校より独立）
		30	博物館工芸室、常設展示替
	4	1	東図書館を開館（吉永公民館改築併設）

年	月	日	事 項
平成元	4	1	岩松北小学校を開校（児童数 581 名、学級数 17 学級、教職員 31 名） 温水プール開設（全体面積 2,114.43 m <sup>2</sup> ）
	2	4	18 富士文庫を開館（鷹岡市民プラザ併設）
	3	3	1 富士市立体育館改築竣工
		4	1 機構改革により文化体育課を分離し、文化振興課と体育振興課を設置 事務局 6 課、教育機関として公民館 20 館、図書館 4 館、博物館、少年自然の家及び青少年相談所並びに商業高校、幼稚園 9 園、小学校 23 校、中学校 14 校となる
	4	4	1 吉永北公民館を開館
	5	3	1 吉原商業高等学校新校舎竣工
		4	25 富士中央小学校を開校（児童数 469 名、学級数 15 学級、教職員 29 名）
	6	4	16 3 歳児保育を開始（昭和幼稚園、浜幼稚園）
		11	1 富士市立歴史民俗資料館開館
	7	10	4 新富士市立中央図書館を開館
	8	6	15 砂山公園プールオープン 愛称名「富士マリンプール」
	9	3	25 富士市歴史民俗資料館収蔵庫新築竣工
		4	1 富士市生涯学習推進プラン「ふじトウモロウスクール」発刊
	10	4	1 青葉台小学校を開校（児童数 434 名、学級数 12 学級、教職員数 26 名）
	12	4	1 機構改革により社会教育課、青少年課を統合し、生涯学習課を設置 事務局 5 課、教育機関として公民館 22 館、図書館 4 館、博物館、少年自然の家、青少年相談所及び青少年センター並びに商業高校、幼稚園 9 園、小学校 25 校、中学校 14 校となる
			16 中央図書館今泉分室開館
		8	10 中央図書館分館開館
	13	4	1 機構改革により文化振興課、体育振興課を統合し、文化スポーツ課を設置 事務局 4 課、教育機関として公民館 23 館、図書館 4 館、博物館、少年自然の家、青少年相談所及び青少年センター並びに商業高校、幼稚園 9 園、小学校 25 校、中学校 14 校となる 青葉台公民館を開館
	14	4	1 富士北公民館を開館
	15	3	20 田子浦公民館を増築し、「中央図書館田子浦分室」を設置
		12	10 「スポーツ振興計画」実施計画を作成
	16	4	1 教育総務課総務担当を企画総務担当に改編 機構改革により文化スポーツ課を分離し、文化振興課とスポーツ振興課を設置 事務局 5 課、教育機関として公民館 24 館、図書館 4 館、博物館、少年自然の家、青少年相談所及び青少年センター並びに商業高校、幼稚園 9 園、小学校 25 校、中学校 14 校となる
	18	2	1 「富士市子ども読書活動推進計画」策定
	19	9	28 「富士市まちづくりセンター条例」制定

年	月	日	事 項
平成20	4	1	機構改革により公民館がまちづくりセンターの名称に変わり、市民部まちづくり課へ、幼稚園が福祉部こども保育課へ移管。それに伴い、生涯学習課が社会教育課に改編。また、学校教育課に教育指導室を設置
		4	西図書館を富士市交流プラザ内に移転開館
		20	中央図書館大淵分室開館
	11	1	富士川町との合併により、富士川体育館、富士川河川敷憩いの広場運動施設、富士川学校給食センターを設置。また、小学校 27 校、中学校 16 校となる。
	11	5	中央図書館富士川分室開館
22	3	31	「スポーツ振興計画」の第二期計画書（計画期間：平成23年度～平成32年度）を作成
23	3	22	「富士市教育振興基本計画」を策定
	4	1	「第二次富士市子ども読書活動推進計画」を策定 伝法小学校に肢体不自由特別支援学級を開設 富士市立高等学校を開校（吉原商業高等学校から学科改編、開校式 4/7）
	6	24	「スポーツ振興法」が全部改正され「スポーツ基本法」が公布
	8	1	学校OA化推進事業により校務システム開始
24	4	1	電話相談「青少年相談ふじ」の愛称を「ほっとテレフォン・ふじ」とする。
	8	5	「第29回富士市青少年の船」実施→平成25年度以降の開催の中止を決定
25	11	1	「富士市文化振興基本計画」を策定
	12	23	全日本大学女子選抜駅伝競走（富士山女子駅伝）開催
26	8	11	第1回青少年体験交流事業「キズナ無限∞の島」開催（研修生136名、スタッフ38名）
27	2	18	富士川第二小学校をコミュニティ・スクールに指定
	3	11	富士市立博物館屋外収蔵庫竣工
		31	青少年センターを閉館
	4	1	機構改革により学務課を新設 富士市教育プラザを開所（落成式典 4/6） 教育プラザ内に教育研修センター、特別支援教育センター、青少年教育センター、青少年相談センターを開設
		28	教育プラザに若者相談窓口を設置
28	2	22	「富士市教育振興基本計画 後期実施計画」を策定
	4	1	少年自然の家・青少年の家を指定管理へ
		29	富士山かぐや姫ミュージアム落成記念式典
	8	1	学校OA化推進事業により校務システム更新
	11	1	富士市文化会館にふじ・紙のアートミュージアムを開設
29	6	21	吉原小学校、伝法小学校、富士第二小学校、吉原第一中学校及び富士川第二中学校に学校運営協議会を設置
	8	5	中学校英語科教員を米国オーシャンサイド市へ研修派遣
30	1	22	富士市いじめ防止基本方針策定
	2	21	富士市小中連携・一貫教育基本方針策定
	4	1	富士見台小学校に外国人児童生徒支援のための国際教室を開設
	8	11	小学校教員1人、中学校英語科教員1人を米国オーシャンサイド市へ研修派遣
	10	1	学校図書システム及び小中学校ICT機器等の更新



平成31	4	23	須津小学校、田子浦小学校、鷹岡小学校及び富士見台小学校に学校運営協議会を設置	
令和元	8	10	小学校教員1人、中学校英語科教員1人を米国オーシャンサイド市へ研修派遣	
2	3	3	新型コロナウイルス感染症予防のため、3月19日まで市立小・中学校の臨時休業措置実施	
	3	4	新型コロナウイルス感染症予防のため、3月19日まで市立高校の臨時休業措置実施	
	3	31	浜幼稚園、元吉原幼稚園を閉園	
	4	1	神戸小学校、元吉原小学校、東小学校、大淵第一小学校、富士第一小学校、富士南小学校、天間小学校、富士川第一小学校に学校運営協議会を設置	
	4	9	新型コロナウイルス感染症予防のため、5月21日まで市立小・中学校及び市立高校の臨時休業措置実施	
	5	17	新型コロナウイルス感染症予防のため、市立高校において在宅生徒とのオンラインを介したホームルームや授業形式の学習などを開始	
	5	22	新型コロナウイルス感染症予防のため、5月29日まで市立小・中学校の分散登校実施	
	5	22	市立高校の通常登校開始	
	6	1	市立小・中学校の通常登校開始	
	12	25	G I G Aスクール構想用タブレット整備（中学校整備完了）	
	3	3	25	G I G Aスクール構想用タブレット・大型提示装置整備（小学校整備完了）
		4	1	まちづくりセンター講座を、市民部まちづくり課による補助執行から社会教育課の直接執行へと改める。
8		25	新型コロナウイルス感染症予防のため、8月31日まで市立小・中学校の夏季休業を延長	
4	9	1	新型コロナウイルス感染症予防のため、9月10日まで市立小・中学校の時差式分散登校実施（緊急事態宣言中）	
	10	1	大型提示装置整備（中学校整備完了）	
	3	31	大淵幼稚園、南幼稚園を閉園	
	4	1	機構改革により、市民部文化振興課から分離した文化財課、及び博物館の所管を開始 富士市立富士川第二小学校、及び富士市立富士川第二中学校による施設一体型小中一貫校「富士川第二小中一貫校 松野学園」を開校	
	6	15	市立図書館に電子図書館システム「ふじ電子図書館」を導入し、電子書籍貸出サービスを開始	
	8	30	G I G Aスクール構想用タブレット追加整備（小学校1・2年生用）	
	2	1	移動図書館「ふじ号」を旧車両から更新、軽自動車2台体制での運行を開始 タブレットを活用した「ほっとデジタル相談・ふじ」を開設	
	3	31	G I G Aスクール構想用タブレット整備（市立高校整備完了） 田子浦小学校に外国人児童生徒支援のための国際教室を新設 原田幼稚園を閉園	
	5	4	1	学校給食公会計化開始 大淵第二小学校を大淵第一小学校に編入統合 （明治37年4月1日大淵尋常高等小学校に大坂分教場として創立。令和4年3月児童数23名となる）

## 2 富士市教育委員会委嘱の各種名簿

※時点を記載していないものについては、令和5年6月1日現在の名簿となります。

※任期途中で人事異動等により就任した委員の任期は、前任者の残任期を引き継いでいます。

※各種名簿の備考欄に記載されている役職等については、委員就任時の役職等を記載しています。

### (1) 富士市教育委員会自己点検・評価に関する外部評価検討会委員名簿

任期 自 令和5年4月1日  
至 令和7年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	島田 桂吾	静岡大学大学院教育学研究科准教授
2	石川 誠	静岡県校長会事務局 元富士市校長会会長
3	工藤 千麻琴	富士商工会議所青年部副会長 元富士市立高等学校学校運営協議会委員
4	星野 恵美子	特定社会保険労務士 青少年教育指導者

### (2) 富士市いじめ問題対策推進委員会委員名簿

任期 自 令和5年4月1日  
至 令和7年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	永房 典之	大学教授
2	佐野 良行	弁護士
3	高木 啓	医師
4	鈴木 隆広	臨床心理士
5	齋藤 朝子	社会福祉士

### (3) 富士市いじめ問題対策連絡協議会委員名簿

任期 自 令和3年7月1日  
至 令和5年6月30日

No.	氏 名	備 考
1	齋藤 隆裕	富士市校長会会長（富士第一小学校校長）
2	望月 敏行	富士市教育研究推進会小学校生徒指導部部長（岩松北小学校校長）
3	竹内 勉	富士市教育研究推進会中学校生徒指導部部長（吉原第二中学校校長）
4	梅原 高志	静岡地方法務局富士支局長
5	河守 健一	静岡県富士児童相談所育成課長
6	朝比奈 利光	富士警察署生活安全課長
7	服部 英之	富士市PTA連絡協議会会長
8	高木 豊	富士市福祉部障害福祉課長
9	本多 直人	富士市こども未来部こども未来課長
10	沓澤 真弓	富士市こども未来部こども家庭課長
11	江村 輝彦	富士市教育委員会教育次長
12	吉田 和洋	富士市教育委員会社会教育課長兼青少年教育センター所長
13	川口 壽彦	富士市教育委員会青少年相談センター所長
14	櫻井 祥行	富士市立高等学校校長
15	齋藤 文徳	富士市教育委員会学校教育課長

#### (4) 富士市学校結核対策委員会委員名簿

任期 自 令和5年4月1日  
至 令和6年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	下 窪 匡 章	静岡県富士保健所長
2	望 月 衛	富士市医師会代表（望月医院）
3	堀 場 映 子	富士市学校医代表（松野こどもクリニック）
4	遠 藤 繁	結核専門医（遠藤内科医院）
5	福 島 潤 子	富士市校長会（富士市立天間小学校長）
6	藁 科 美 輪 子	養護教諭代表（富士市立広見小学校）

#### (5) 富士市学校給食運営審議会委員名簿

任期 自 令和4年4月1日  
至 令和6年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	服 部 英 之	富士市PTA連絡協議会会長
2	榮 賀 隆 幸	富士市PTA連絡協議会
3	小 櫛 和 子	富士市学校給食等地場産品導入協議会会長
4	遠 藤 卯 美	公募委員
5	来 住 紗 依	公募委員
6	大 村 倫 生	学識経験者（富士市薬剤師会代表）
7	和 泉 清 明	学識経験者（公認会計士）
8	大 石 萌 香	静岡県富士保健所管理栄養士
9	小 野 田 清 美	富士市校長会（富士市立富士第二小学校長）
10	望 月 香 織	富士市校長会（富士市立吉原北中学校長）

## (6) 富士市社会教育委員名簿

任期 自 令和4年6月1日  
至 令和6年5月31日

No.	氏 名	備 考
1	四條 秀樹	富士市立富士見台小学校 校長
2	清 大輔	富士市立吉原第三中学校 校長
3	荻野 克雄	富士市町内会連合会 会長
4	吉村 てるゑ	女性ネットワーク・富士 副会長
5	齋藤 清隆	富士市まちづくり協議会連合会 会長
6	辻村 典枝	富士市文化連盟 会長
7	山野 政宏	富士市スポーツ協会 会長
8	中澤 公一	富士市子ども会世話人連絡協議会 会長
9	服部 英之	富士市PTA連絡協議会 会長
10	戸田 正明	日本ボーイスカウト静岡県連盟 理事
11	上野 朋子	富士市立高等学校 教頭
12	猿田 真嗣	学識経験者
13	菅井 良美	学識経験者
14	太田 眞弓	学識経験者
15	山田 千津子	学識経験者
16	渡辺 美恵子	学識経験者
17	武内 美貴乃	学識経験者

## (7) 富士市図書館協議会委員名簿

任期 自 令和5年6月1日  
至 令和7年5月31日

No.	氏 名	備 考
1	鈴木 守	常葉大学教育学部生涯学習学科教授
2	渡辺 美恵子	きらり交流会議委員長
3	榮賀 隆幸	富士市PTA連絡協議会顧問
4	福本 拓子	富士・子どもの本を学ぶ連絡会
5	窪田 かづ江	富士市立図書館音訳ボランティア
6	木三田 哲一	公募委員
7	本多 佐和子	公募委員
8	田中 尚志	富士市校長会（富士市立丘小学校校長）

## (8) 富士市子ども読書活動推進協議会委員名簿

任期 自 令和3年7月1日  
至 令和5年6月30日

No.	氏名	備考
1	村山 功	静岡大学大学院教育学領域教授
2	中澤 宏美	富士・子どもの本を学ぶ連絡会
3	曾根田亜樹子	富士市PTA連絡協議会顧問
4	大平 純子	静岡県立富士特別支援学校教諭
5	大庭 公洋	富士地区私立幼稚園協会（わかば幼稚園園長）
6	中川 美智子	富士市民間保育園連盟（ひな保育園園長）
7	堀田 響子	公募委員
8	榎本 博子	公募委員
9	大村 教人	公募委員
10	田中 尚志	富士市校長会（富士市立丘小学校校長）
11	酒井 秀美	公立保育園・幼稚園長会会長（蓼原保育園園長）
12	勝又 誠	富士市立高等学校教諭

## (9) 富士市青少年問題協議会委員名簿

任期 自 令和3年12月1日  
至 令和5年11月30日

No.	氏名	備考
1	小長井 義正	富士市長
2	森田 嘉幸	富士市教育長
3	下田 良秀	富士市議会産業教育委員長
4	小高 義久	富士警察署生活安全課長
5	山下 強志	富士健康福祉センター福祉課長
6	若月 佳妙	富士市立東小学校校長
7	櫻井 祥行	富士市立高等学校校長
8	片岡 佳美	県立富士特別支援学校
9	太田 眞弓	富士市社会教育委員会会議副委員長
10	半田 育子	富士市民生児童委員協議会理事
11	杉山 美佐子	富士地区保護司会副会長
12	清 泰雅	富士市青少年指導委員会会長
13	望月 美穂	静岡県富士児童相談所長
14	鈴木 和久	富士公共職業安定所
15	石川 伸宏	富士市社会福祉協議会常務理事兼事務局長

（令和5年3月31日現在）

## (10) 富士市青少年相談センター運営協議会委員名簿

任期 自 令和5年6月1日  
至 令和7年5月31日

No.	氏 名	備 考
1	櫻井 祥行	富士市立高等学校長
2	清 泰 雅	富士市青少年指導委員会会長
3	朝比奈 利充	富士警察署生活安全課長
4	沓澤 真弓	富士市こども未来部こども家庭課長
5	望月 一輝	富士市PTA連絡協議会副会長
6	遠藤 清嗣	富士市まちづくり協議会連合会副会長
7	丸山 陽一	富士市社会福祉協議会主査
8	齋藤 由美	公募委員
9	本多 佐和子	公募委員
10	吉川 智子	富士市民生委員児童委員協議会 富士北地区 主任児童委員
11	望月 敏行	小・中学校校長会代表
12	遠藤 啓之	学識経験者

## (11) 富士市子ども・若者支援協議会委員名簿

(令和5年度委員)

No.	氏 名	備 考
1	鈴木 康弘	富士公共職業安定所長
2	山登 康治	静岡県富士児童相談所長
3	土屋 規之	静岡県富士健康福祉センター福祉課長
4	朝比奈 俊充	富士警察署生活安全課長
5	江村 輝彦	教育委員会教育次長
6	玉舟 正弥	福祉部福祉総務課長
7	遠藤 弘夫	福祉部生活支援課長
8	高木 豊	福祉部障害福祉課長
9	沓澤 真弓	こども未来部こども家庭課長
10	押見 賢二	保健部健康政策課長
11	岡田 裕一	産業交流部商業労政課長
12	齋藤 文徳	教育委員会学校教育課長
13	吉田 和洋	教育委員会社会教育課長
14	川口 壽彦	教育委員会青少年相談センター所長
15	石川 伸宏	富士市社会福祉協議会常務理事兼事務局長

## (12) 富士市教育文化スポーツ奨励賞選考委員会委員名簿

(令和4年度委員)

No.	氏名	備考	No.	氏名	備考
1	菅井 良美	富士市社会教育委員長	5	山田 幸男	学識経験者(前富士市教育長)
2	辻村 典枝	富士市文化連盟会長	6	山野 政宏	富士市スポーツ協会会長
3	松本 玲子	学識経験者	7	山本 秀和	富士市スポーツ推進委員会委員長
4	森田 嘉幸	富士市教育長	8	若月 佳妙	富士市校長会(東小学校校長)

## (13) 富士市文化財保護審議会委員名簿

任期 自 令和5年5月1日

至 令和7年4月30日

No.	氏名	備考	No.	氏名	備考
1	秋山 憲行	富士自然観察の会 樹木医	6	菊池 邦彦	東京都立産業技術高等専門 学校名誉教授
2	池谷 初恵	伊豆の国市文化財調査員 日本貿易陶磁研究会員	7	田島 整	上原美術館主任学芸員 伊東市・下田市文化財保護審議会委員
3	大高 康正	静岡県富士山世界遺産 センター教授	8	新妻 淳子	静岡文化芸術大学准教授
4	金指 とも子	駿河郷土史研究会役員	9	松田 香代子	愛知大学非常勤講師 日本民俗学会員
5	河内 えり子	佐野美術館学芸グループ長 三島市文化財保護審議会委員	10	山本 玄珠	東海大学客員研究員 日本地質学会員、静岡県地学会員

## (14) 富士市立博物館協議会委員名簿

任期 自 令和5年6月1日

至 令和7年5月31日

No.	氏名	備考	No.	氏名	備考
1	稲垣 まゆ美	富士市立広見小学校校長	6	高井 忠満	富士市介護保険事業者 連絡協議会副会長
2	田中 尚志	富士市立丘小学校校長	7	外立ますみ	日本民具学会会員
3	小澤 緑	富士自然観察の会会長	8	渡邊 康弘	日本考古学協会会員
4	加藤 昭夫	駿河郷土史研究会会長	9	佐野 美幸	公募委員
5	飯野 修	静岡県工業技術研究所富士 工業技術支援センター長	10	本多 佐和子	公募委員

### 3 富士市の社会教育関係団体一覧表

団 体 名 代 表 者 名	加入団体数 会員数	所 管 課 事 務 局 所 在 地	電 話
富士市PTA連絡協議会 会 長 服部 英之	42 18,560人	学務課 〒417-8601 富士市永田町1丁目100番地	51-0123内2747
富士市子ども会世話人連絡協議会 会 長 中澤 公一	24 9,662人	社会教育課 〒417-0024 富士市八代町1番1号	55-0560
ボーイスカウト富士地区協議会 協議会長 鈴木 孝治	8 348人	社会教育課 〒417-0024 富士市八代町1番1号	55-0560
ガールスカウト富士地区連絡協議会 代 表 米田 容子	3 55人	社会教育課 〒417-0024 富士市八代町1番1号	55-0560
富士市文化連盟 会 長 辻村 典枝	96 1,929人	文化スポーツ課 〒417-8601 富士市永田町1丁目100番地	51-0123内2807
富士市民俗芸能連絡協議会 会 長 内山 義和	8 229人	文化財課 〒417-0061 富士市伝法66番地の2	33-7850
富士市スポーツ協会 会 長 山野 政宏	42 19,349人	文化スポーツ課 〒417-0041 富士市御幸町8番1号	53-6045(スポーツ協会)
富士市スポーツ少年団 本部長 伊藤 幸雄	62 1,468人	文化スポーツ課 〒417-8601 富士市永田町1丁目100番地	51-0123内2803
女性ネットワーク・富士 会 長 内田 貴子	1 120人	市民活躍・男女共同参画課 〒417-8601 富士市永田町1丁目100番地	51-0123内2336
富士市青少年指導委員会 会 長 清 泰雅	1 126人	青少年相談センター 〒417-0024 富士市八代町1番1号	52-4152



# ふじの教育

令和5年度版

令和5年6月発行

編集・発行 富士市教育委員会

富士市行政資料登録番号

R 5 - 1 4